

清水口小学校区 まちづくりアンケート調査 報告書



令和 8 年 3 月
清水口まちづくり協議会設立準備会
市民活動支援課

目次

1章. アンケート調査の実施概要	2
1 調査の目的	2
2 調査項目	2
3 調査方法と回収状況	4
4 調査結果の見方	4
2章. アンケート調査結果	5
1 回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 年齢	5
(3) 同居している家族構成	5
(4) 仕事の状況	6
(5) 清水口小学校区の居住年数	6
2 清水口小学校区での日頃の関わりについて	27
3 清水口小学校区での地域活動について	33
4 清水口小学校区のこれからの住みよいまちづくりについて	51

1章 アンケート調査の実施概要

1 調査の目的

清水口小学校区の住民の暮らし、日頃の関わり、地域活動などの把握し、清水口小学校区まちづくり協議会設立準備会において部会検討の基礎資料とする。

2 調査項目

大項目	問	調査項目	回答方法
清水口小学校区での暮らしについて	1	良かった・維持すべきこと 良くない・改善すべきこと	
		A 景観・環境	選択肢
		B 交通安全	選択肢
		C 高齢者、障がい者への支援	選択肢
		D 子育てや教育に関する支援	選択肢
		E 市内に住む（働く）外国人との共生の取り組み	選択肢
		F 住民同士の親睦・交流、地域のにぎわい	選択肢
		G スポーツやレクリエーションのしやすさ	選択肢
		H 生活マナー	選択肢
		I 地域内の移動のしやすさ	選択肢
		J 地域情報の得やすさ	選択肢
		K 地域の連携・協力	選択肢
		L 防災	選択肢
		M 身近な防犯・治安	選択肢
		N その他、良かった・維持すべき	自由回答
	O その他、良くない・改善すべき	自由回答	
	2	自慢できるところ	選択肢
3	どんな地域にしたいと思うか	選択肢	
4	あったらいいと思う場所	自由回答	
清水口小学校区での日頃の関わりについて	5	小学校区内の人との関わりの程度	選択肢
	6	小学校区内の人々のつながりの必要性	選択肢
	7	小学校区内に助けてくれる人や相談できる人がいるか	選択肢

大項目	問	調査項目	回答方法
清水口小学校区での地域活動について	8	主に誰が責任を持ち取り組むべきか	
		A 景観・環境の保全	選択肢
		B 交通安全	選択肢
		C 高齢者、障がい者への支援	選択肢
		D 子育てや教育に関する支援	選択肢
		E 市内に住む(働く)外国人との共生の取り組み	選択肢
		F 住民同士の親睦・交流、地域のにぎわいづくり	選択肢
		G スポーツ・レクリエーションの開催	選択肢
		H 生活マナー	選択肢
		I 地域内での移動支援	選択肢
		J 地域情報の発信	選択肢
		K 地域リーダーや担い手の発掘・育成	選択肢
		L 防災	選択肢
		M 身近な防犯	選択肢
清水口小学校区での これからの住みよいま ちづくりについて	9	ボランティアや地域活動への関心	選択肢
	10	まちづくり協議会に、これからどのように関わって いきたいか	選択肢
	11	どのような方法で声掛けをしたら、まちづくり協議 会の活動に協力したいと思うか	選択肢
	12	どのような条件が整うと、まちづくり協議会の活動 に参加しようと思うか	選択肢
	13	まちづくり協議会の活動を行うために、特に必要 なことは何だと思うか	選択肢
清水口小学校区での これからの住みよいま ちづくりについて	14	清水口小学校区が目指すまちづくりの将来像を表 すものとしてどのような言葉がふさわしいと思うか	選択肢
	15	住民主体の「小学校区単位のまちづくり」につい てのアイデアや意見	自由回答
あなた自身について (回答者の属性)	16	性別	選択肢
		年齢	選択肢
		同居している家族構成	選択肢
		仕事の状況	選択肢
		清水口小学校区での居住年数	選択肢
		居住地区	選択肢

3 調査方法と回収状況

○調査地域

白井市清水口小学校区

○調査対象

白井市清水口小学校区在住の中学生以上の男女 800 人

○抽出方法

令和 7 年 10 月末現在の住民基本台帳より抽出

○調査期間

令和 7 年 11 月 28 日（金）～12 月 19 日（金）の 20 日間

○実施主体

白井市、清水口小学校区まちづくり協議会設立準備会

○回収状況

有効回収数 257 件（回収率 32.1%）

4 調査結果の見方

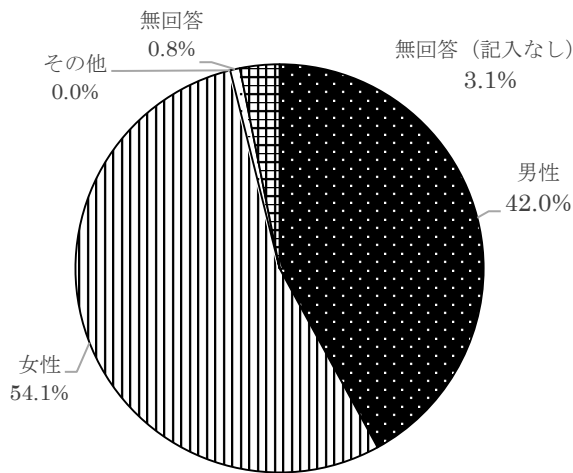
- 集計は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを示しているため、数値の合計が 100.0%にならない場合がある。
- 回答（%）は、その質問の回答数（回答者数）を基数として算出しているため、複数回答の設問は回答（%）の全てを合計すると、100.0%とならない場合がある。

2章 アンケート調査結果

1 回答者の属性

(1) 性別

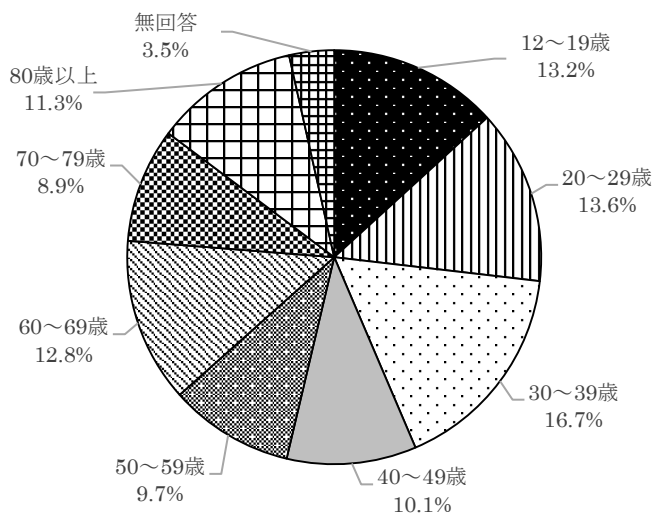
n = 257



「男性」が 42.0%、「女性」が 54.1%、「その他」0.0%、「無回答」が 0.8%となっています。

(2) 年齢

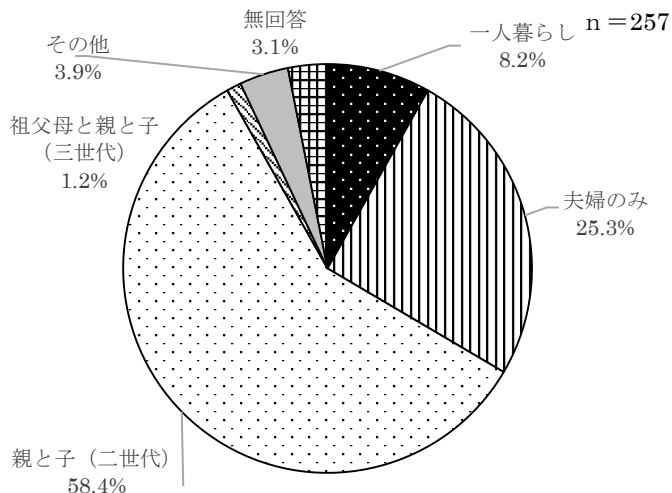
n = 257



年齢は「30歳～39歳」が最も高く 16.7%、次いで「20歳～29歳」(13.6%)、「12～19歳」が(13.2%)、「60～69歳」(12.8%)、「80歳以上」(11.3%)、「40～49歳」(10.1%)、50～59歳(9.7%)、70～79歳(8.9%)、無回答(3.5%)となっており、若い世代の回答割合が高くなっています。

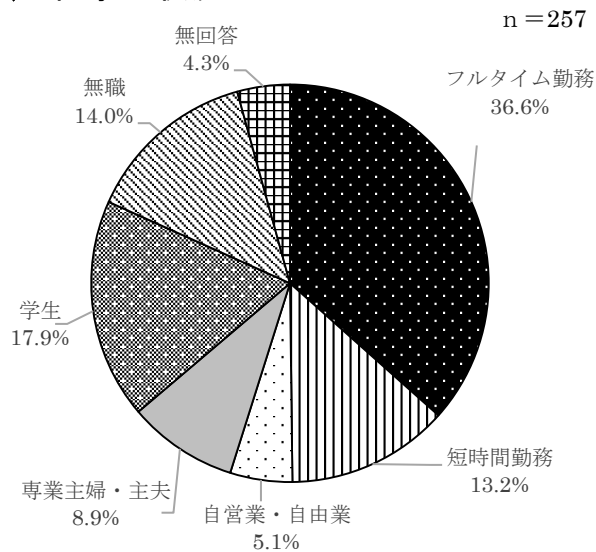
(3) 同居している家族構成

n = 257



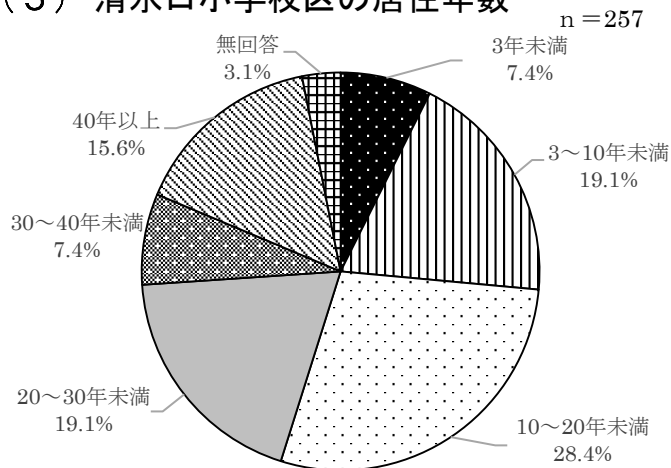
同居している家族は「親と子(二世代)」が最も高く 58.4%となっており、次いで「夫婦のみ」(25.3%)、「一人暮らし」(8.2%)、「その他」(3.9%)、「無回答」(3.1%)、「祖父母と親と子(三世代)」(1.2%)となっています。

(4) 仕事の状況



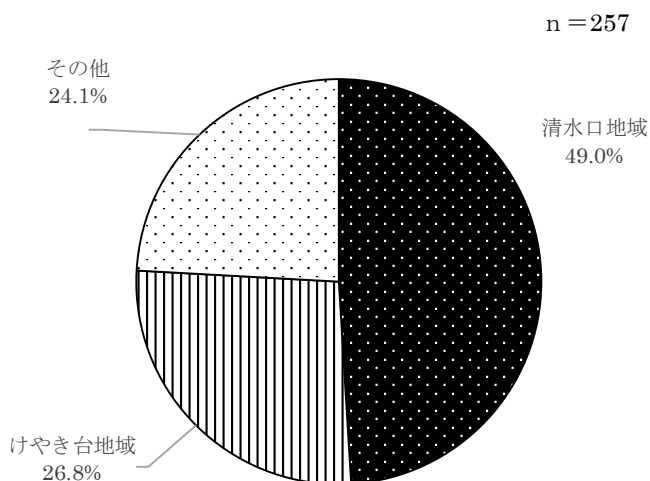
仕事の状況は「フルタイム勤務」が最も高く、36.6%となっており、次いで「学生」(17.9%)、「無職」(14.0%)、「短時間勤務」(13.2%)、「専業主婦・主夫」(8.9%)、「自営業・自由業」(5.1%)、「無回答」(4.3%)となっています。

(5) 清水口小学校区の居住年数



清水口小学校区の居住年数は、「10～20年未満」が最も高く、28.4%となっており、次いで「3～10年未満」(19.1%)、「20～30年未満」(19.1%)、「40年以上」(15.6%)、「3年未満」(7.4%)、「30～40年未満」(7.4%)、「無回答」(3.1%)となっています。

(6) 居住地区

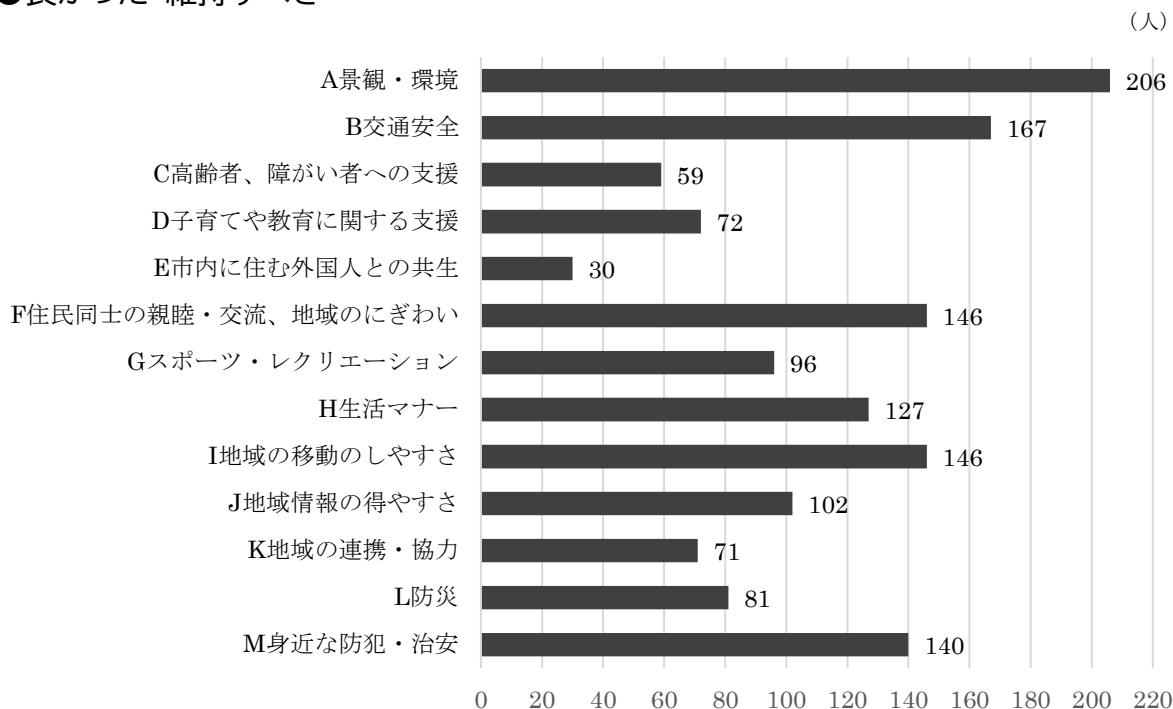


居住地区は、「清水口地域」が49.0%と最も高く、次いで「けやき台地域」が26.8%、「その他」が24.1%となっています。

清水口小学校区での暮らしについて

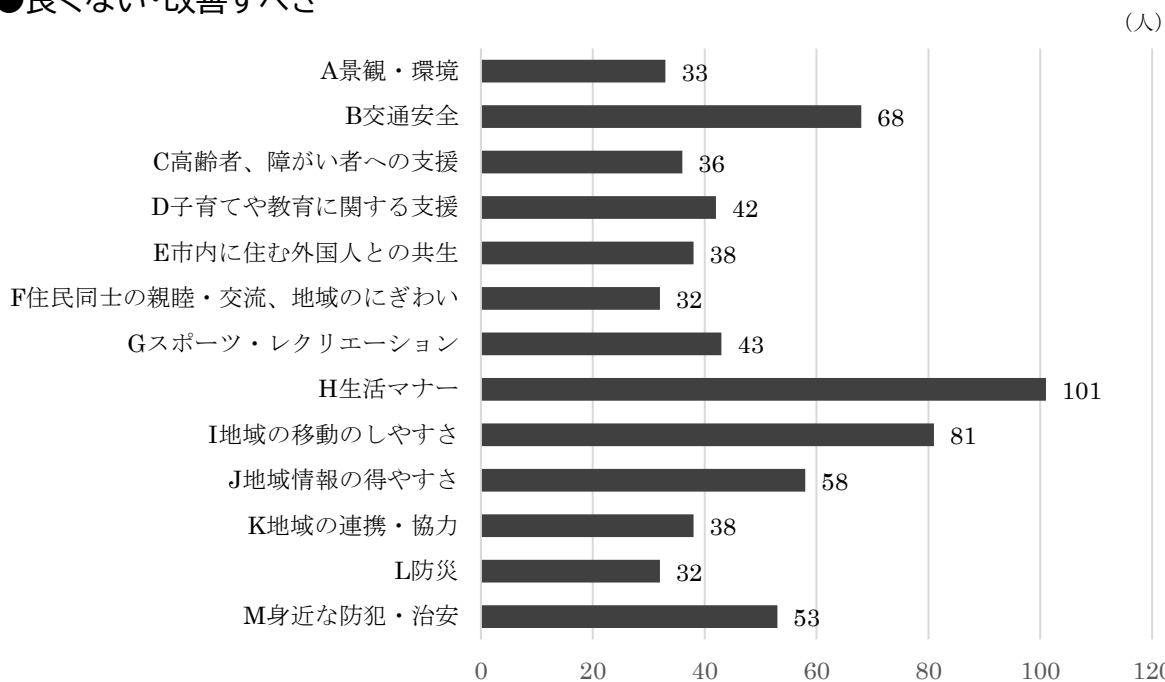
【問1】 清水口小学校区で暮らしていて、良かった・維持すべきと感じることは何ですか。また、良くない・改善すべきと思うことは何ですか。(A～Mそれぞれ1つずつ○印、その他あればN、Oに記載)

●良かった・維持すべき



良かった・維持すべき項目については、「A 景観・環境」が最も多く 206 人であり、次いで「B 交通安全」167 人、「F 住民同士の親睦・交流、地域のにぎわい」「I 地域内の移動のしやすさ」146 人となっています。

●良くない・改善すべき

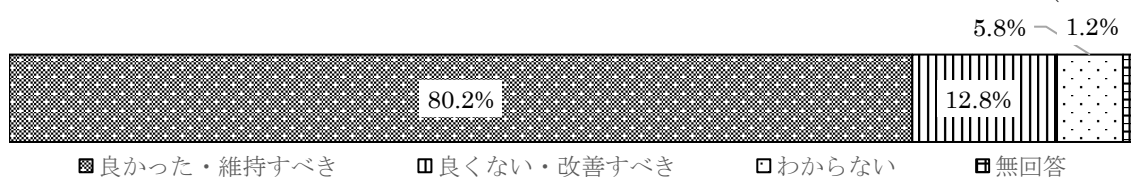


良くない・改善すべき項目については、「H 生活マナー」が最も多く 101 人であり、次いで「I 地域内の移動のしやすさ」が 81 人、「B 交通安全」が 68 人となっています。

〔項目別〕

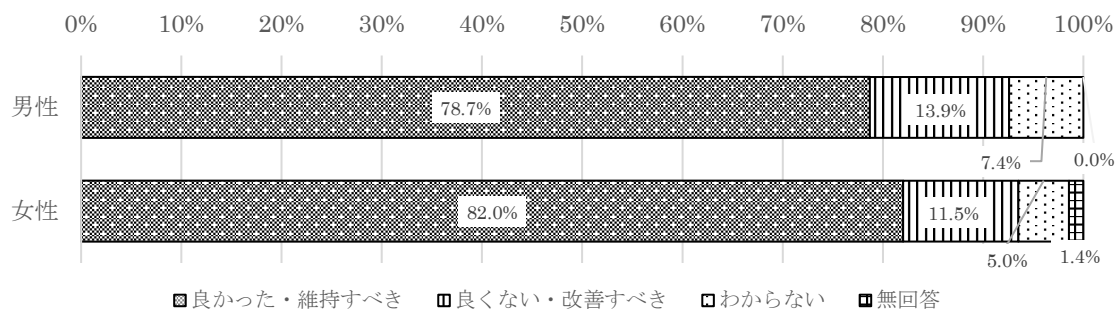
A. 景観・環境（道路や公園、緑地などの街並み）

(n=257)



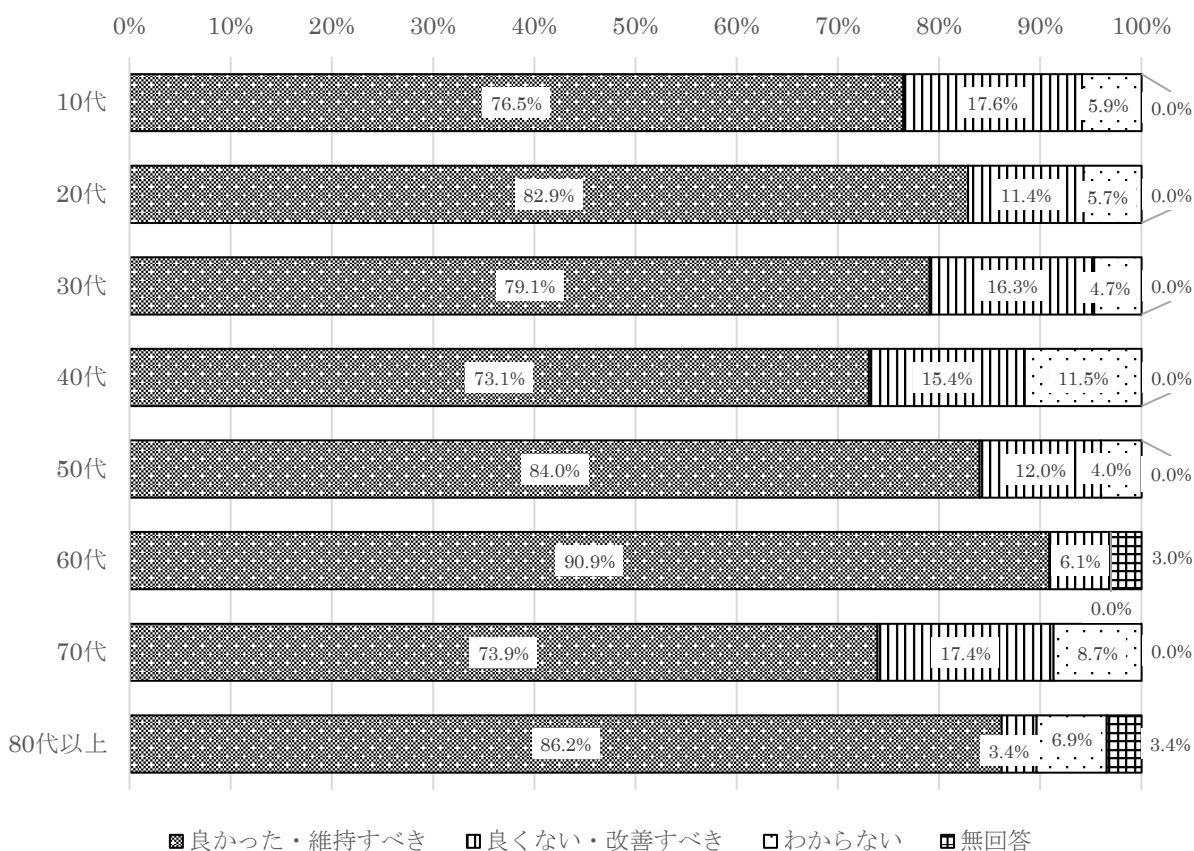
景観・環境については、「良かった・維持すべき」が80.2%と最も高く、次いで「良くない・改善すべき」(12.8%)、「わからない」(5.8%)、「無回答」(1.2%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

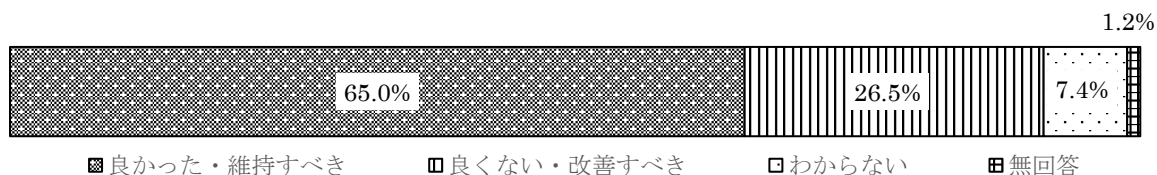
■年齢別



年齢による大きな差はみられません。

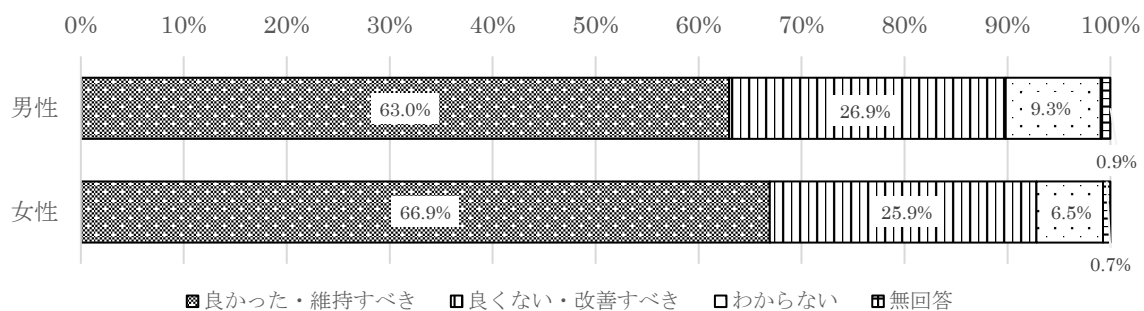
B. 交通安全（通学路の安全や交通マナーなど）

(n=257)



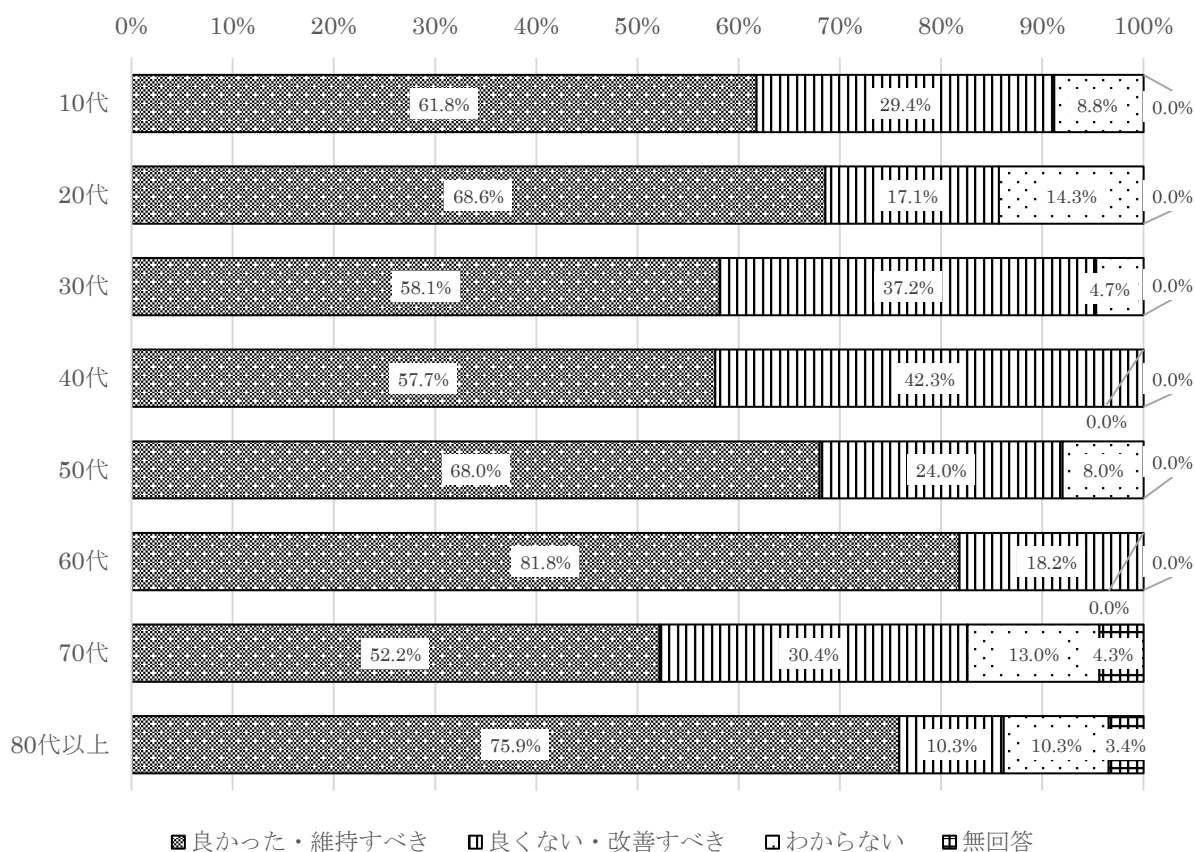
交通安全については、「良かった・維持すべき」が65.0%と最も高く、次いで「良くない・改善すべき」(26.5%)、「わからない」(7.4%)、「無回答」(1.2%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

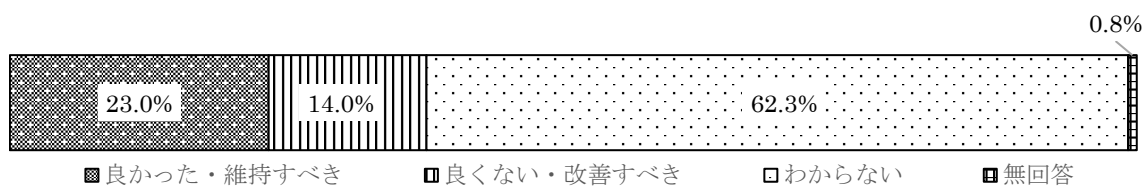
■年齢別



60代で「良かった・維持すべき」が81.8%と最も高くなっています。

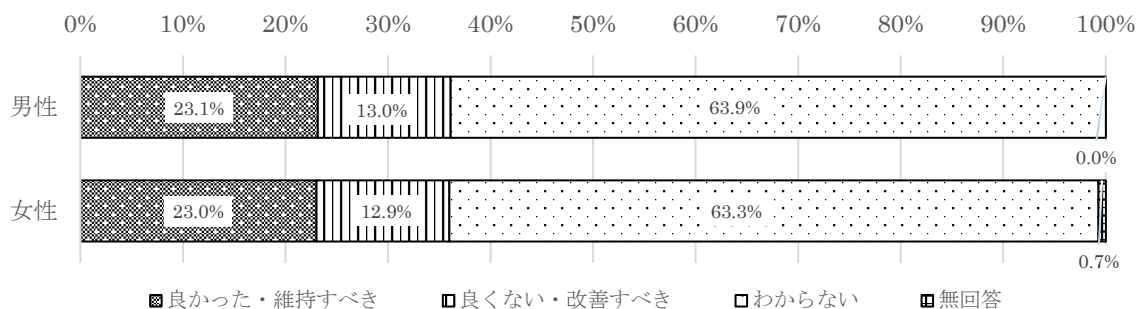
C. 高齢者、障がい者への支援

(n = 257)



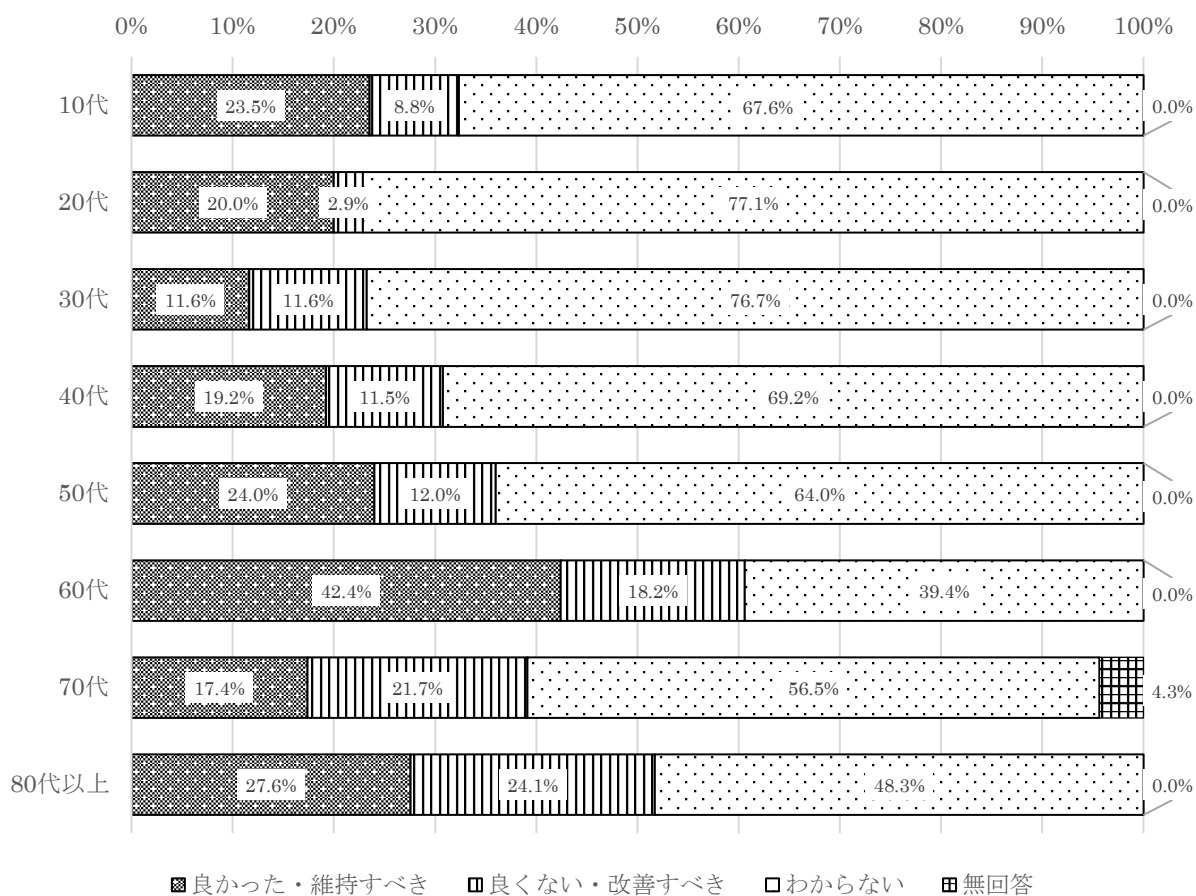
高齢者、障がい者への支援については、「わからない」が 62.3%と最も高く、次いで「良かった・維持すべき」(23.0%)、「良くない・改善すべき」(14.0%)、「無回答」(0.8%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

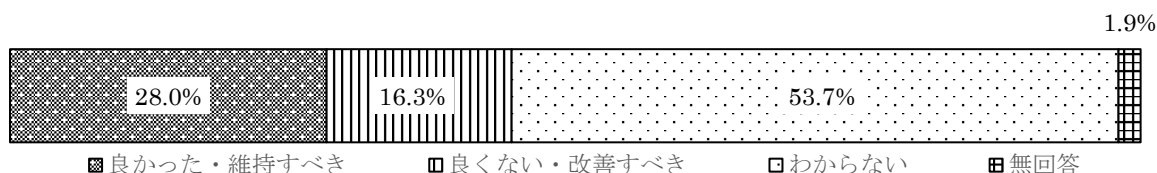
■年齢別



60代で「良かった・維持すべき」が 42.4%と最も高く、30代で 11.6%と最も低くなっています。

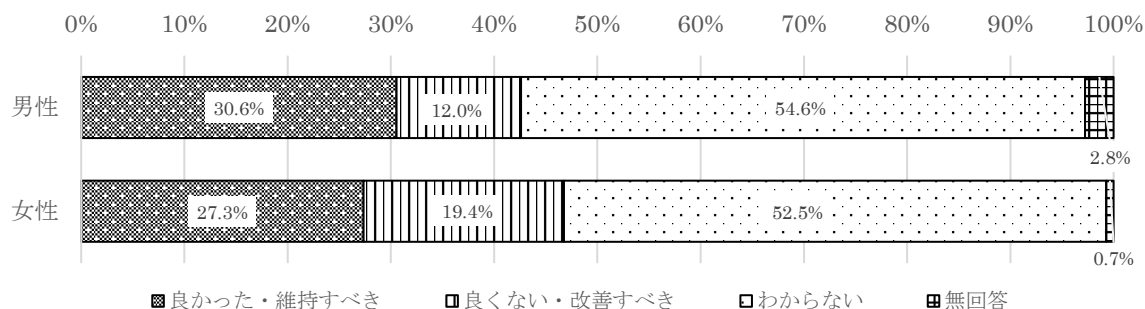
D. 子育てや教育に関する支援

(n=257)



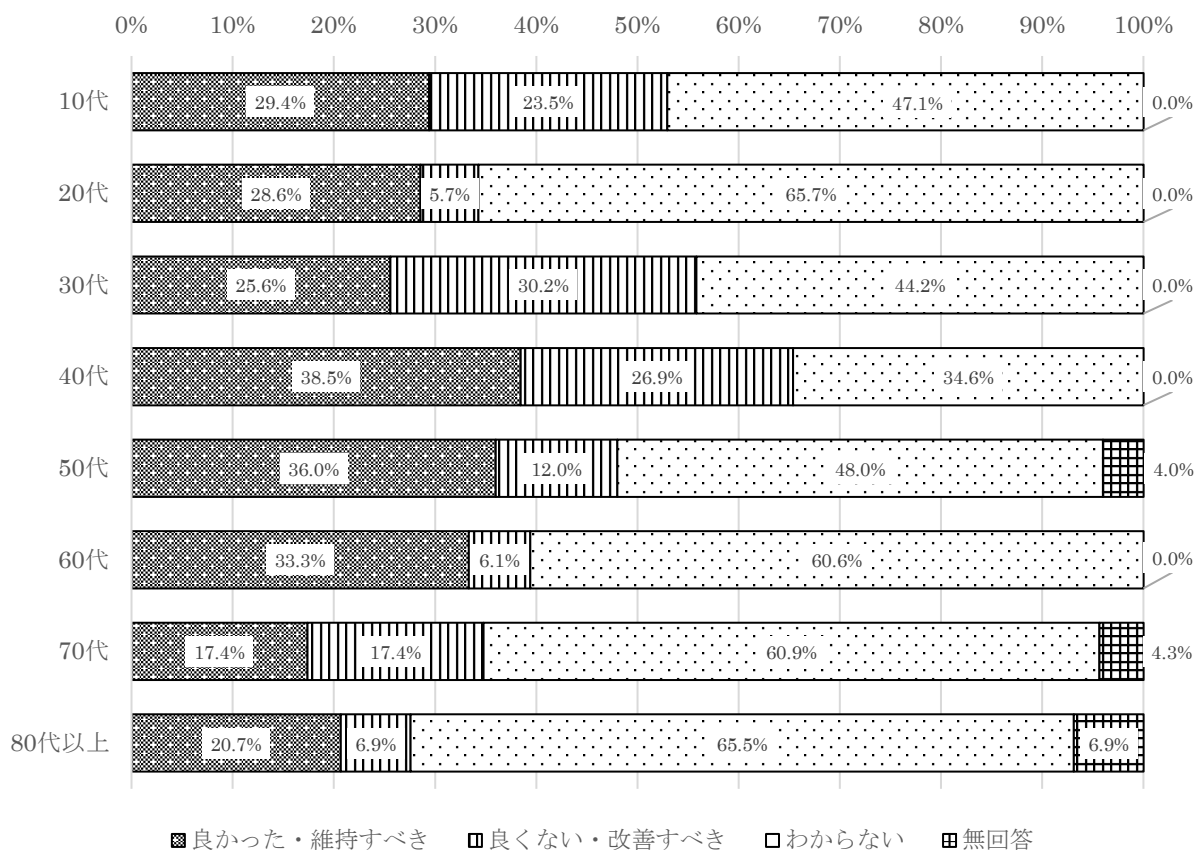
子育てや教育に関する支援については、「わからない」が53.7%と最も高く、次いで「良かった・維持すべき」(28.0%)、「良くない・改善すべき」(16.3%)、「無回答」(1.9%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

■年齢別



40代で「良かった・維持すべき」が38.5%と最も高くなっています。また、30代では、「良くない・改善すべき」が「良かった・維持すべき」を上回っています。

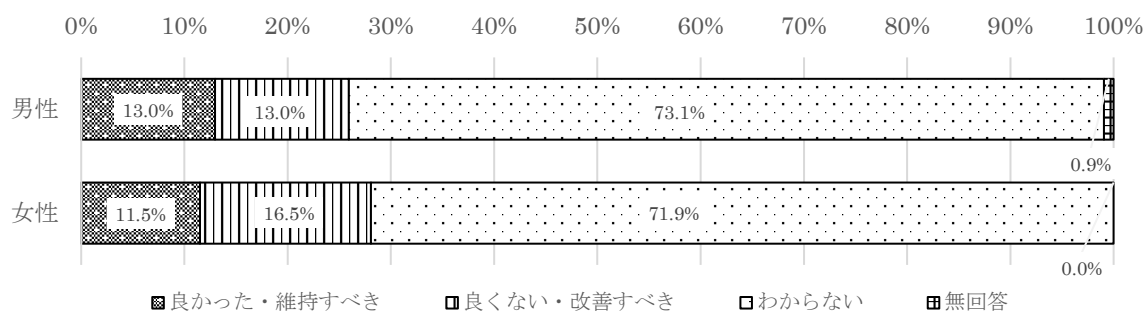
E. 市内に住む（働く）外国人との共生の取り組み

(n=257)



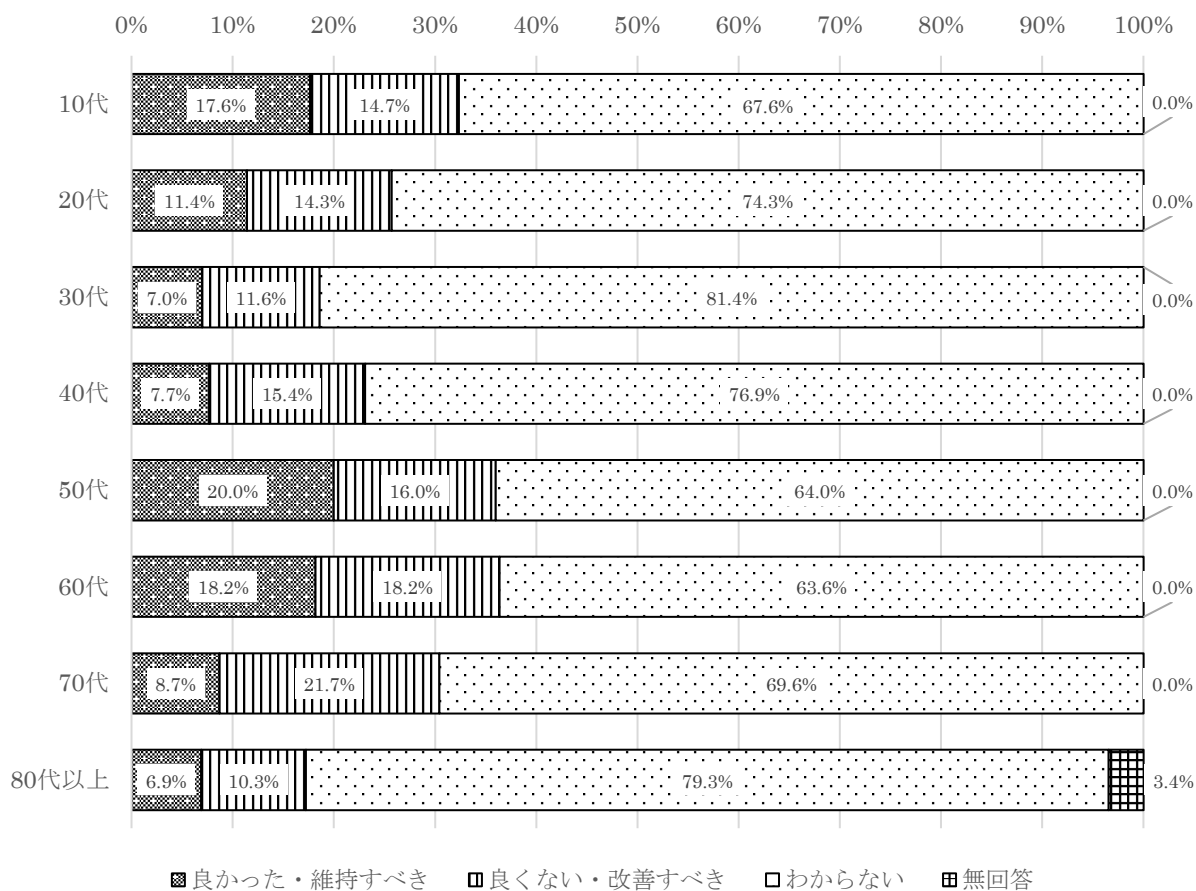
市内に住む（働く）外国人との共生の取り組みについては、「わからない」が72.8%と最も高く、次いで「良くない・改善すべき」（14.8%）、「良かった・維持すべき」（11.7%）、「無回答」（0.8%）となっています。

■性別



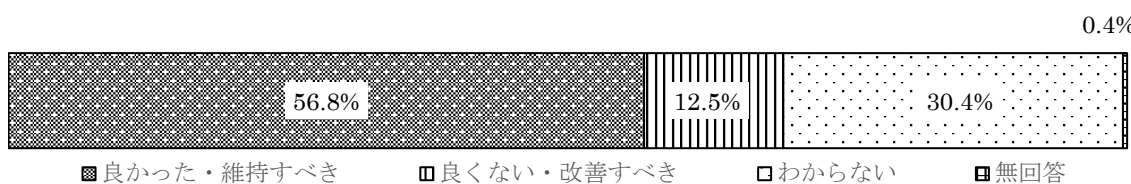
性別による大きな差はみられません。

■年齢別



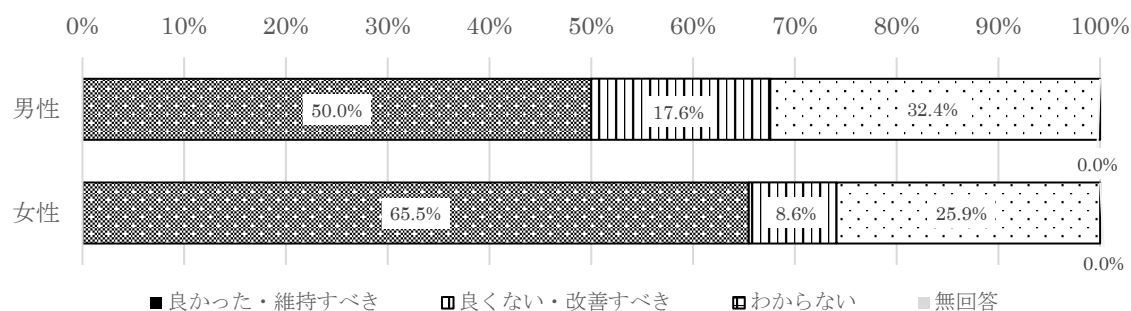
10代、50代、60代で「良かった・維持すべき」が「良くない・改善すべき」と同率以上となっています。その他の年齢では「良くない・改善すべき」が「良かった・維持すべき」を上回っています。

F. 住民同士の親睦・交流、地域のにぎわい（夏祭りやイベントの充実など） (n=257)



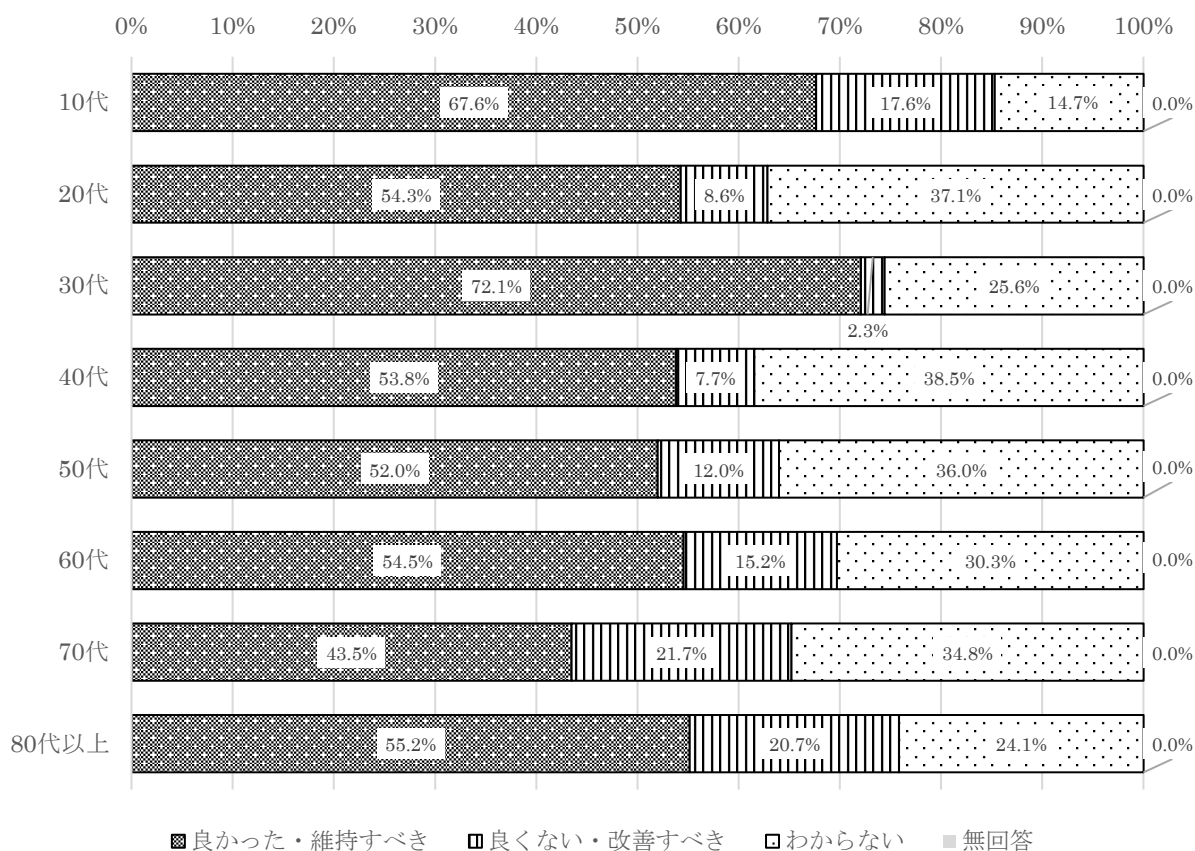
住民同士の親睦・交流、地域のにぎわいについては、「良かった・維持すべき」が56.8%と最も高く、次いで「わからない」(30.4%)、「良くない・改善すべき」(12.5%)、「無回答」(0.4%)となっています。

■性別



男性より女性の方が「良かった・維持すべき」が15.5%高くなっています。

■年齢別



10代と30代で「良かった・維持すべき」が65%以上となっています。また、70代と80代で「良くない・改善すべき」が20%以上となっています。

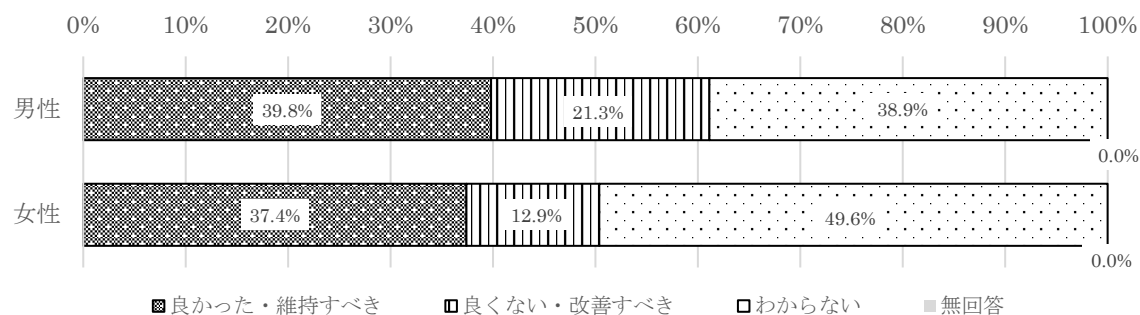
G. スポーツやレクリエーションのしやすさ

(n=257)
0.8%



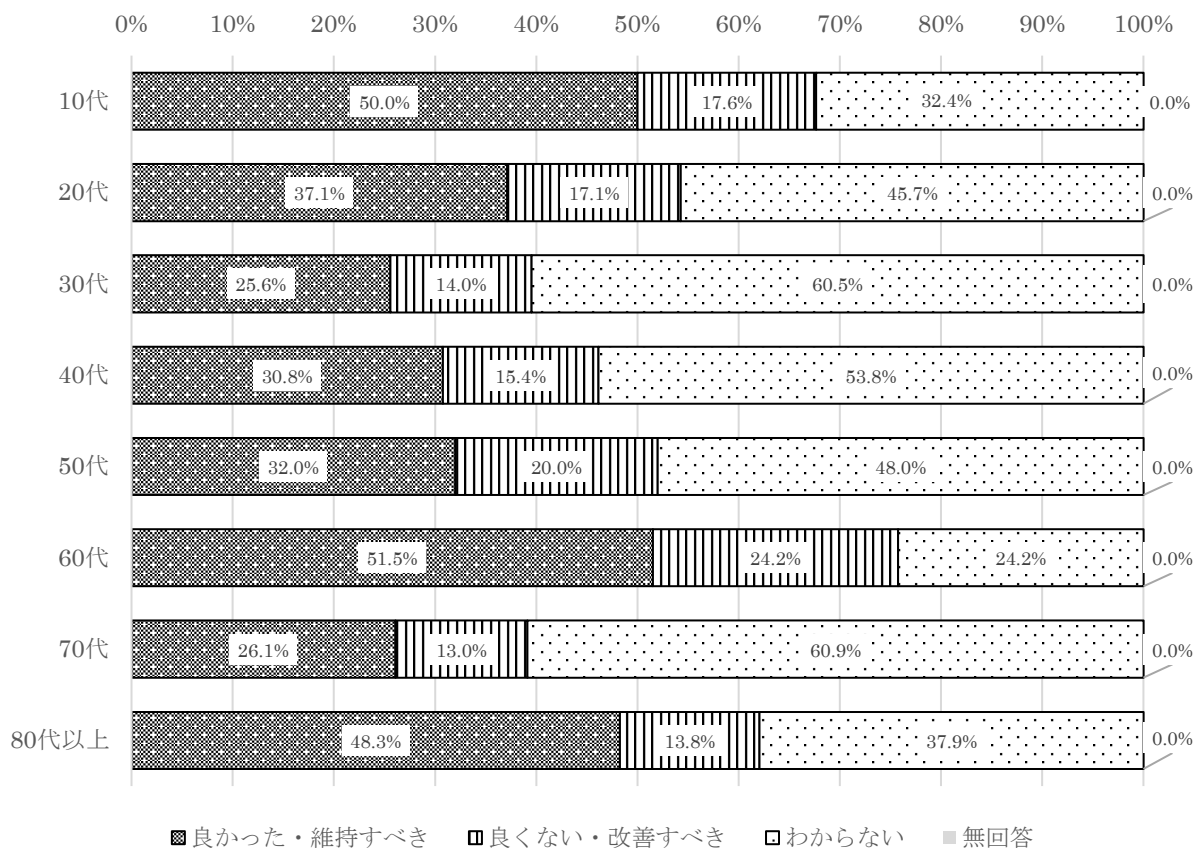
スポーツやレクリエーションのしやすさについては、「わからない」が45.1%と最も高く、次いで「良かった・維持すべき」(37.4%)、「良くない・改善すべき」(16.7%)、「無回答」(0.8%)となっています。

■性別



女性より男性の方が「良くない・改善すべき」が8.4%高くなっています。

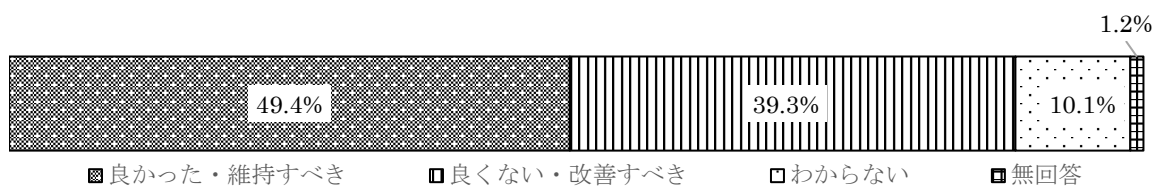
■年齢別



60代で「良かった・維持すべき」が51.5%と最も高くなっています。30代と70代では「良かった・維持すべき」が30%以下と低くなっています。

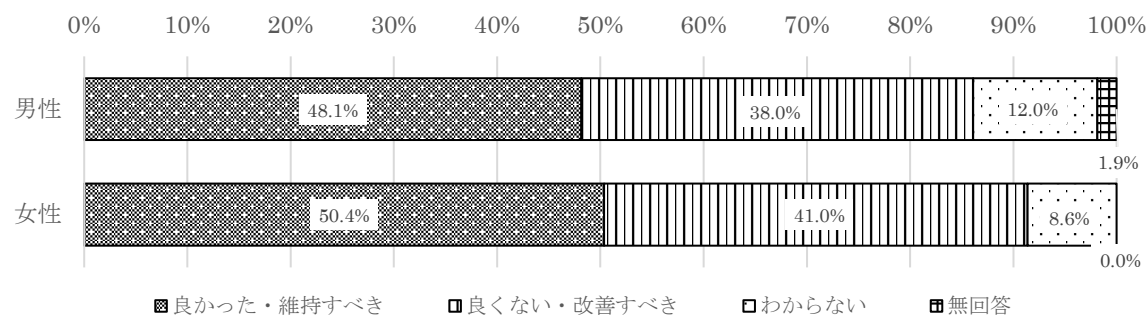
H. 生活マナー（ポイ捨てや犬のフンなど）

(n=257)



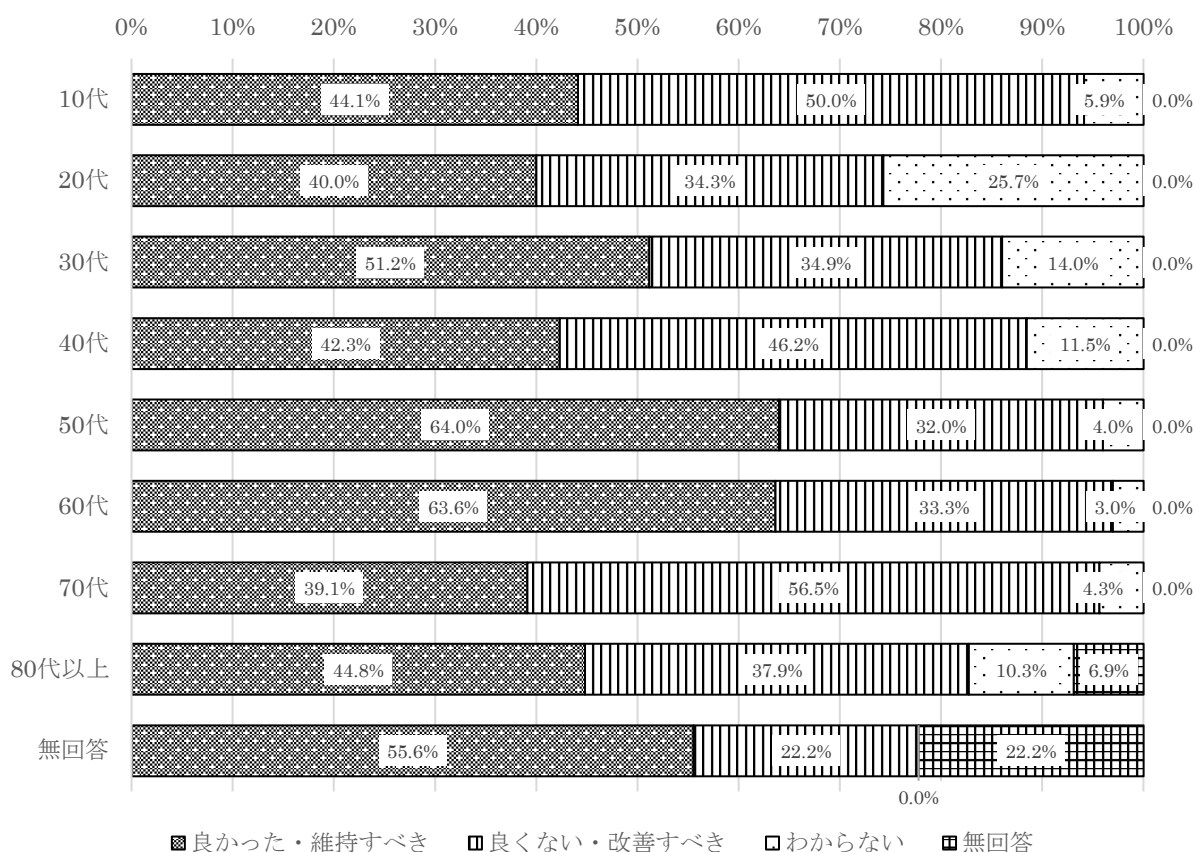
生活マナーについては、「良かった・維持すべき」が49.4%と最も高く、次いで「良くない・改善すべき」(39.3%)、「わからない」(10.1%)、「無回答」(1.2%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

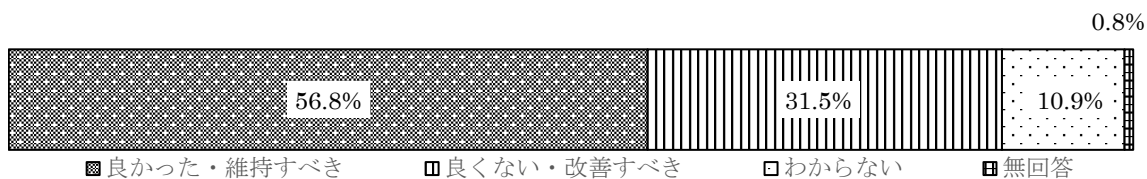
■年齢別



50代と60代で「良かった・維持すべき」が60%以上と最も高くなっています。一方、10代と70代では「良くない・改善すべき」が50%以上と最も高くなっています。

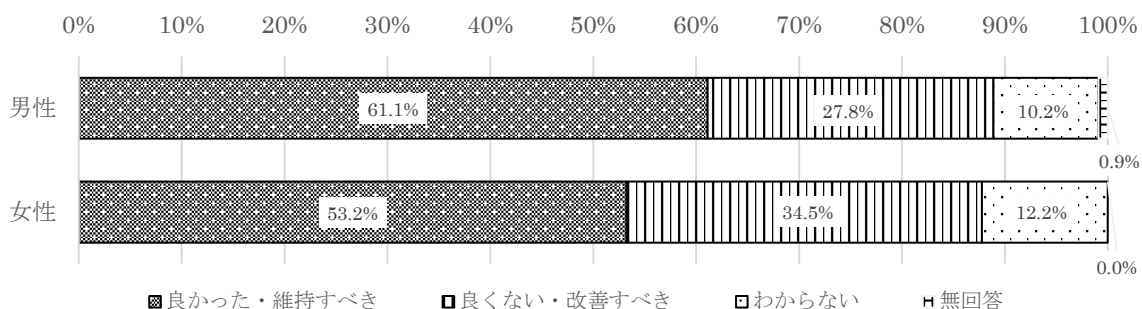
I. 地域内の移動のしやすさ（買い物・通院のしやすさなど）

(n=257)



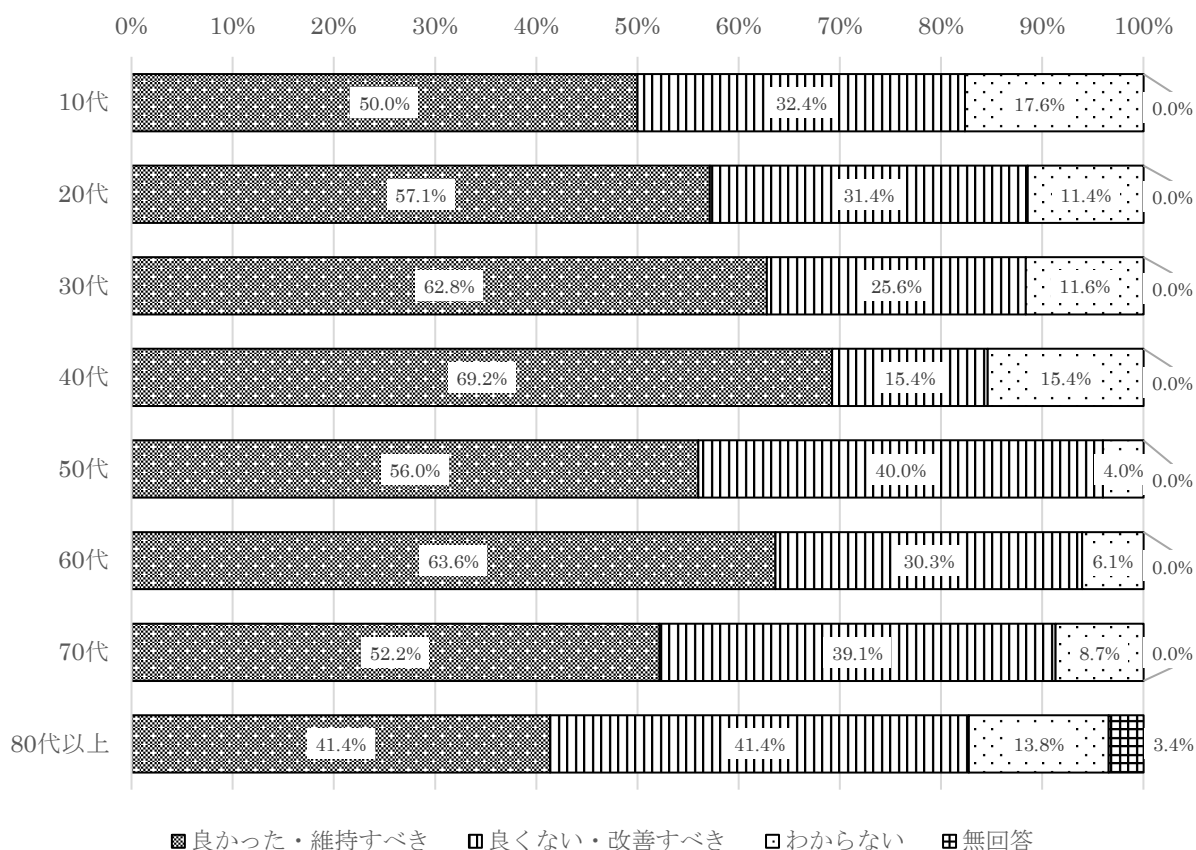
地域内の移動のしやすさについては、「良かった・維持すべき」が56.8%と最も高く、次いで「良くない・改善すべき」(31.5%)、「わからない」(10.9%)、「無回答」(0.8%)となっています。

■性別



「良かった・維持すべき」は女性より男性の方が7.9%高くなっており、「良くない・改善すべき」は男性より女性の方が6.7%高くなっています。

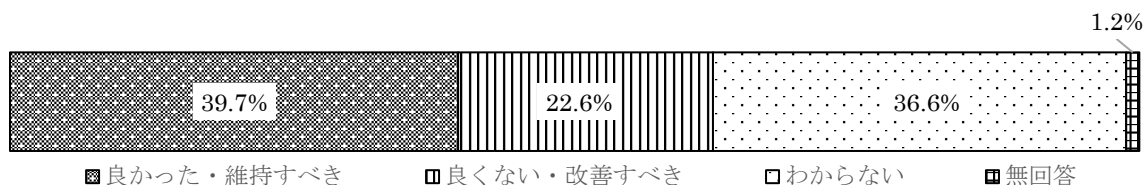
■年齢別



50代と80代で「良くない・改善すべき」が40%以上と最も高くなっています。

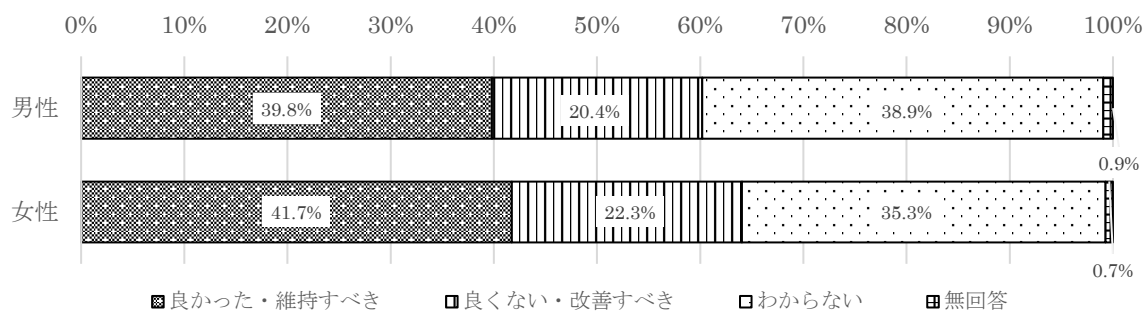
J. 地域情報の得やすさ

(n = 257)



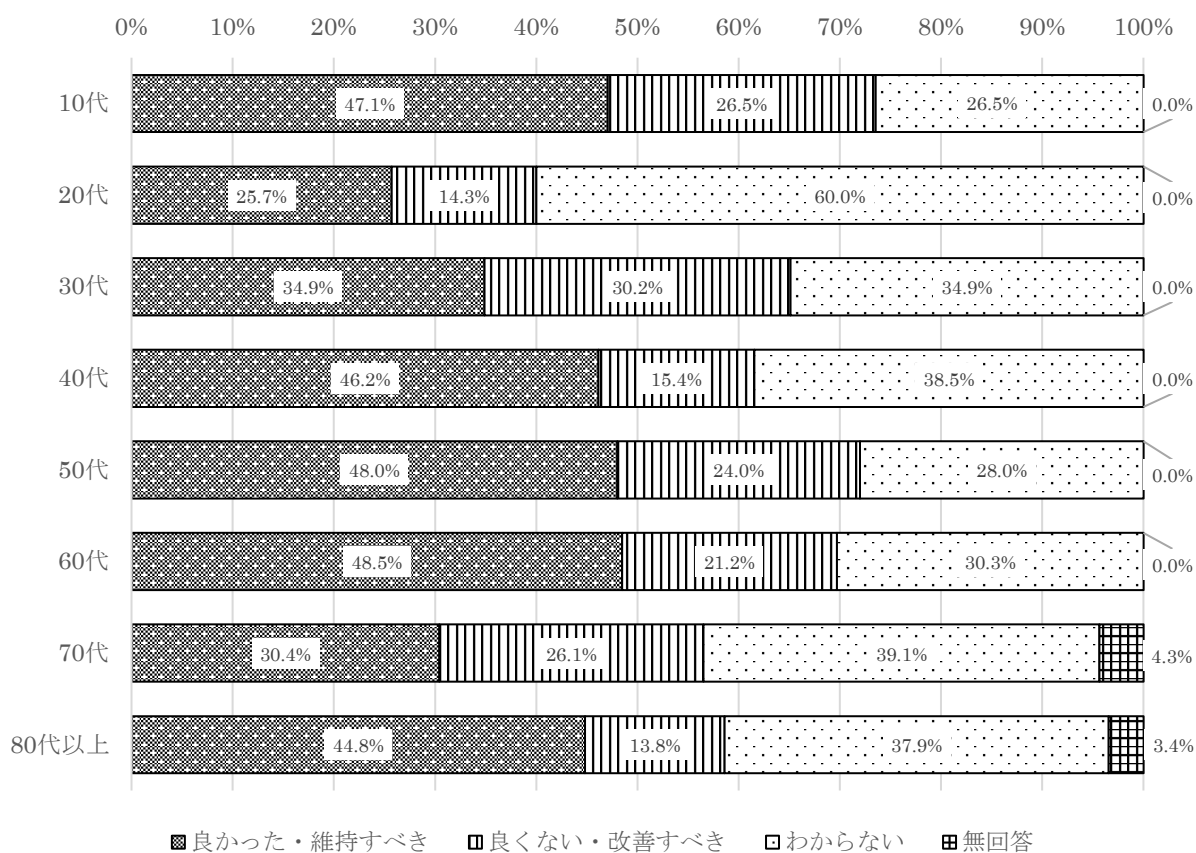
地域情報の得やすさについては、「良かった・維持すべき」が39.7%と最も高く、次いで、「わからない」(36.6%)、「良くない・改善すべき」(22.6%)、「無回答」(1.2%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

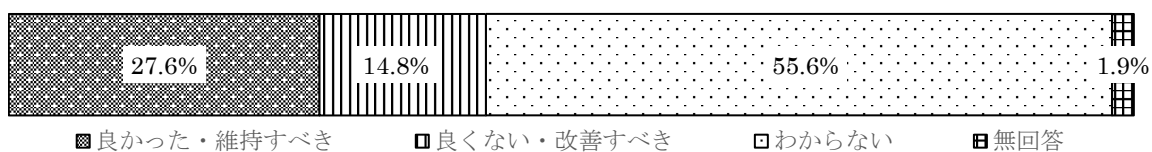
■年齢別



20代では「わからない」が60%と最も高く、「良かった・維持すべき」が25.7%と最も低くなっています。

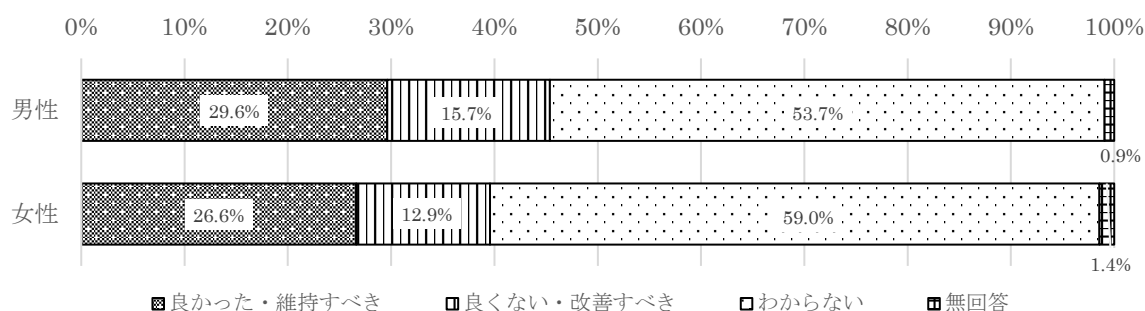
K. 地域の連携・協力

(n=257)



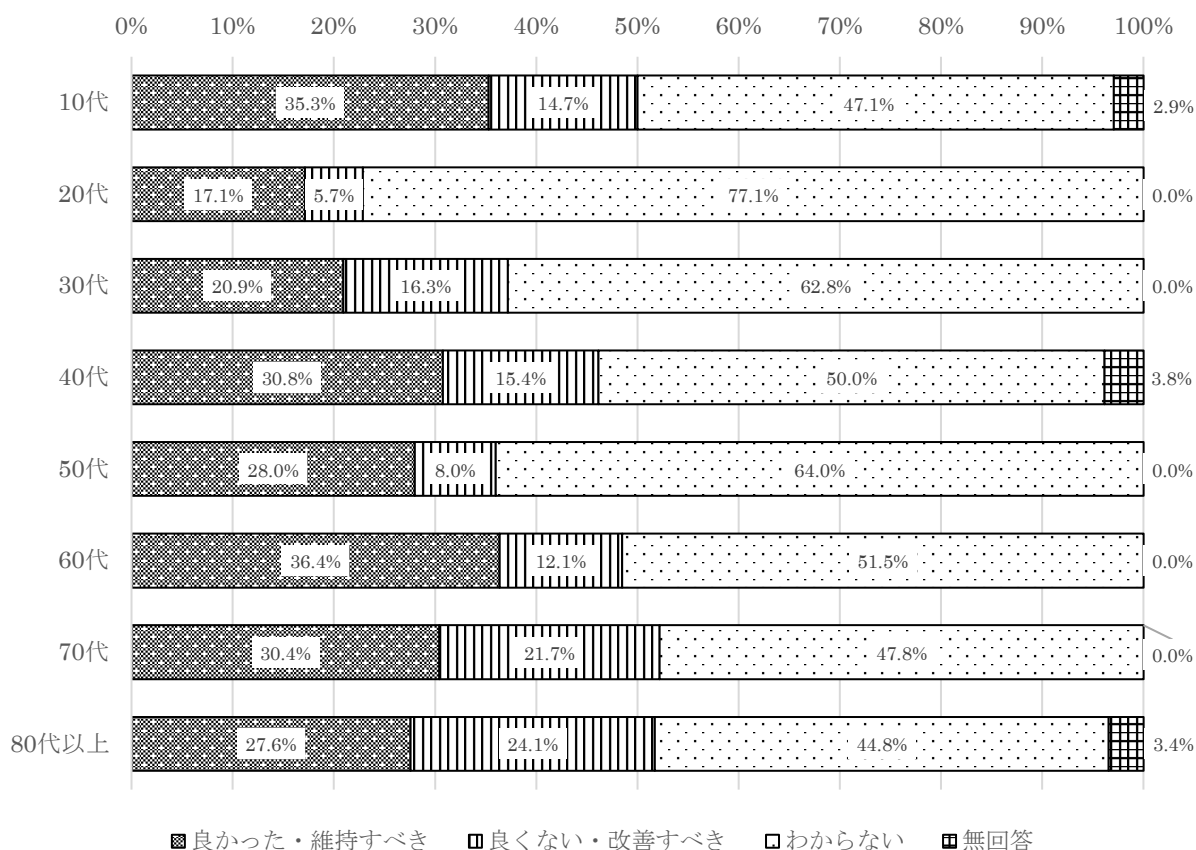
地域の連携・協力については、「わからない」が55.6%と最も高く、次いで「良かった・維持すべき」(27.6%)、「良くない・改善すべき」(14.8%)、「無回答」(1.9%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

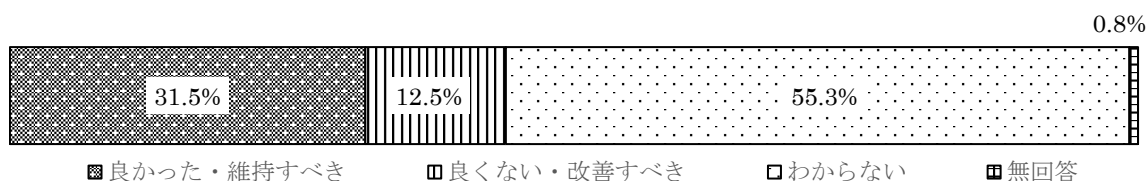
■年齢別



20代、30代、50代で「わからない」が60%以上と高くなっています。また、70代と80代では「良くない・改善すべき」が20%以上と高くなっています。

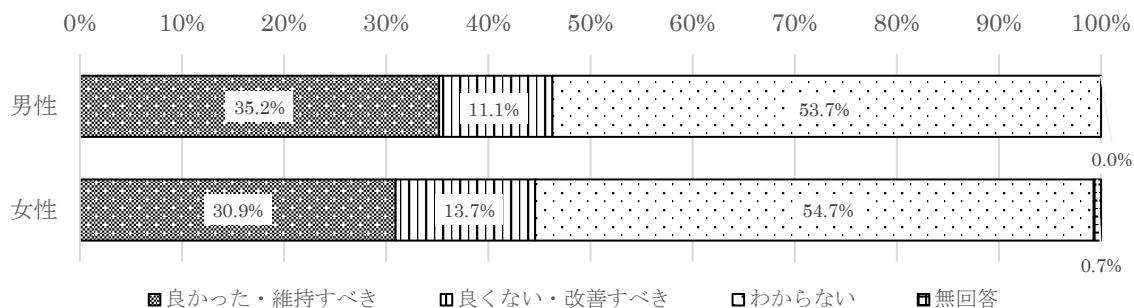
L. 防災（災害時などの身の回りの対応など）

(n=257)



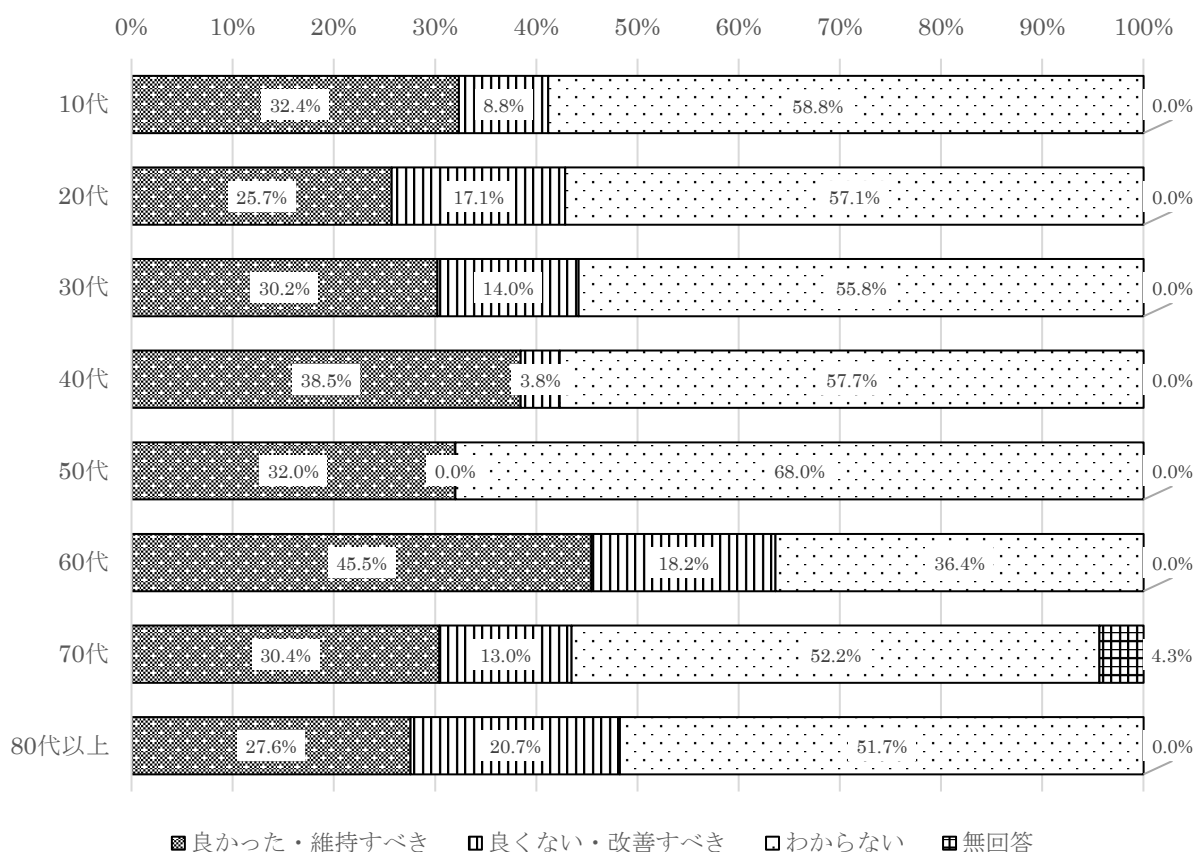
防災については、「わからない」が55.3%と最も高く、次いで「良かった・維持すべき」(31.5%)、「良くない・改善すべき」(12.5%)、「無回答」(0.8%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

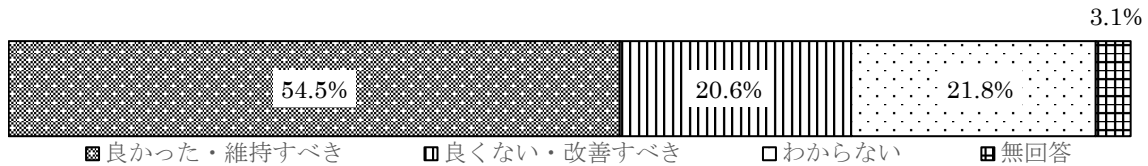
■年齢別



60代で「良かった・維持すべき」が45.5%と最も高くなっています。40代と50代では「良くない・改善すべき」が5%以下と低くなっています。

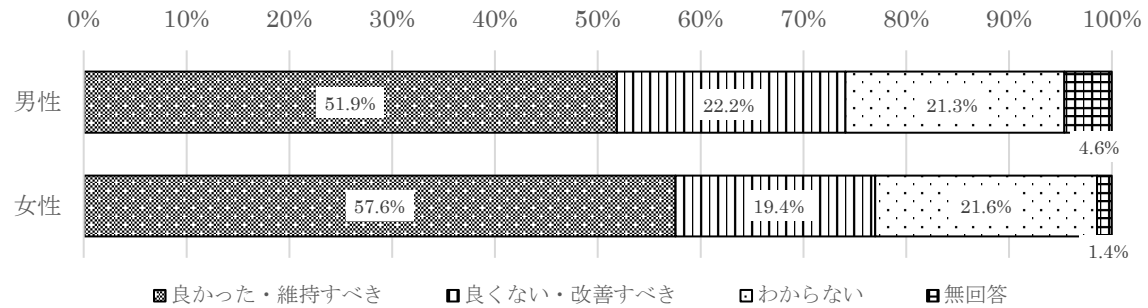
M. 身近な防犯・治安（犯罪やトラブルの少なさなど）

(n=257)



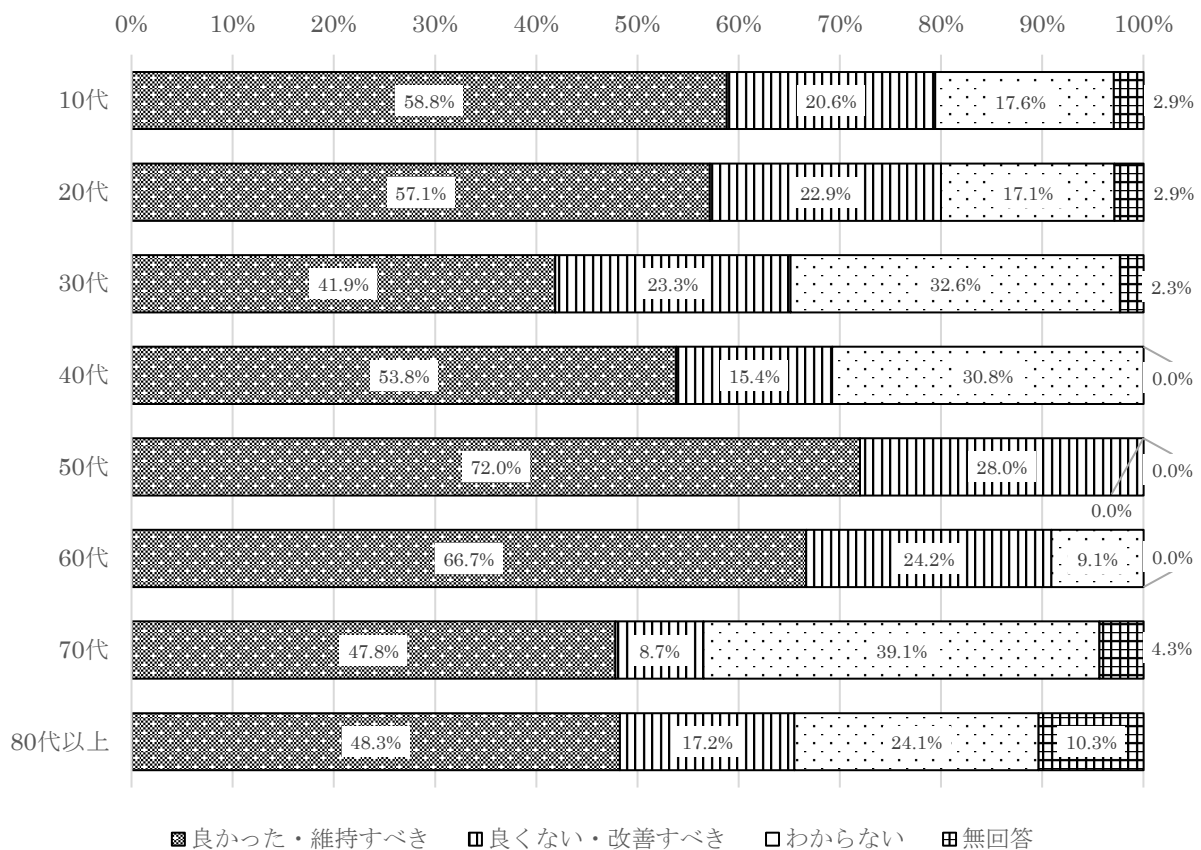
身近な防犯・治安について、「良かった・維持すべき」が 54.5%と最も高く、次いで「良くない・改善すべき」(21.8%)、「わからない」(20.6%)、「無回答」(3.1%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

■年齢別



50代と60代で「良かった・維持すべき」が65%以上と高くなっています。

N. その他、良かった・維持すべき（自由回答）

●自然環境等に関するもの（13件）

- ・公園等が多く、自然豊かな環境があること
- ・大きな公園が多く、子どもにとってすごく良い環境があること
- ・緑が多いこと
- ・のどかなところ
- ・静かな環境があること
- ・桜をいろいろな所で見ることができること
- ・花を植えてあり、季節ごとにとっても美しいこと
- ・白鳥が飛来すること
- ・公園や道路が常に清掃されていて綺麗なこと
- ・広い土地があること
- ・自然環境が豊富
- ・家の近くでランニングする人をよく見るなど、運動しやすい環境があること
- ・梨が美味しいこと

●生活環境に関するもの（12件）

- ・スーパーやショッピングセンターも充実しており、自然環境とのバランスが程良いこと
- ・子ども連れで気軽に利用できる場所があること
- ・西白井駅前には小売店やドラッグストアがあり住みやすいこと
- ・西白井複合センターで図書館の本が受け取れること
- ・歩道が広く歩きやすく、安心であること
- ・道が広く、安心してベビーカーを押して歩くことができること
- ・車道が広いこと
- ・病院などの無料循環バスがあること
- ・立体交差の鉄道があること
- ・北総線が便利で、運賃がさがったこと
- ・街灯がLED化されていること
- ・駅前に防犯カメラがあること

●人的環境に関するもの（3件）

- ・七次第一公園で開催される夏祭りがあること
- ・駅周辺に朝から掃除してくれるボランティアがいること
- ・地域の人は優しい人が多く、安心して子育てできること

O. その他、良くない・改善すべき（自由回答）

●地域の活性化に関するもの（6件）

- ・少子高齢化により街が過疎化していること
- ・商業施設や飲食店が少ないこと
- ・駅前に活気がないこと
- ・学生の遊べる場所、憩いの場が少ないこと
- ・給食センター跡地の活用ができていないこと
- ・梨と馬以外で自慢できるものがないこと

●交通に関するもの（15件）

- ・交通ルールを守らない車や自転車がいること
- ・草木が伸び、カーブミラー等が見えない場所があること
- ・通学路に信号のない横断歩道があること
- ・風間街道の歩道が狭いこと
- ・街灯が少なく、暗い場所があること
- ・自転車が通りづらいこと
- ・バイクの音がうるさいこと
- ・暴走族がおり、夜安心して眠れないこと
- ・夜人通りが少なく、犯罪が発生しそうなこと
- ・道路周辺の草が伸びており、運転しづらいこと
- ・電車の本数が少ないこと、運賃が高いこと
- ・タクシーの予約ができず、使いづらいこと
- ・コミュニティバスが使いづらいこと
- ・レンタルサイクルがないこと
- ・高齢者の通院、買物のための移動手段が少ないこと

●生活マナーに関するもの（6件）

- ・路上喫煙や歩きたばこをする人がいること
- ・駅前でたばこを吸う人がいること
- ・公園に吸い殻が落ちていること
- ・ロータリーでスケボーをする人がいること
- ・道路や貯水池にごみが捨てられていること
- ・ルールを守らずにごみを捨てる人がいること

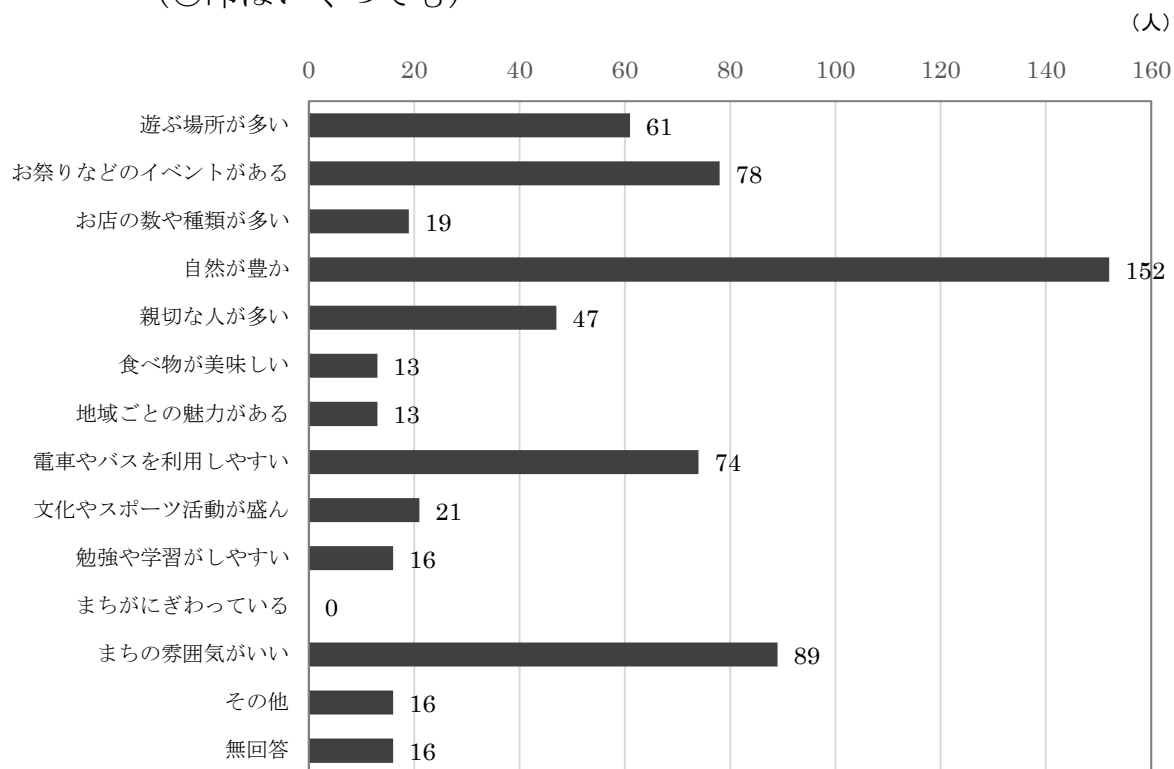
●公共施設に関するもの（13件）

- ・インフラが老朽化していること
- ・公共施設の案内看板がないこと
- ・小中学校の体育館に空調設備がないこと
- ・公園の遊具が少ないこと
- ・公園でボールが使えないこと
- ・公園設備が老朽化していること
- ・公園の芝生を囲んでいる石が固いものであること
- ・公園のトイレが古くて使いたくないと感じること
- ・児童館のオモチャが古いこと
- ・複合施設がないこと
- ・西白井複合センターの図書室が日曜日しまっていること
- ・西白井複合センターで市役所への届出等ができなくなったこと
- ・駅前に喫煙スペースがあること

●その他に関するもの（5件）

- ・住民税が高額だが、還元されていないことがないこと
- ・西白井周辺に総合病院がないこと
- ・クリニックが遠いこと
- ・耳鼻科や皮膚科がないこと
- ・地域のまつりや防災訓練に参加する人が減っていること

【問2】 清水口小学校区の自慢できる場所は何ですか。
(○印はいくつでも)

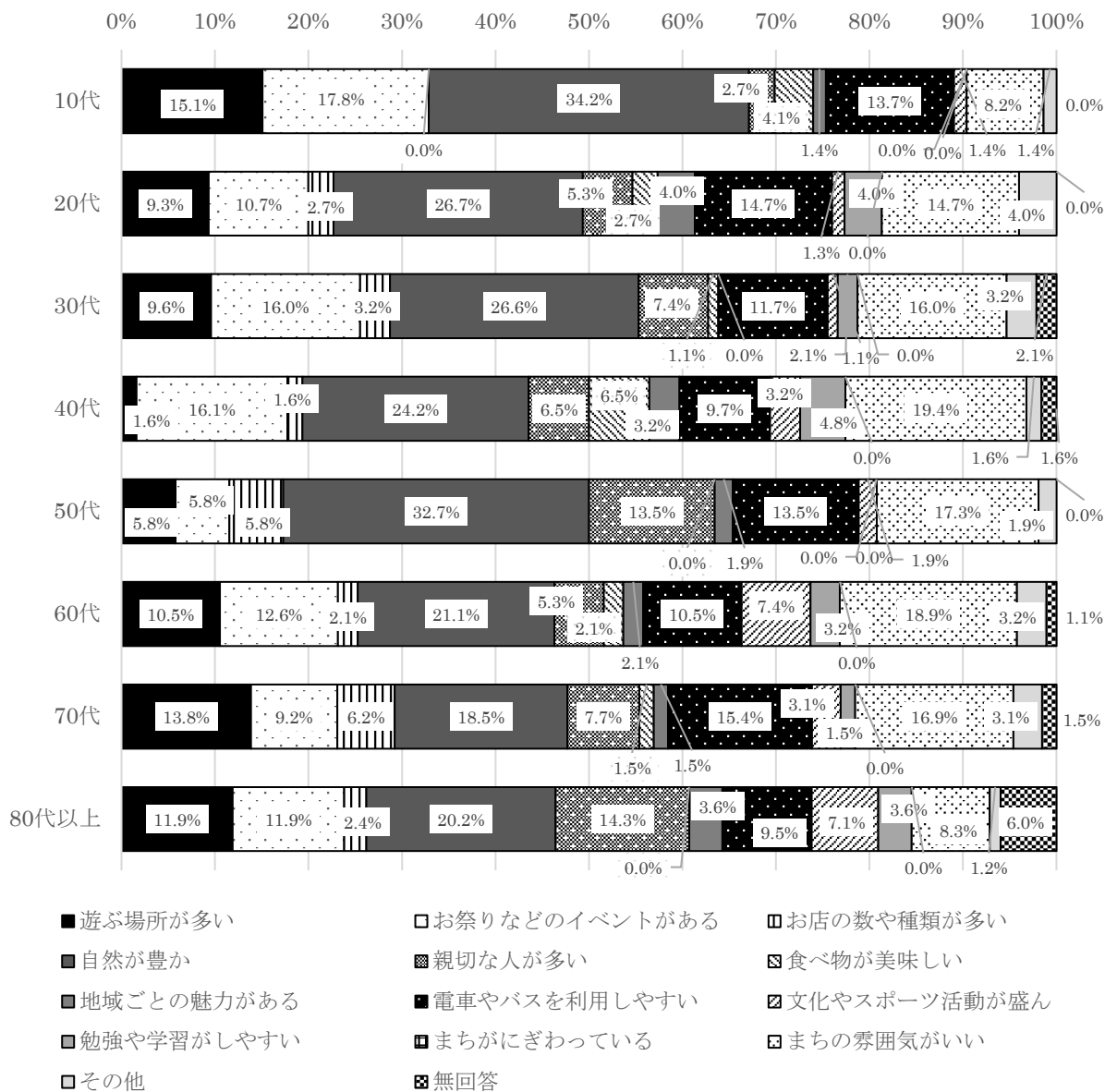


清水口小学校区の自慢できる場所については、「自然が豊か」が152人と最も多く、次いで「まちの雰囲気がいい」89人、「お祭りなどのイベントがある」78人となっています。また、「まちがにぎわっている」は0人となっています。

その他の内容

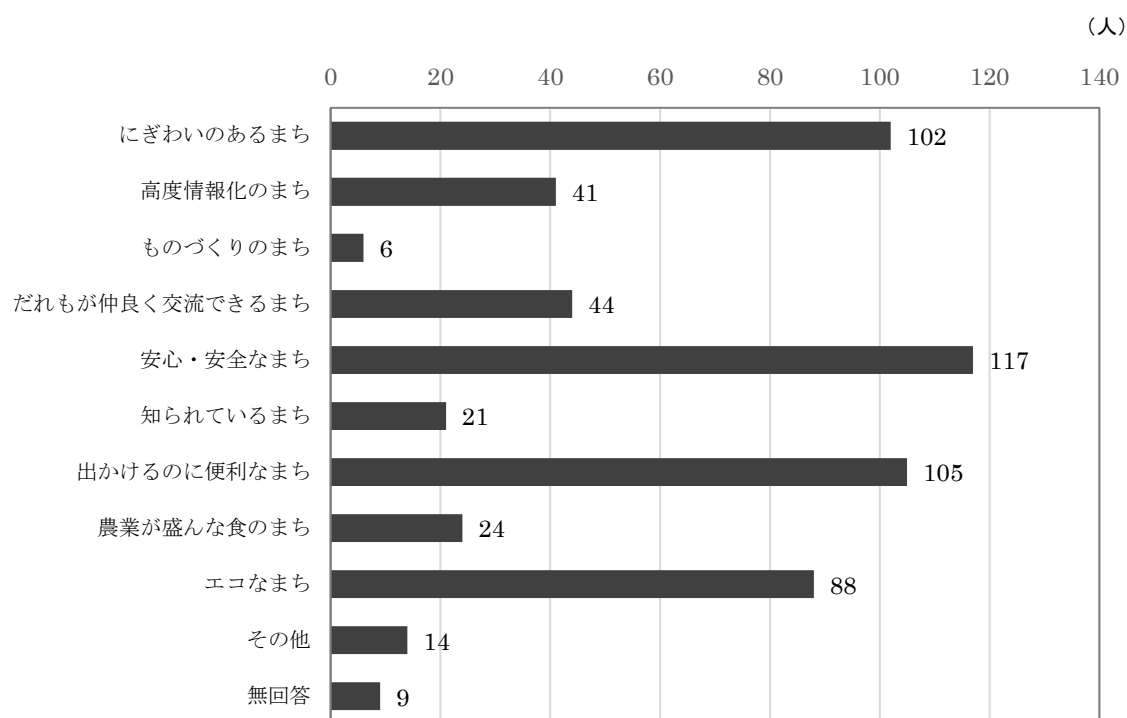
- ・家の近くに梨屋があるところ
- ・梨が美味しいところ
- ・COMADO という、第三の居場所があるところ
- ・歩きやすい、歩道があるところ
- ・静かな環境があるところ
- ・白鳥が飛来するところ
- ・何もない（選択肢を選択できない）ところ

■年齢別



年齢による大きな差はみられません。

【問3】 自分が白井市長だったら、清水口小学校区をどんな地域にしたい
 と思いますか。(〇印はいくつでも)



清水口小学校区をどんな地区にしたいかについては、「安心・安全なまち」が117人と最も多く、次いで「出かけるのに便利なまち」105人、「にぎわいのあるまち」102人となっています。

その他の内容

- ・美しい景観のあるまち
- ・静かで落ち着いたまち
- ・移民の推進をしないまち
- ・太陽光パネルを設置しないまち
- ・高齢者だけでなく、若者にも支援を行うまち
- ・働く若い世代のかゆいところに手が届くような支援のあるまち
- ・市内循環バスを利用しやすいまち
- ・西白井陸橋に屋根がついている便利なまち
- ・図書館（西白井複合センター）で自習でき、19時まで使える便利なまち
- ・防犯カメラのある治安の良いまち
- ・大きな書店のあるまち
- ・地域で買い物等ができるにぎやかなまち
- ・ビジネスホテル等があるまち

【問4】 清水口小学校区にあったらいいと思う場所は何ですか。
(自由回答)

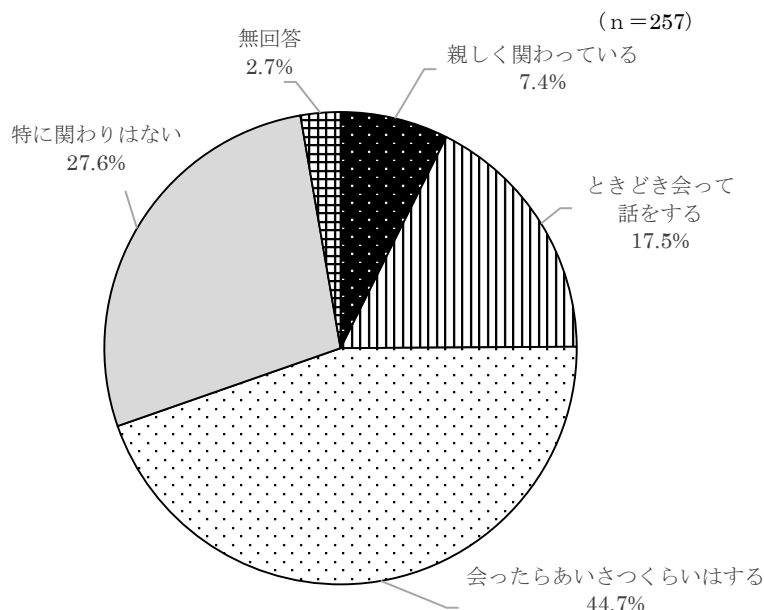
<p>●飲食店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店 (チェーン店) ・ 食堂 (こども食堂含む) ・ 定食屋 ・ 居酒屋 ・ カフェ (チェーン店) ・ コミュニティカフェ 	<p>●学習施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無料の学習室 ・ 無料の防音施設 ・ 図書館 ・ インターナショナルスクール ・ コワーキングスペース
<p>●商業施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スーパー ・ コンビニ・ショッピングモール ・ 弁当屋 ・ 惣菜屋 ・ パン屋 ・ ケーキ屋 ・ ラーメン屋 ・ 産地直売所 ・ スポーツジム (ピラティス教室) ・ 商業施設 ・ 商店街 ・ 草花の大型店 ・ 書店 	<p>●交通機関等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペDESTリアンデッキ ・ 歩道のベンチ ・ 矢印信号 ・ ポケットパーク ・ コインパーキング (安価なもの) ・ レンタルサイクル ・ カーシェアリング <p>●医療機関・介護施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合病院 ・ 耳鼻科、皮膚科、眼科 ・ 特別養護老人施設
<p>●娯楽施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊ぶ場所 (遊具のある公園) ・ 子どもが安心して遊べる場所 ・ 学生のための憩いの場 ・ おもちゃ屋 ・ ゲームセンター ・ バッティングセンター ・ カラオケ ・ 温泉施設 ・ 映画館 ・ ドッグラン ・ 動物と触れ合える場所 ・ 運動施設 (体育館、武道館、野球場など) 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集会所 ・ 図書館の返却ボックス ・ ガソリンスタンド ・ ホテル ・ 貸農園 ・ Wifi スポット ・ リチウムイオン電池を捨てられる場所

飲食店、商業施設、娯楽施設など、まちのにぎわいにつながるような施設を求めていることが推察されます。

また、学習施設、交通機関、医療機関・介護施設等の日常生活の快適さ・便利さにつながるような施設の回答も複数あります。

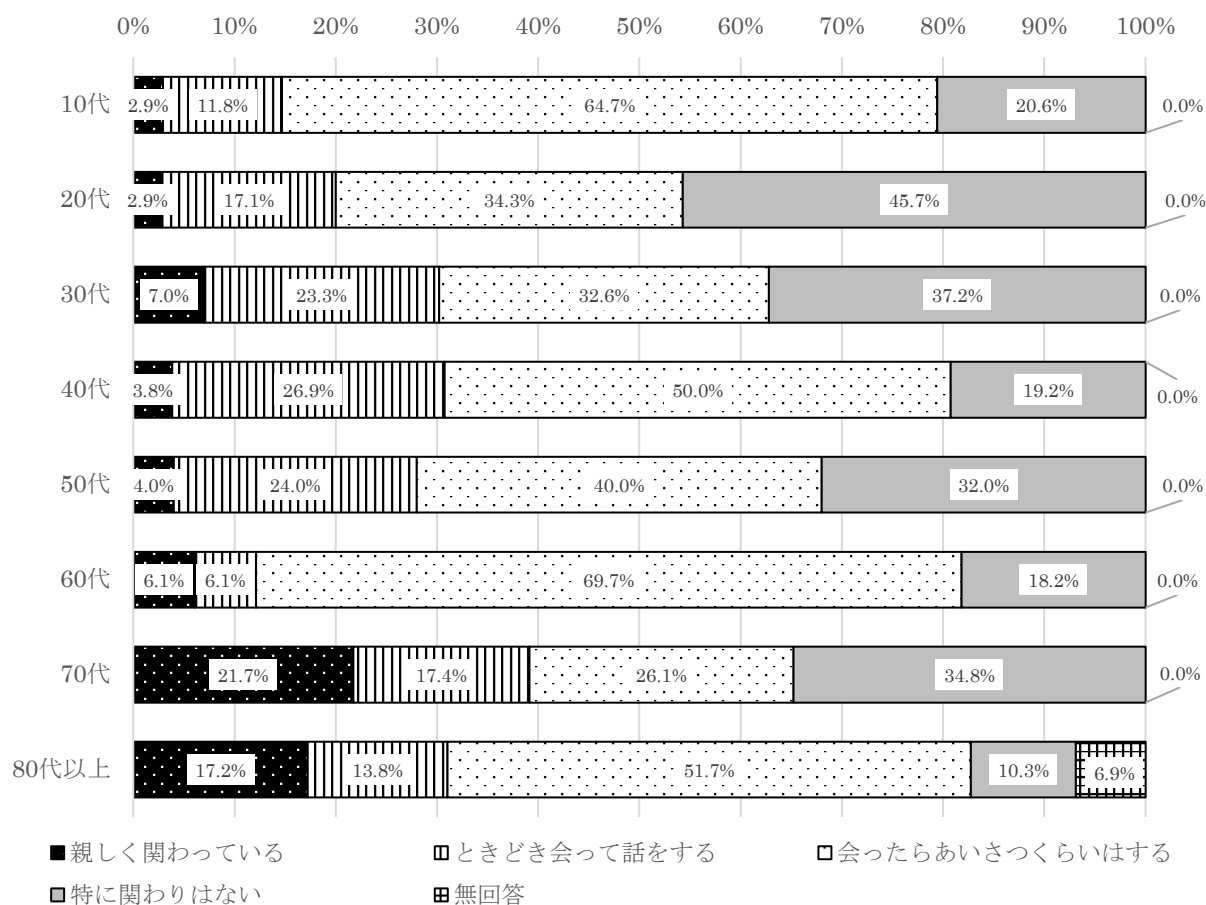
2 清水口小学校区での日頃の関わりについて

【問5】 ふだん、清水口小学校区内の人とどの程度の関わりがありますか。
(○印は1つ)



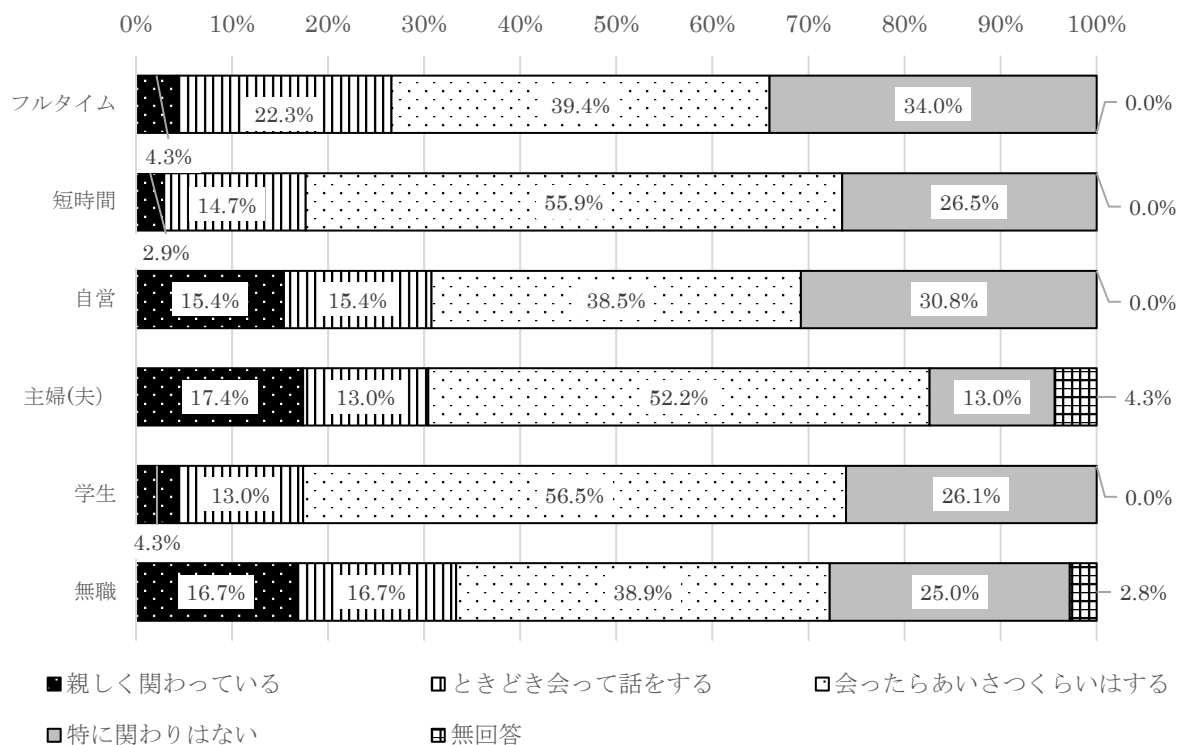
日常における清水口小学校区内の人との関わり方の程度は「会ったらあいさつくらいはする」が44.7%と最も高く、次いで「特に関わりはない」(27.6%)、「ときどき会って話をする」(17.5%)、「親しく関わっている」(7.4%)、「無回答」(2.7%)となっています。

■年齢



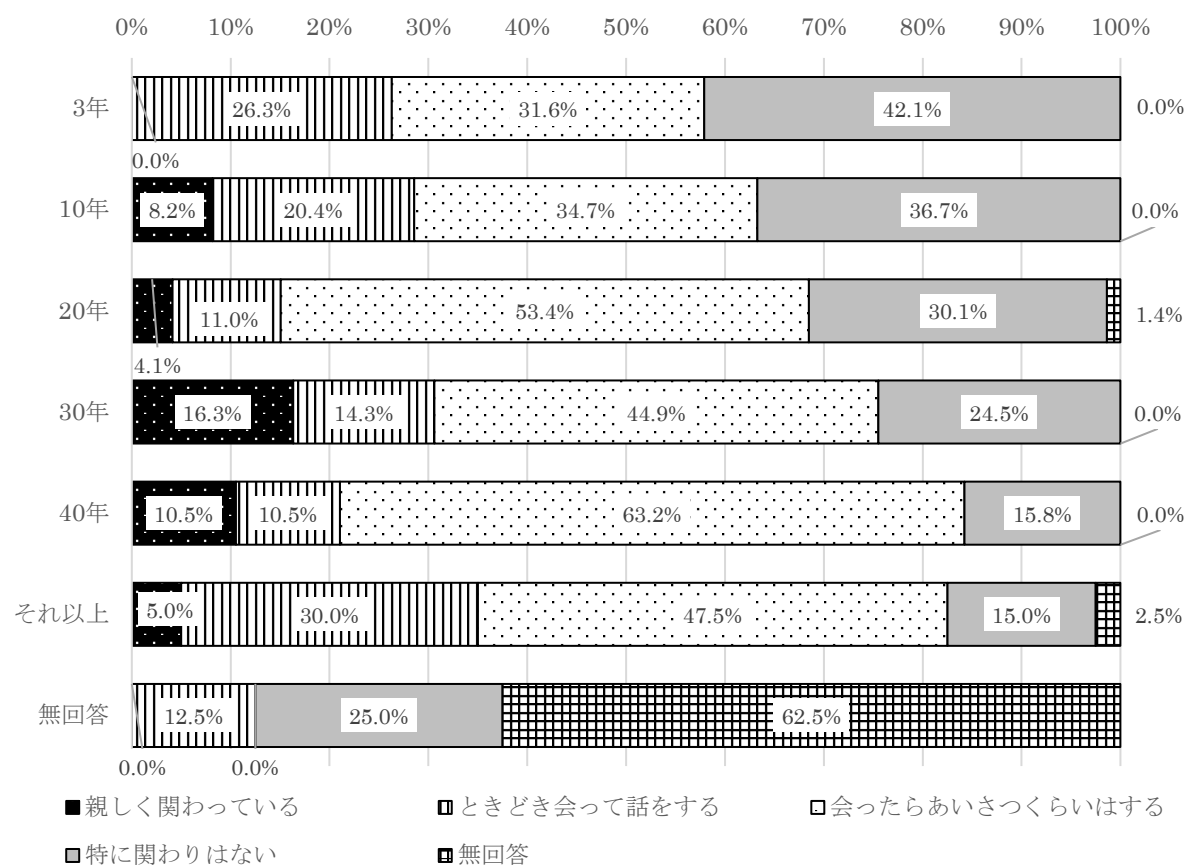
20代、30代、70代では「特に関わりはない」が最も高く、その他の年代では「会ったらあいさつくらいはする」が最も高くなっています。

■仕事



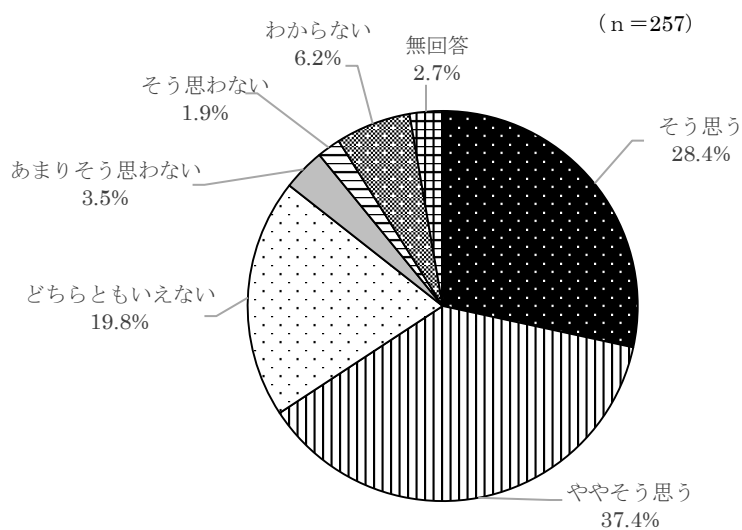
仕事に関係なく「会ったらあいさつくらいはする」が最も高くなっています。また、「親しく関わっている」は自営業、主婦（夫）、無職で高い傾向があります。

■居住年数



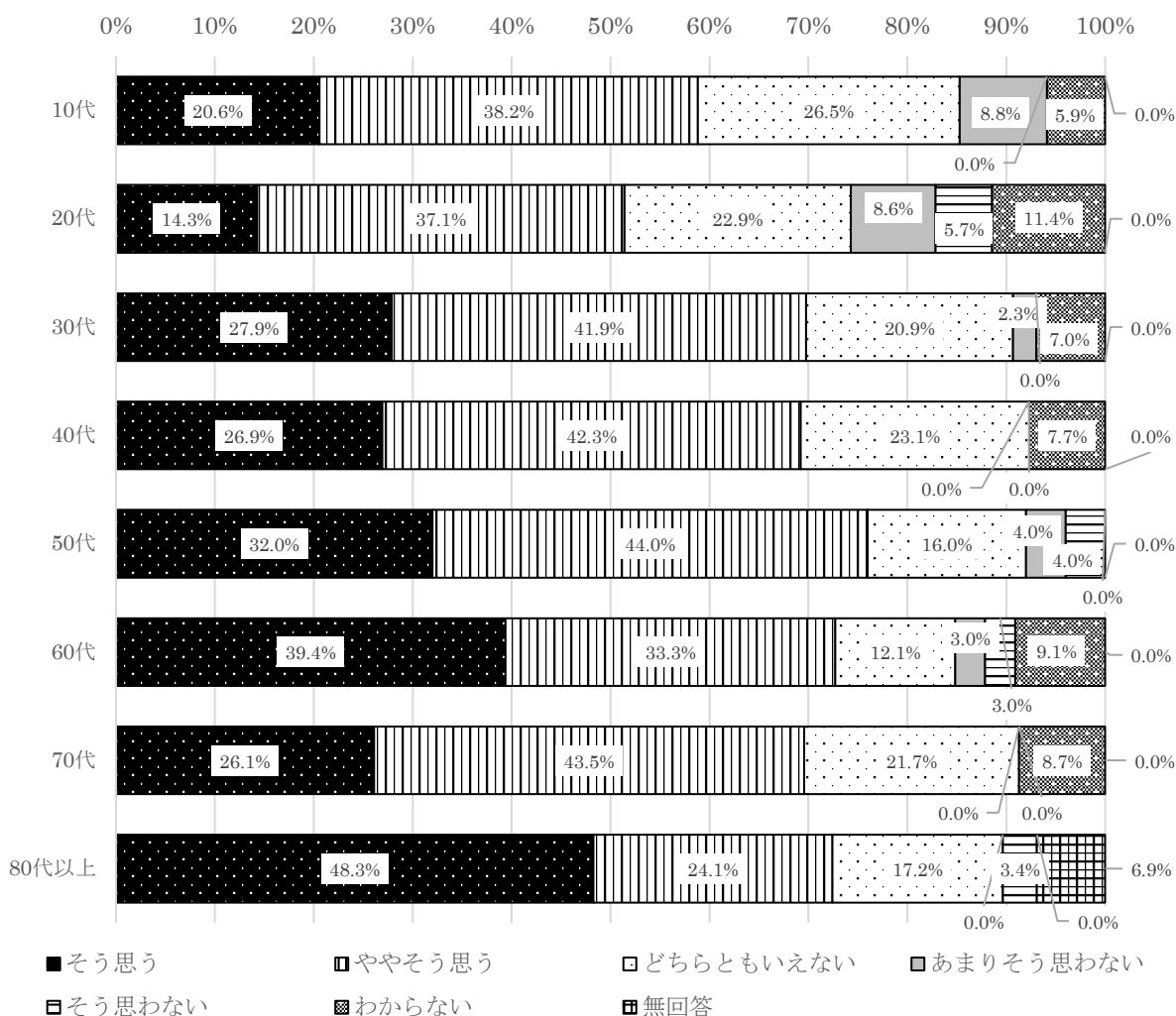
10年以上在住している人は「親しく関わっている」「ときどき会って話をする」の割合が高く、3年未満の人においては「親しく関わっている」は0%となっています。

【問6】 清水口小学校区内の人々のつながりは必要だと思いますか。
(○印は1つ)



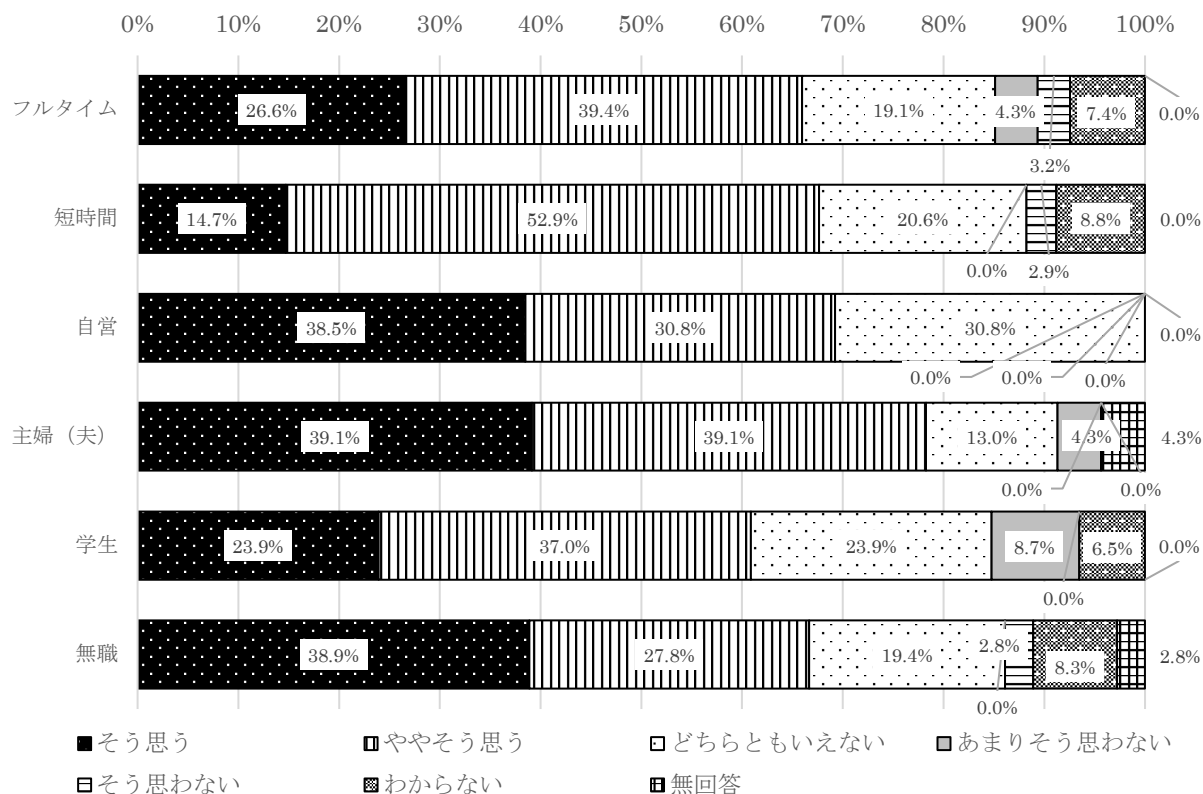
清水口小学校区内の人々のつながりの必要性について「ややそう思う」が37.4%で最も高く、次いで「そう思う」(28.4%)、「どちらともいえない」(19.8%)「わからない」(6.2%)、「あまりそう思わない」(3.5%)、「無回答」(2.7%)、「そう思わない」(1.9%)となっています。

■年齢



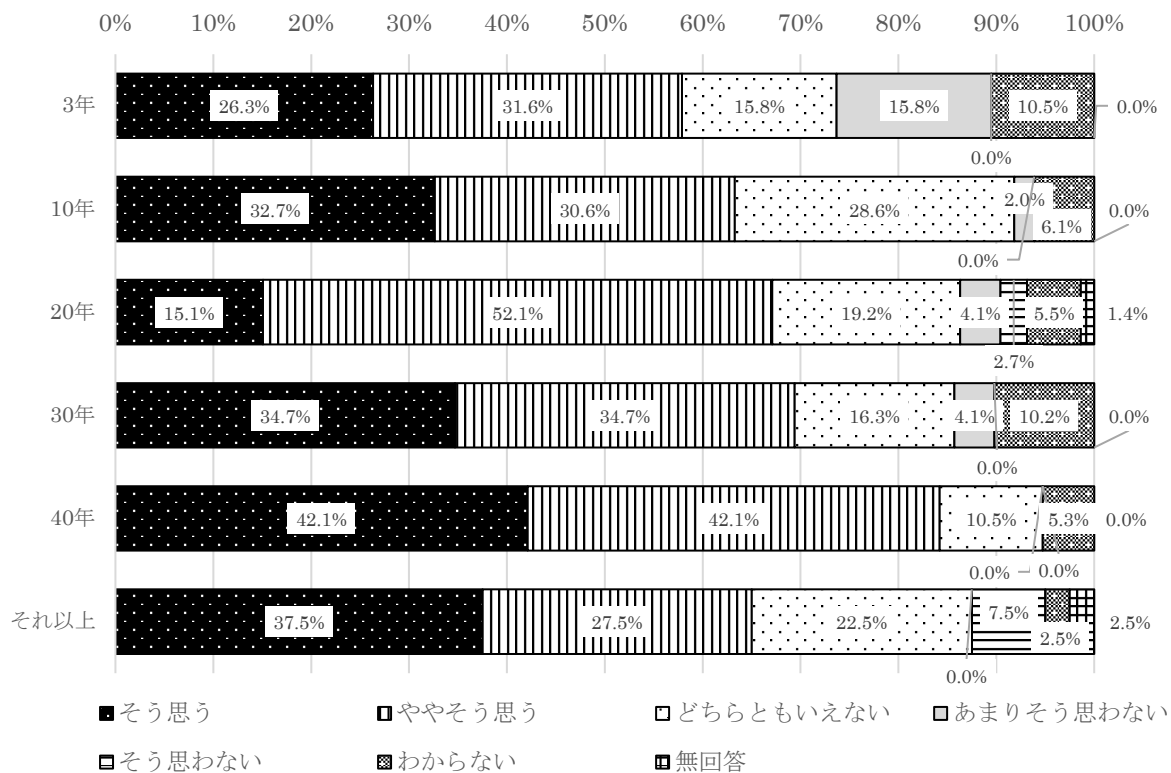
60代と80代で「そう思う」が最も高くなっており、他の年代では「ややそう思う」が最も高くなっています。

■仕事



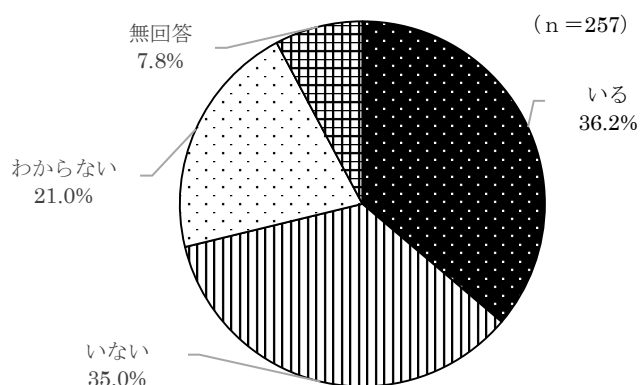
無職、自営、主婦（夫）において、「そう思う」が高くなっており、地域にいる時間が長い傾向にある人が、人とのつながりを必要と感じている様子が伺えます。

■年数



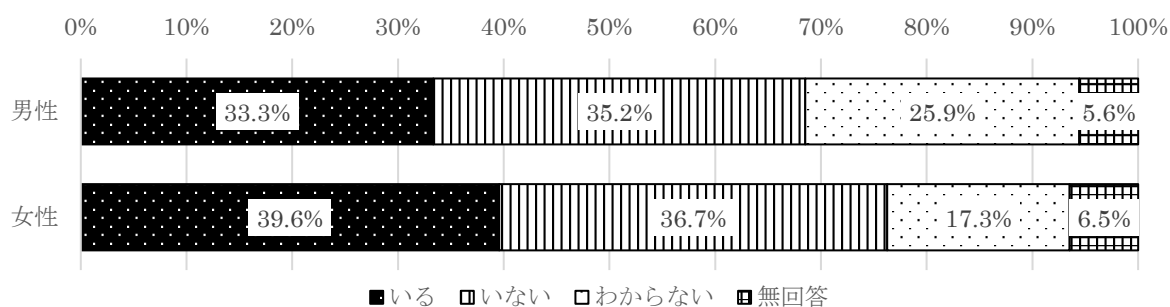
3年未満の人では「あまりそう思わない」の割合が他年代より高くなっています。

【問7】 災害時など、清水口小学校区内に助けてくれる人や相談できる人がいますか。(○印は1つ)



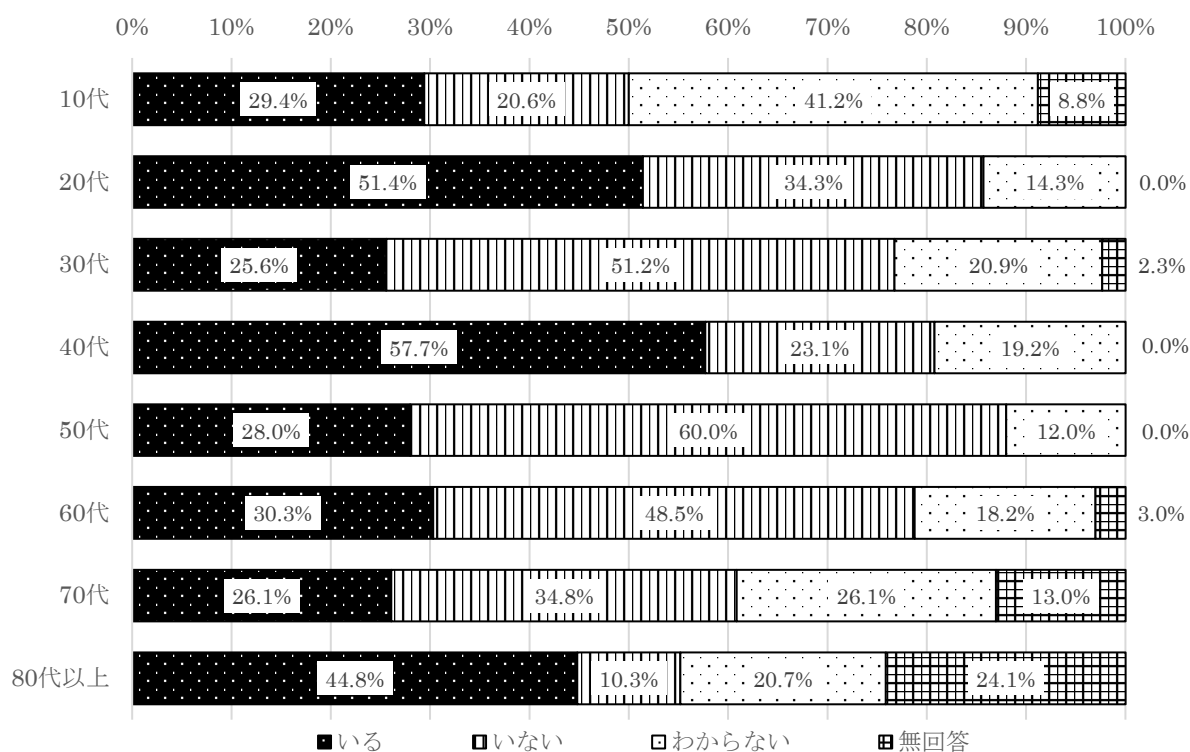
災害時など、清水口小学校区内に助けてくれる人や相談できる人がいるかについては、「いる」の36.2%が最も高く、次いで「いない」(35.0%)、「わからない」(21.0%)、「無回答」(7.8%)となっています。

■性別



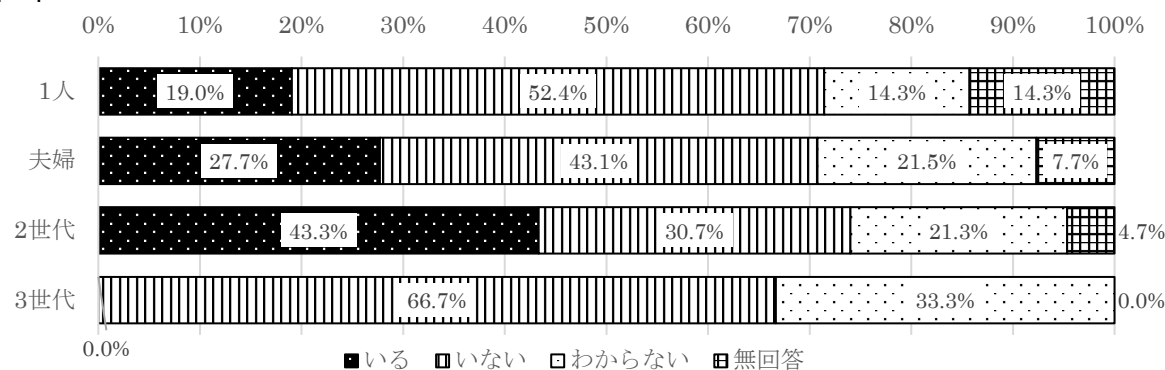
女性は「いる」が最も高く、男性は「いない」が最も高くなっています。

■年齢



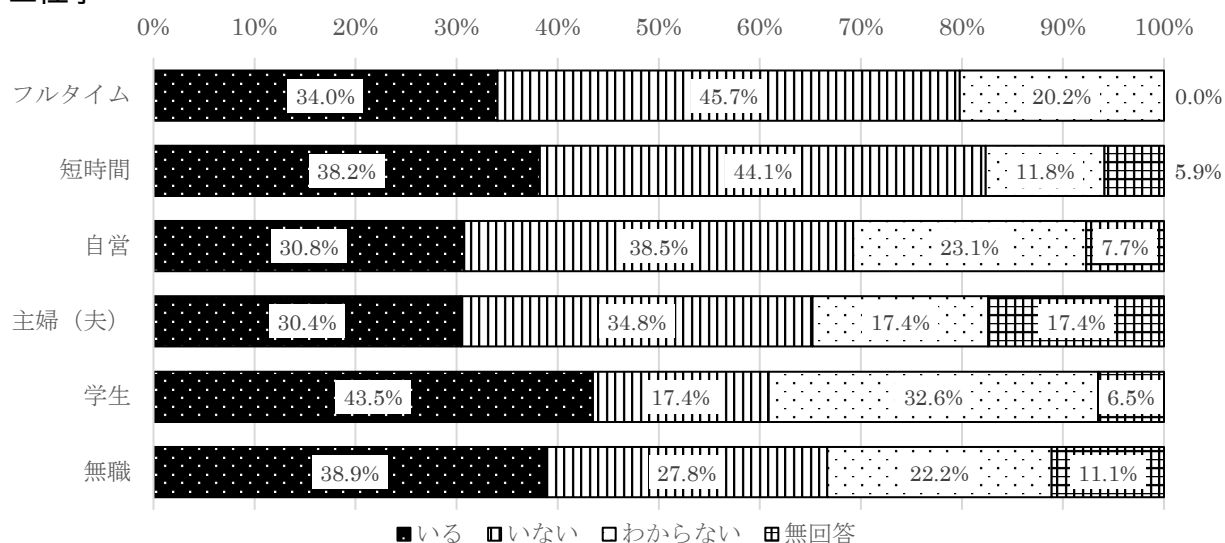
10代、20代、40代、80代では「いる」が最も高く、30代、50代、60代、70代では「いない」が最も高くなっています。

■世帯



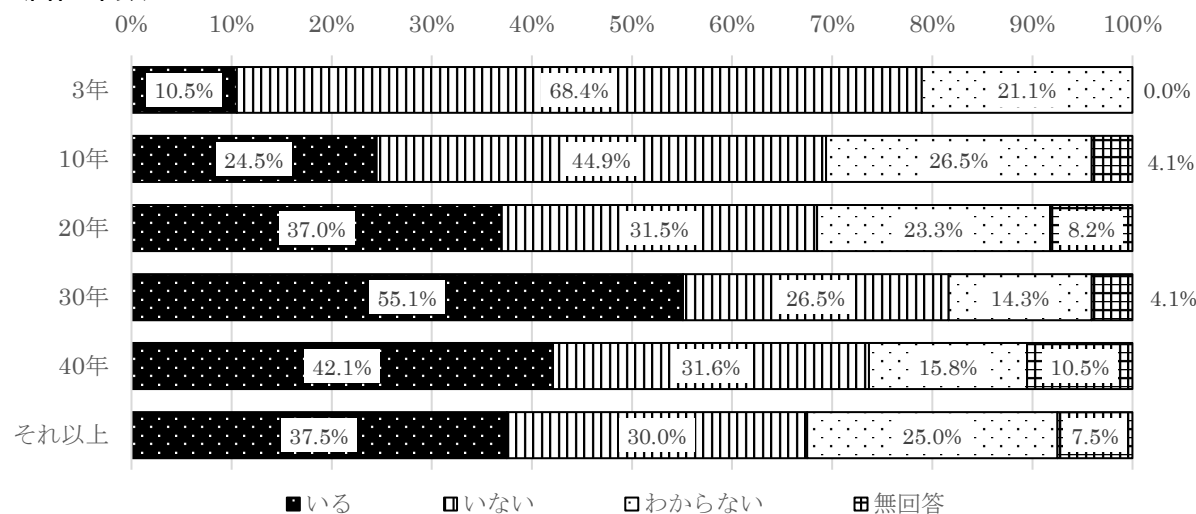
2世代で住んでいる人は相談できる人が「いる」が最も高く、1人世帯や夫婦のみ世帯では「いない」が最も高くなっています。3世代で住んでいる人は「いる」が0%となっています。

■仕事



学生と無職では相談できる人が「いる」が最も高く、その他は「いない」が最も高くなっています。

■居住年数



20年以上住んでいる人は相談できる人が「いる」が最も高く、10年以下の人は「いない」が最も高くなっています。

3 清水口小学校区での地域活動について

【問 8】 清水口小学校区を住みやすいまちにしていくために、以下の項目について、主に誰が責任を持って取り組むべきだと思いますか。
(A～Mそれぞれ1つずつ〇印)

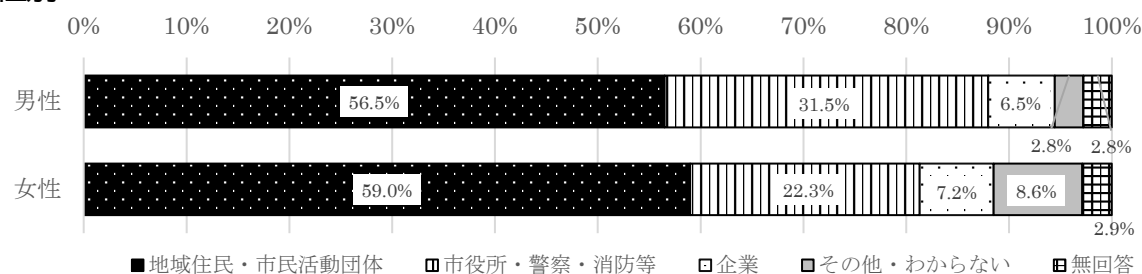
A. 景観・環境の保全（ごみ拾いや清掃、緑化、花の植栽など）

(n=257)



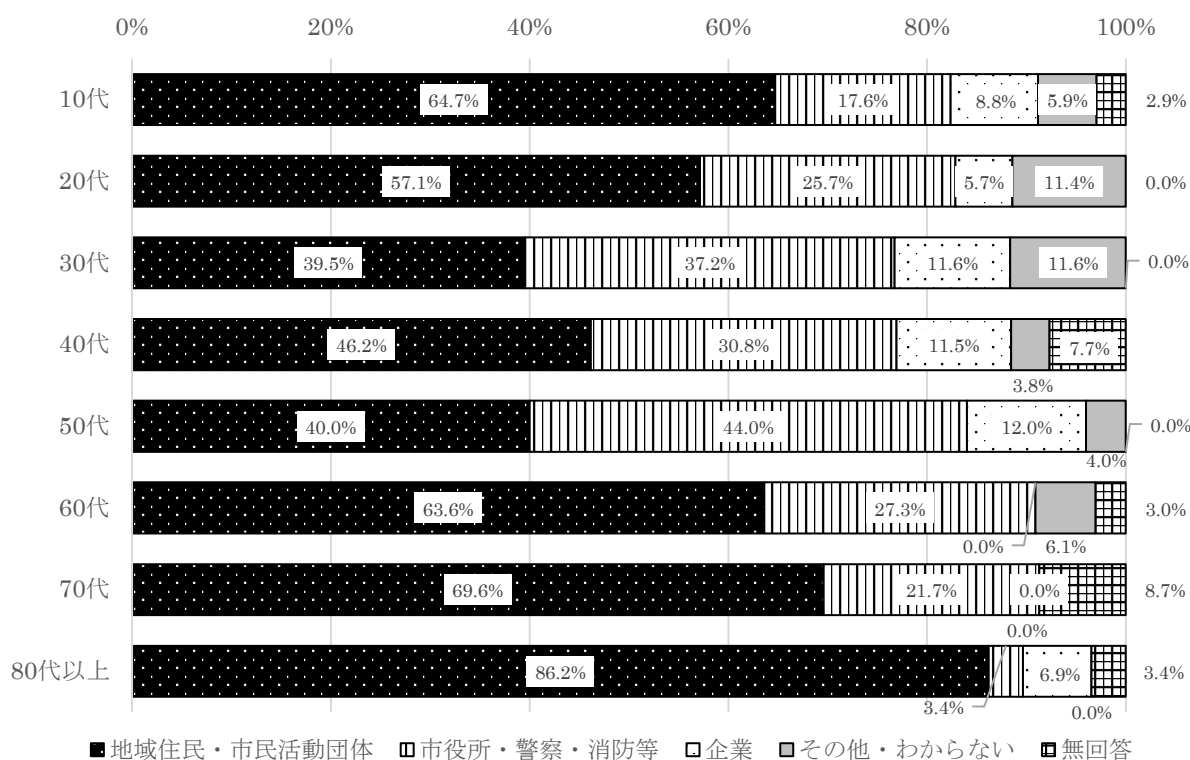
景観・環境の保全については、「地域住民・市民活動団体」が58.0%と最も高く、次いで「市役所・警察・消防等」(25.3%)、「企業」(7.4%)、「その他・わからない」(5.8%)、「無回答」(3.5%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

■年齢別



10代、20代、60代、70代、80代では「地域住民・市民活動団体」が50%以上となっており、地域で過ごす時間が長い年代において割合が高い傾向があります。

B. 交通安全（子どもや高齢者の事故防止など）

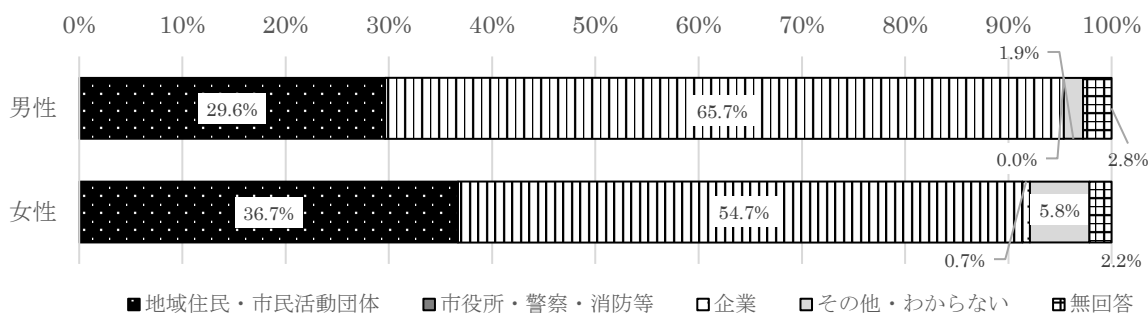
(n=257)



交通安全については、「市役所・警察・消防等」が59.1%と最も高く、次いで「地域住民・市民活動団体」(33.1%)、「その他・わからない」(4.3%)、「無回答」(3.1%)、「企業」(0.4%)となっています。

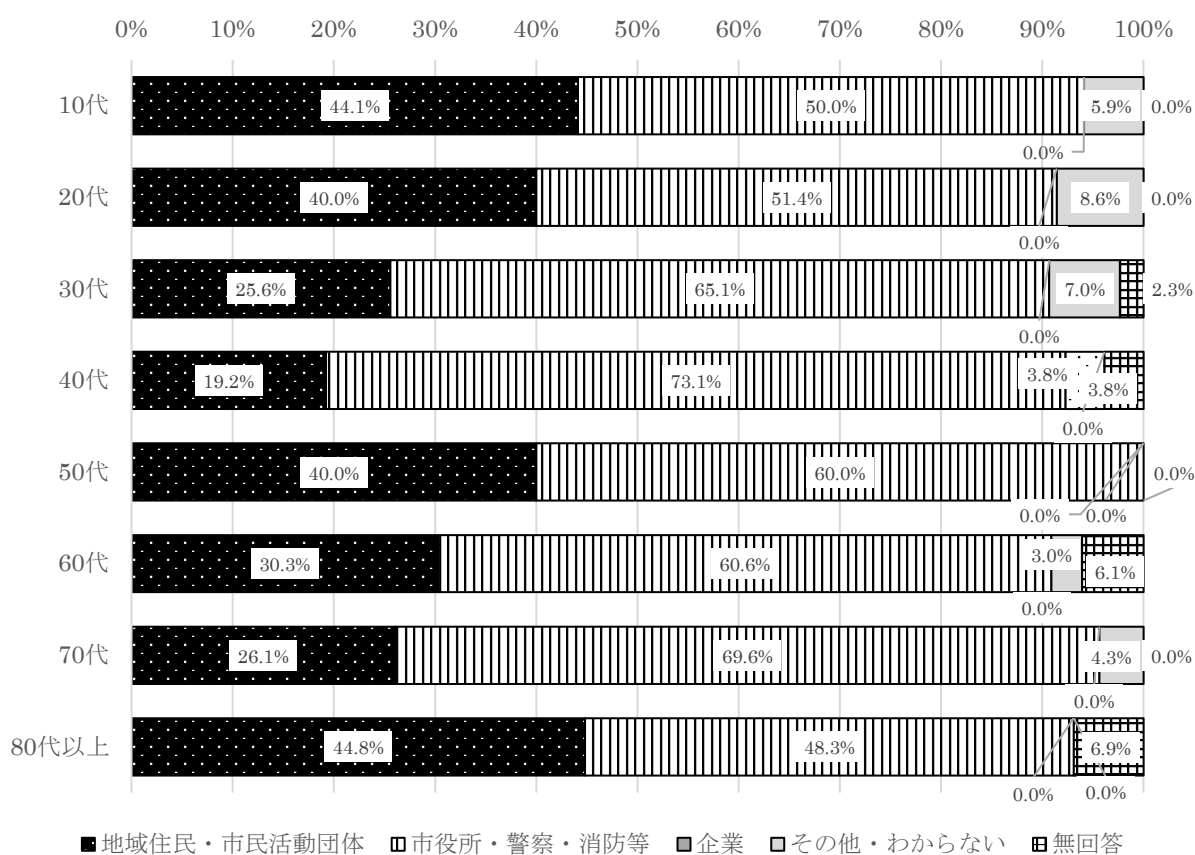
性別に関わらず「地域住民・市民活動団体」の割合が高くなっています。

■性別



「地域住民・市民活動団体」は男性より女性の方が7.1%高くなっています。

■年齢別



10代、20代、50代、80代以上では「地域住民・市民活動団体」が40%以上と高くなっています。

C. 高齢者、障がい者への支援（居場所・交流の場づくりや見守りなど）

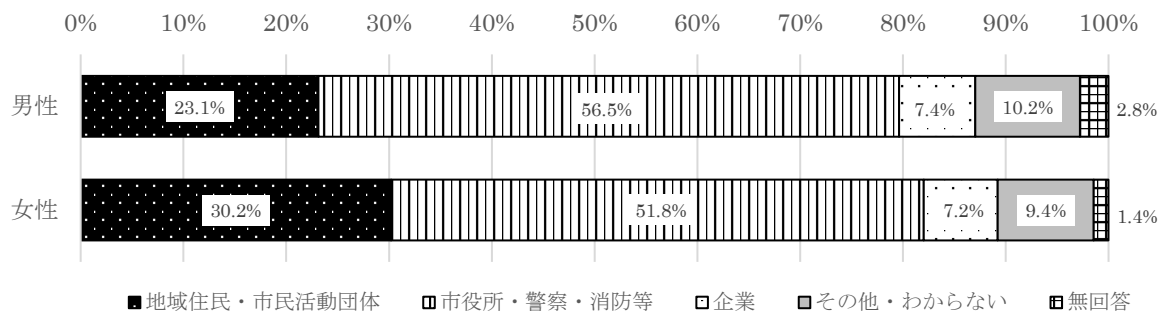
(n=257)



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

高齢者、障がい者への支援については、「市役所・警察・消防等」が54.5%と最も高く、次いで「地域住民・市民活動団体」（26.5%）、「その他・わからない」（9.3%）、「企業」（7.0%）、「無回答」（2.7%）となっています。

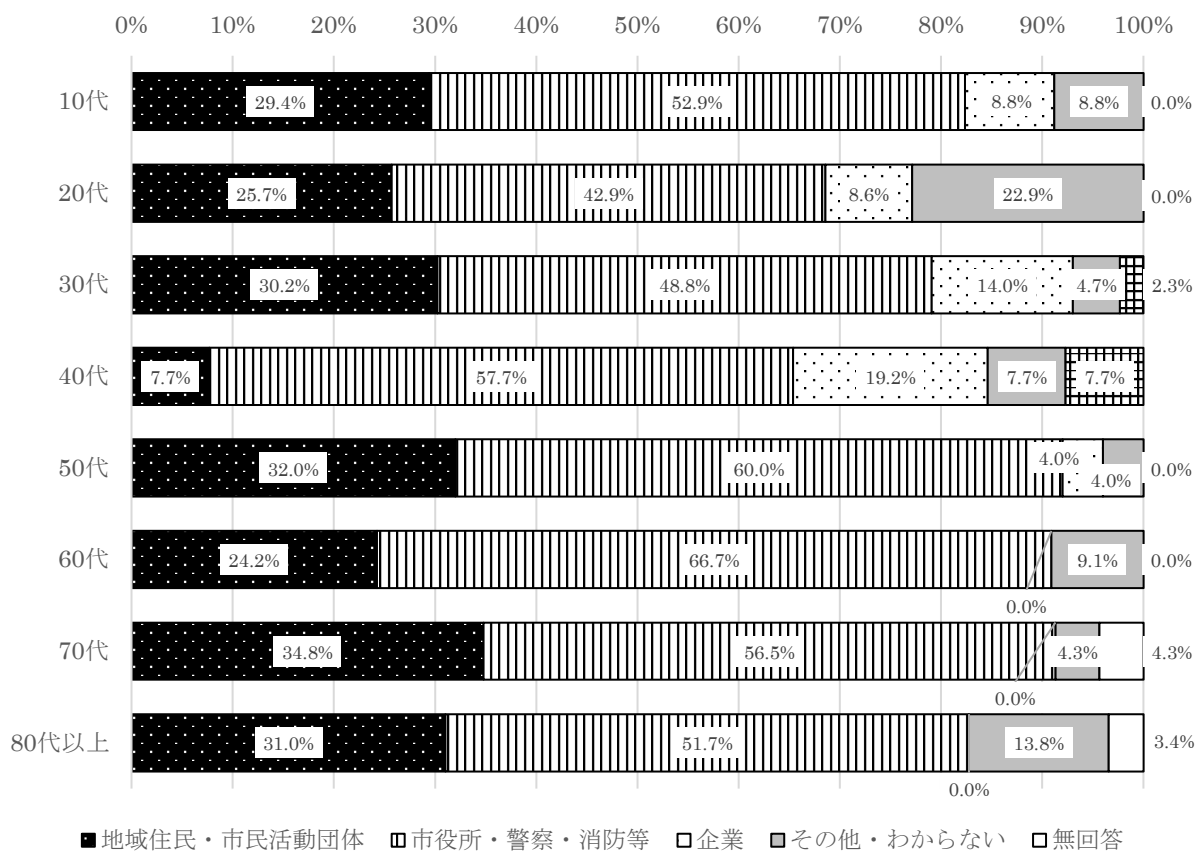
■性別



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

「地域住民・市民活動団体」は男性より女性の方が7.1%高くなっています。

■年齢別

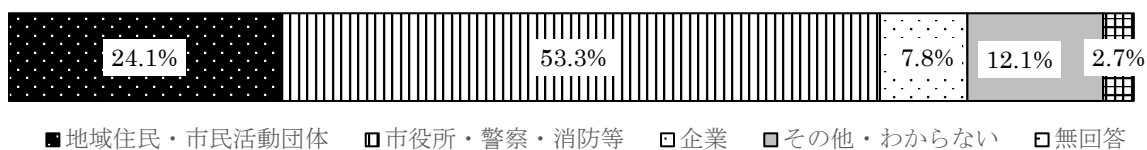


■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない □ 無回答

40代は「地域住民・市民活動団体」が7.7%と最も低く、「企業」が19.2%と最も高くなっています。

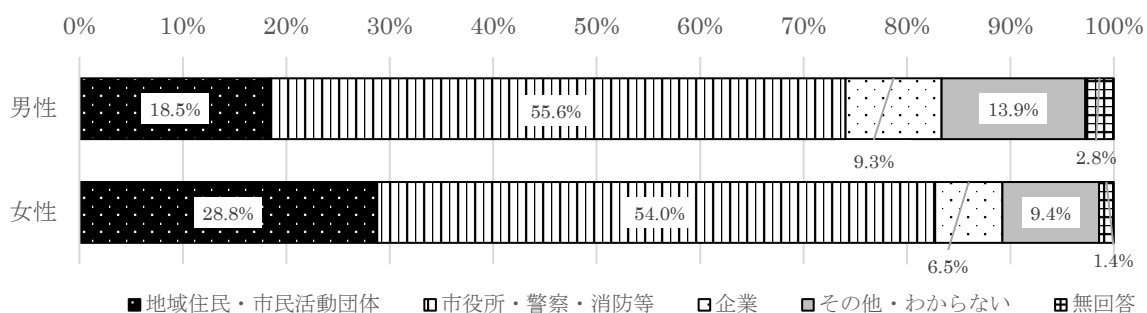
D. 子育てや教育に関する支援（居場所づくり・子育ての情報交換の場など）

(n=257)



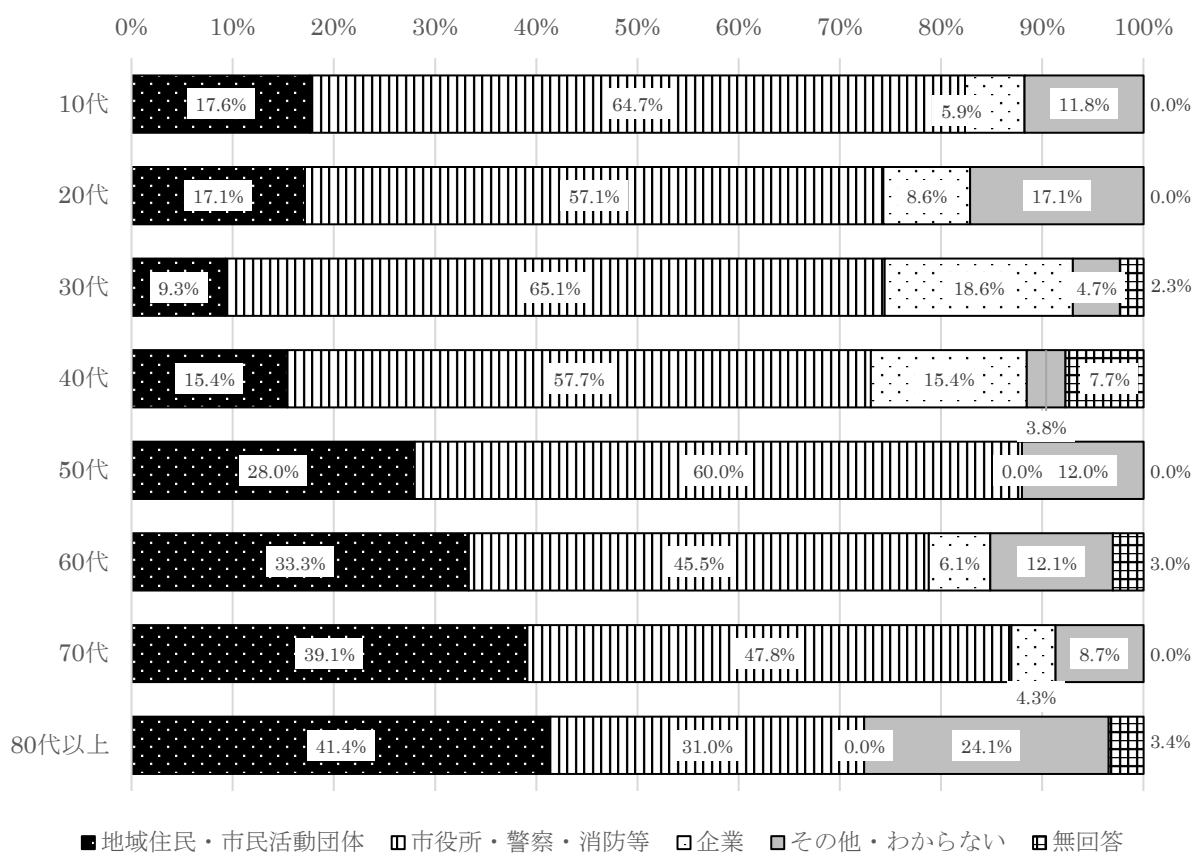
子育てや教育に関する支援については、「市役所・警察・消防等」が53.3%と最も高く、次いで「地域住民・市民活動団体」（24.1%）、「その他・わからない」（12.1%）、「企業」（7.8%）、「無回答」（2.7%）となっています。

■性別



「地域住民・市民活動団体」は男性より女性の方が10.3%高くなっています。

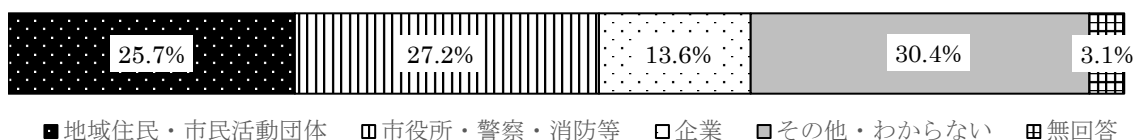
■年齢別



40代以下は「地域住民・市民活動団体」が20%以下、50代以上は25%以上となっており、年代が高いほど、「地域住民・市民活動団体」主体で取り組むべきと考えています。

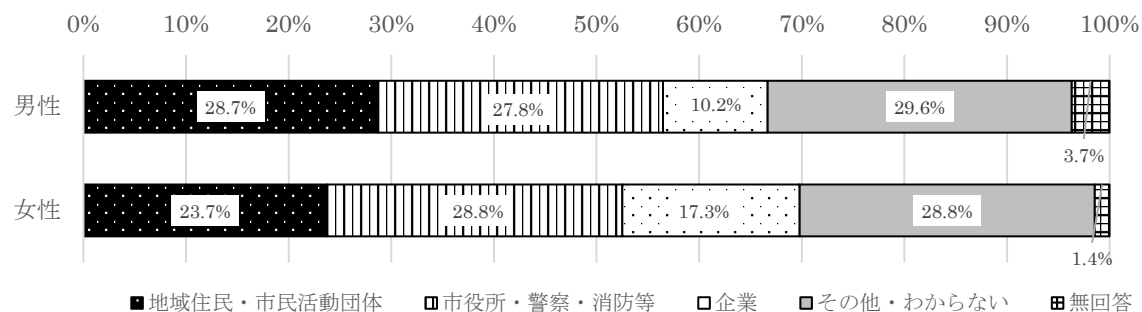
E. 市内に住む（働く）外国人との共生の取り組み（国際交流イベントなど）

(n=257)



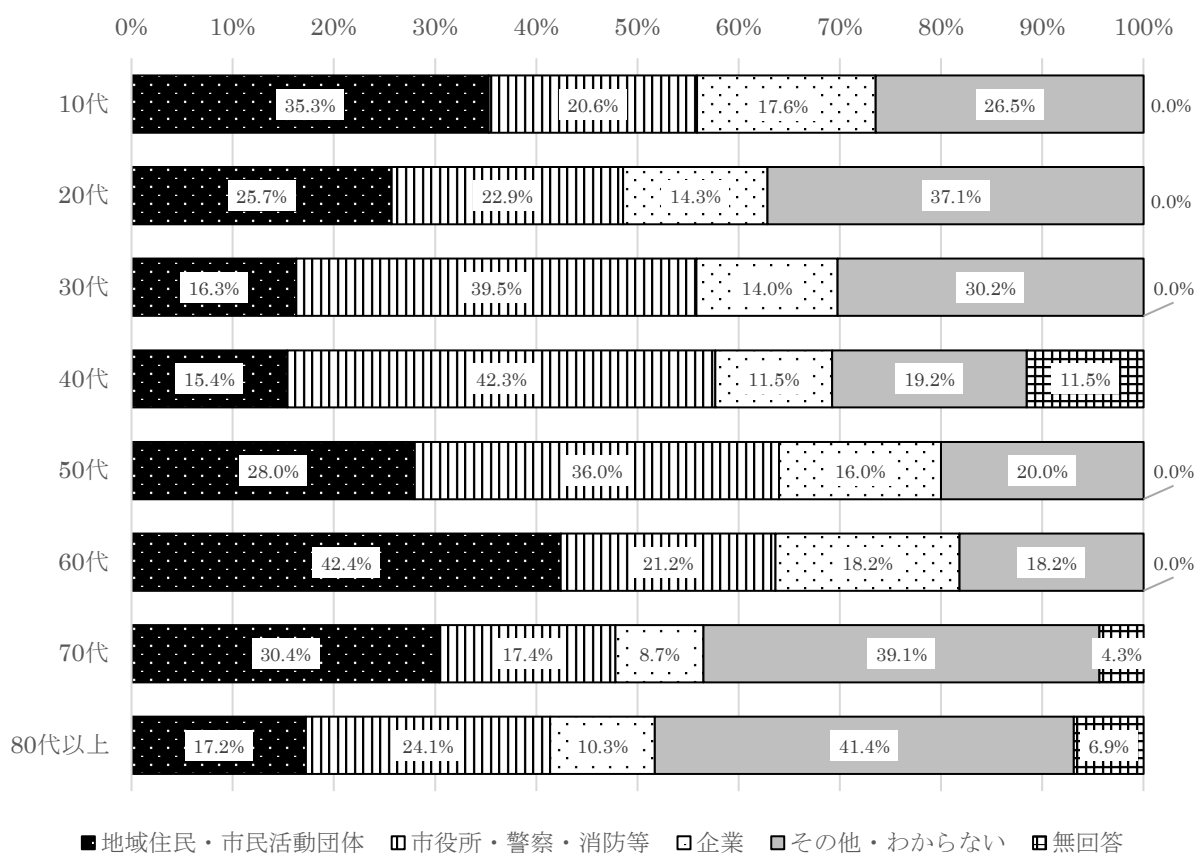
市内に住む（働く）外国人との共生の取り組みについては、「市役所・警察・消防等」が27.2%と最も高く、次いで「その他・わからない」（30.4%）、「地域住民・市民活動団体」（25.7%）、「企業」（13.6%）、「無回答」（3.1%）となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

■年齢別



10代、20代、50代、60代、70代は「地域住民・市民活動団体」が20%以上となっています。

F. 住民同士の親睦・交流、地域のにぎわいづくり（夏祭りやイベント、まちおこしなど）

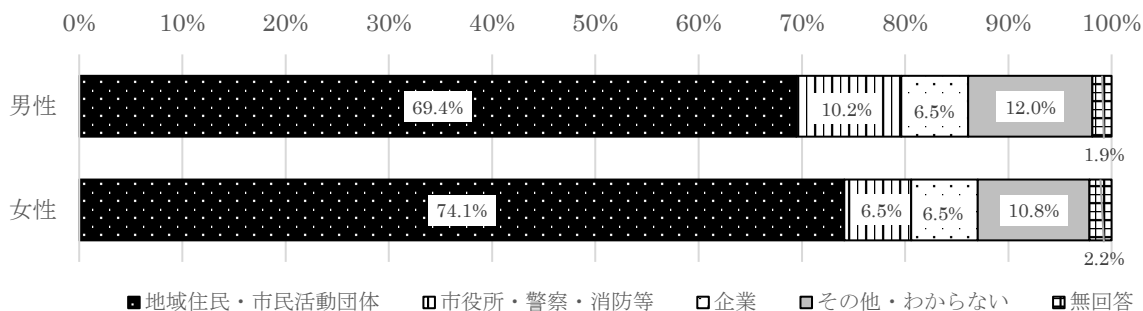
(n = 257)



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

住民同士の親睦・交流、地域のにぎわいづくりについては、「地域住民・市民活動団体」が70.8%と最も高く、次いで「その他・わからない」(12.1%)、「市役所・警察・消防等」(7.8%)、「企業」(6.6%)、「無回答」(2.7%)となっています。

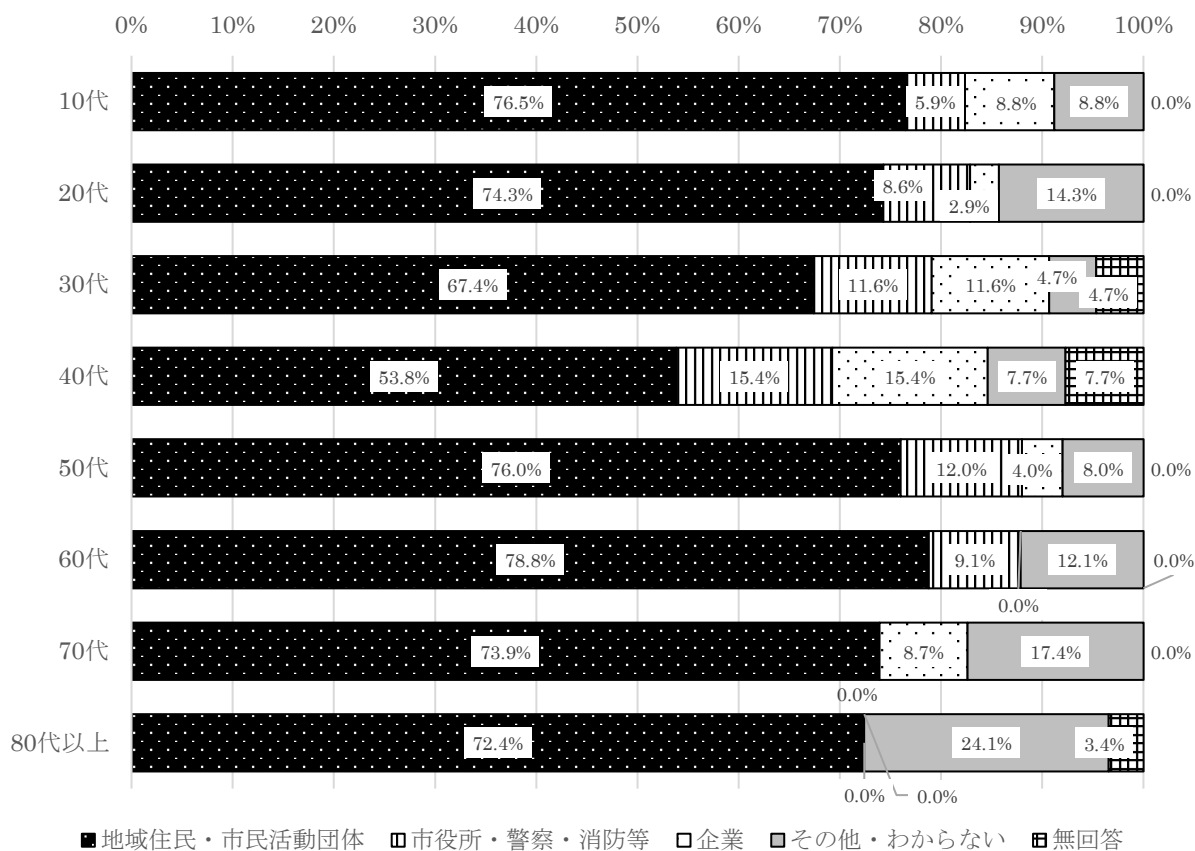
■性別



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

性別による大きな差はみられません。

■年齢別

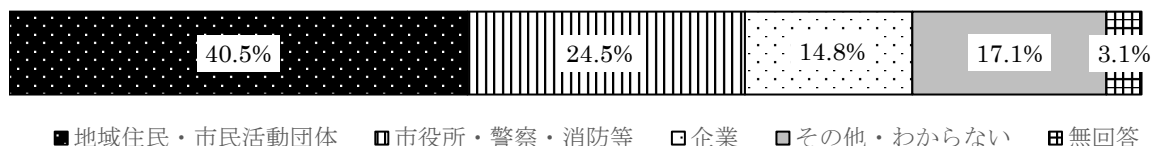


■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

年齢に関係なく「地域住民・市民活動団体」が最も高くなっています。40代では「企業」が15.4%と高くなっています。

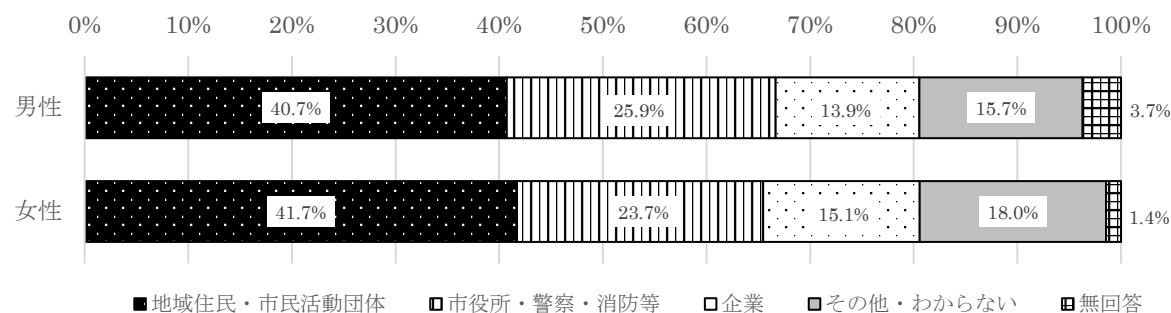
G. スポーツ・レクリエーションの開催（スポーツ大会や介護予防教室の開催など）

(n=257)



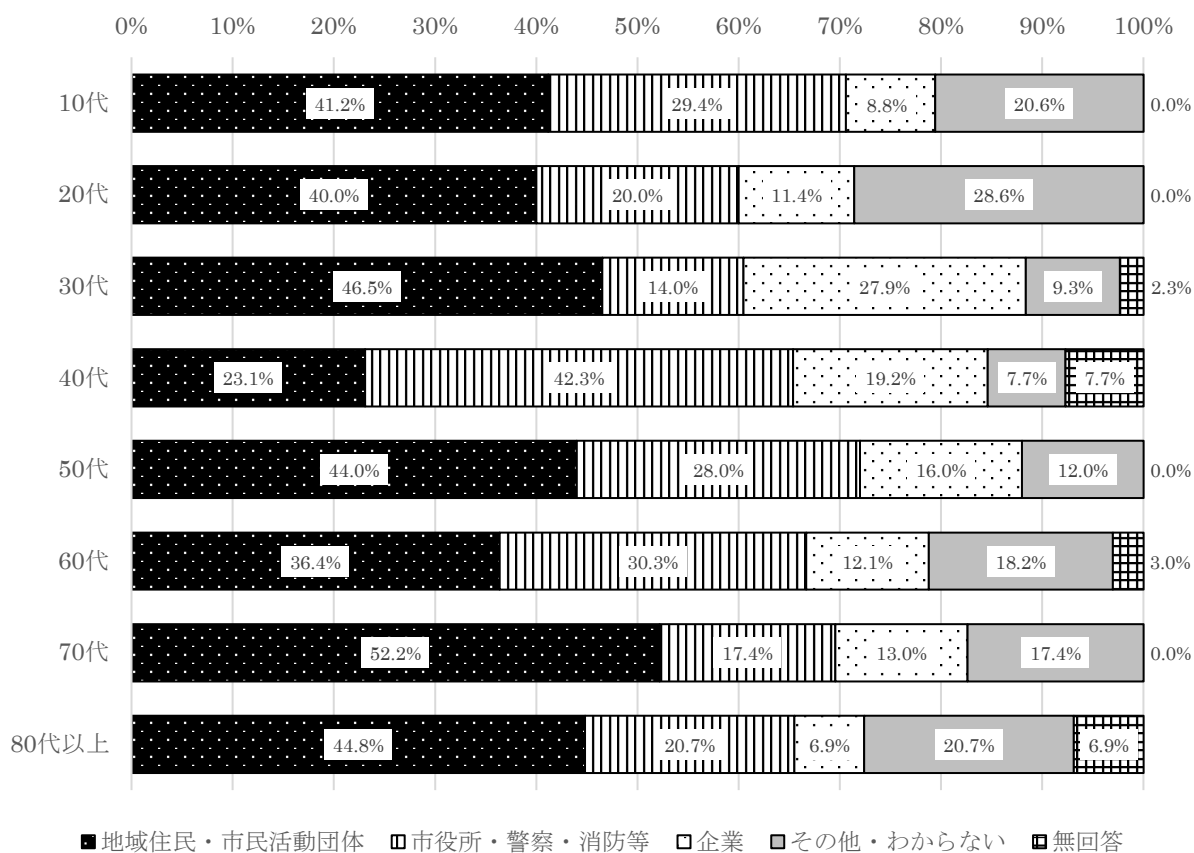
スポーツ・レクリエーションの開催については、「地域住民・市民活動団体」が40.5%と最も高く、次いで「市役所・警察・消防等」（24.5%）、「その他・わからない」（17.1%）、「企業」（14.8%）、「無回答」（3.1%）となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

■年齢別



40代では「市役所・警察・消防等」が42.3%と最も高くなっています。その他の年代では「地域住民・市民活動団体」が最も高くなっています。

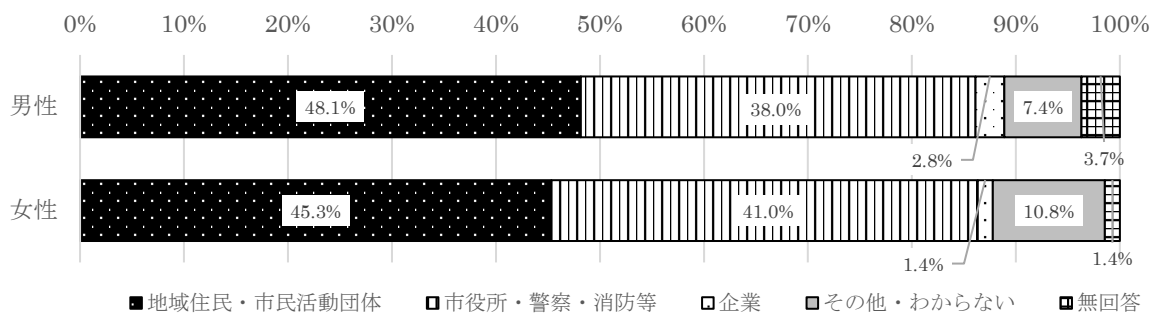
H. 生活マナー（ポイ捨て防止や犬のフン対策など）

(n = 257)



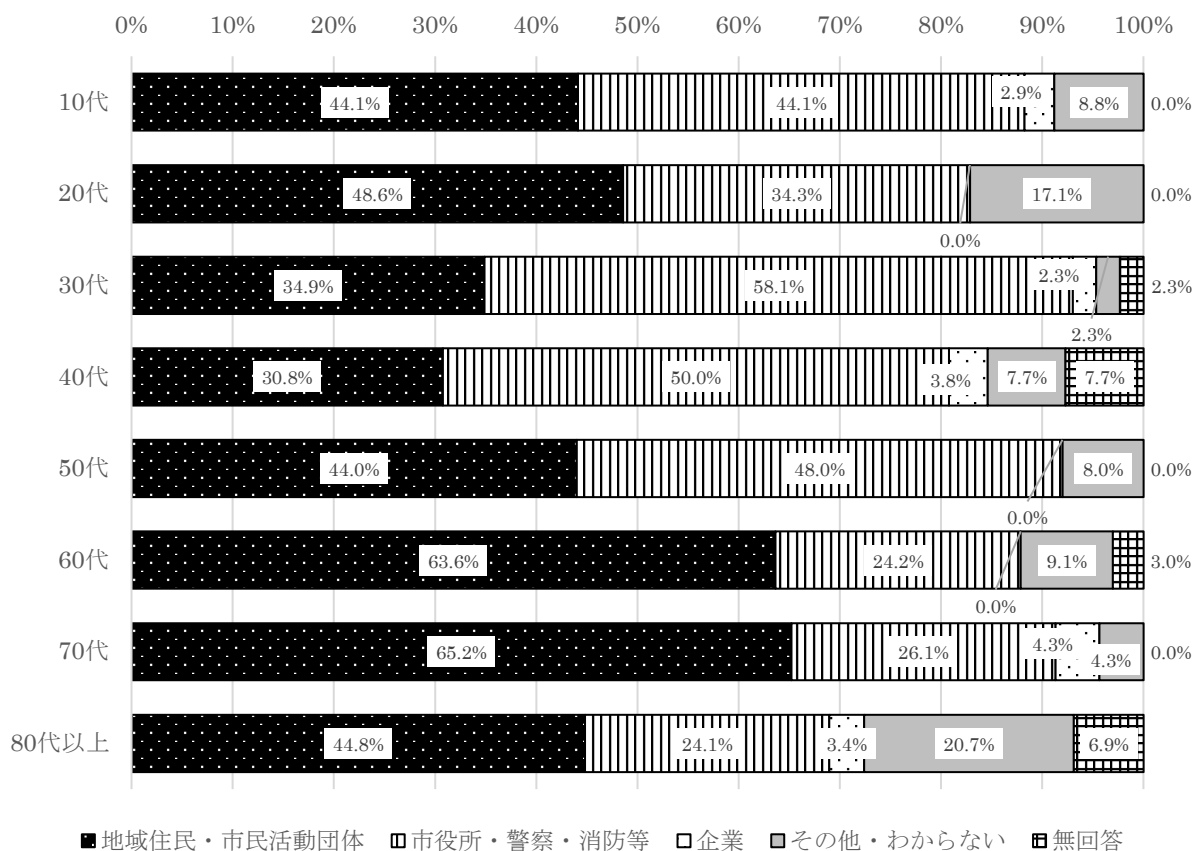
生活マナーについては、「地域住民・市民活動団体」が45.5%と最も高く、次いで「市役所・警察・消防等」(39.7%)、「その他・わからない」(9.3%)、「無回答」(3.1%)、「企業」(2.3%)となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

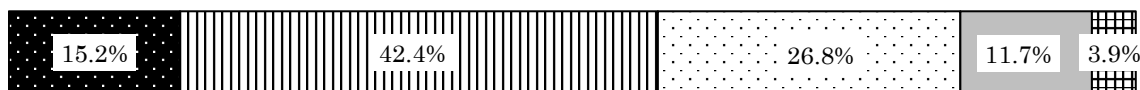
■年齢別



10代、30代、40代、50代で「市役所・警察・消防等」の割合が高く、20代、60代、70代、80代以上では「地域住民・市民活動団体」の割合が高くなっています。

I. 地域内での移動支援（買い物・通院時の送迎など）

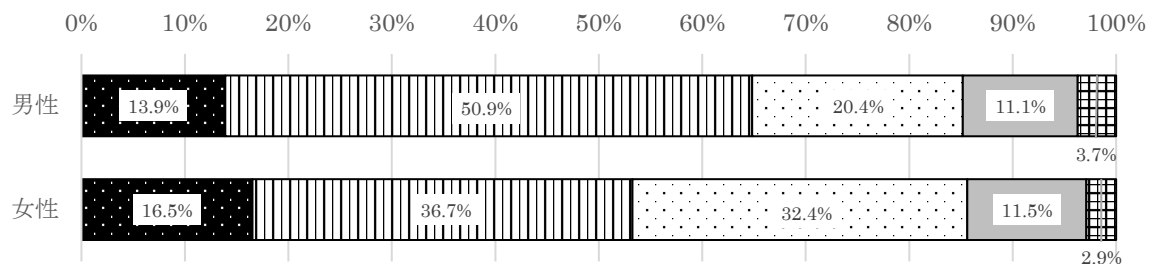
(n = 257)



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

地域内での移動支援については、「市役所・警察・消防等」が42.4%と最も高く、次いで「企業」(26.8%)、「地域住民・市民活動団体」(15.2%)、「その他・わからない」(11.7%)、「無回答」(3.9%)となっています。

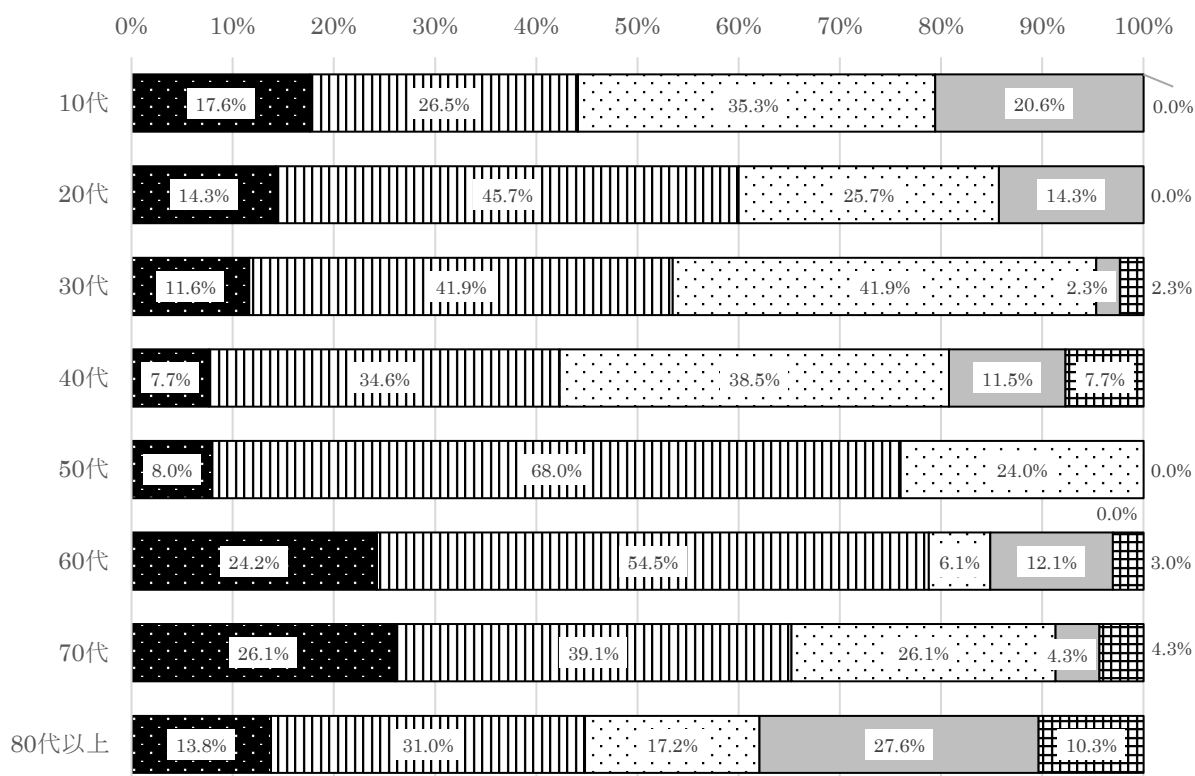
■性別



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

男性では「市役所・警察・消防等」が50.9%と高く、女性では「企業」の割合が男性より12.0%高くなっています。

■年齢別

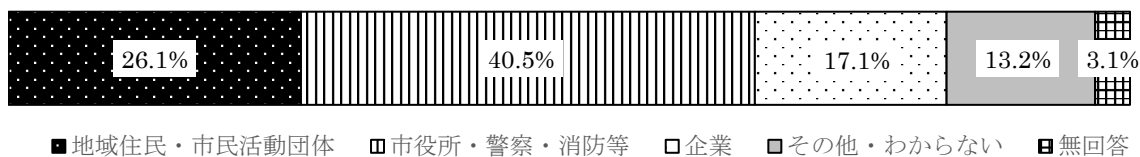


■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

40代、50代は「地域住民・市民活動団体」が10%以下と低く、50代、60代は「市役所・警察・消防等」が50%以上と高くなっています。

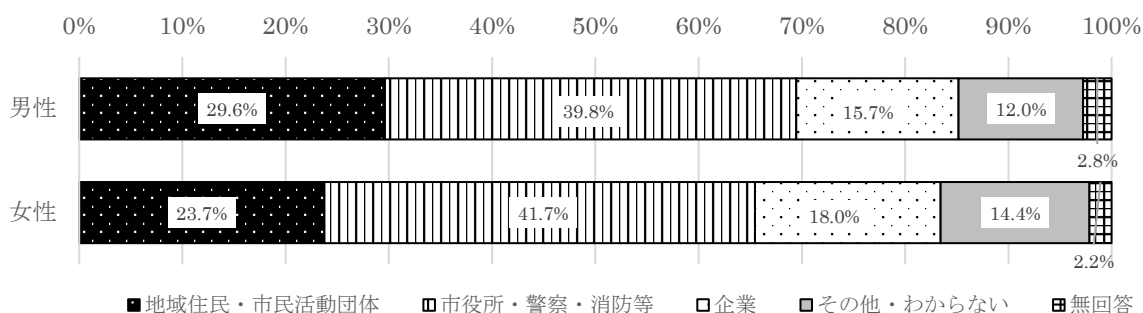
J. 地域情報の発信（情報誌の発行や SNS など）

(n=257)



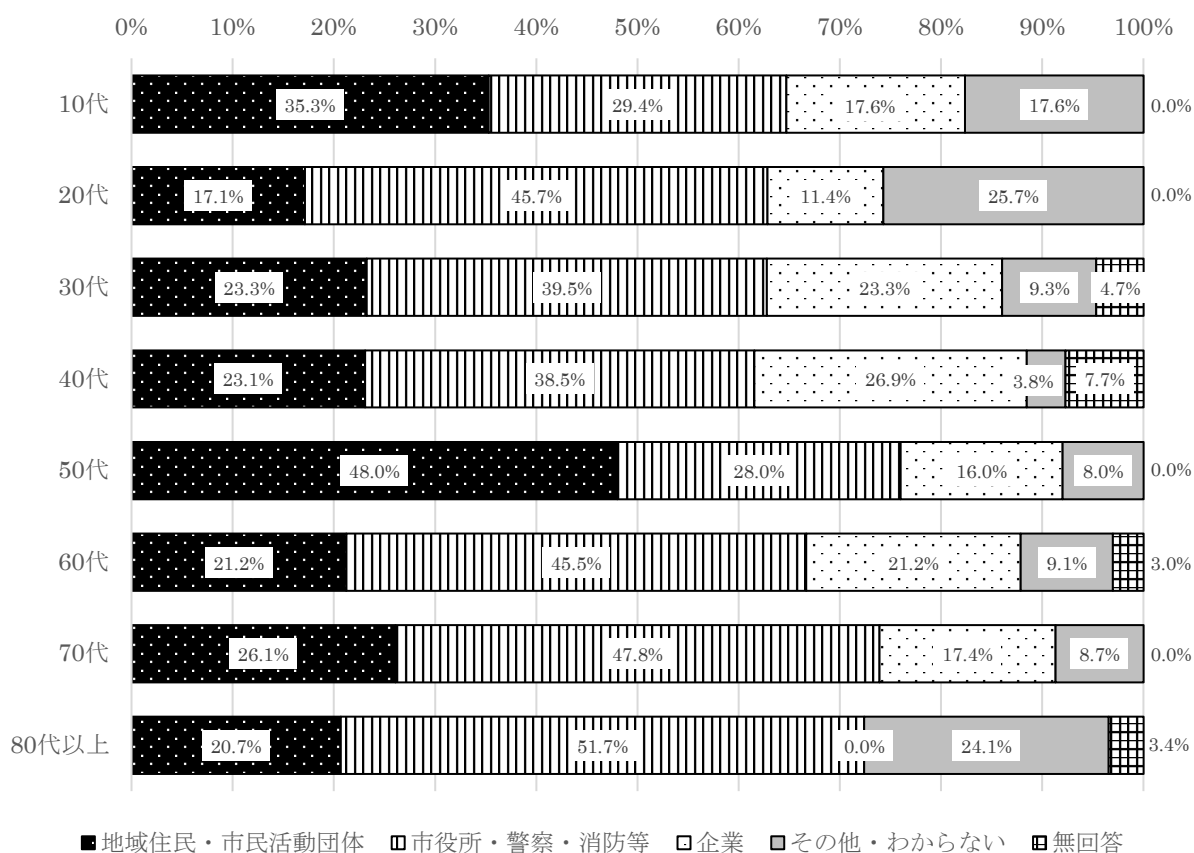
地域情報の発信については、「市役所・警察・消防等」が40.5%と最も高く、次いで「地域住民・市民活動団体」（26.1%）、「企業」（17.1%）、「その他・わからない」（13.2%）、「無回答」（3.1%）となっています。

■性別



性別による大きな差はみられません。

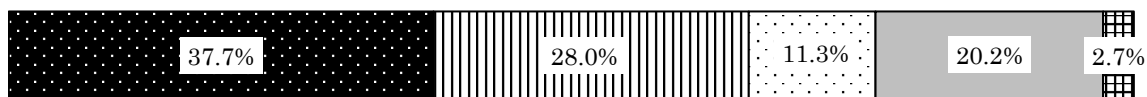
■年齢別



10代と50代は「地域住民・市民活動団体」最も高くなっています。その他の年代では「市役所・警察・消防等」が最も高くなっています。

K. 地域のリーダーや担い手の発掘・育成

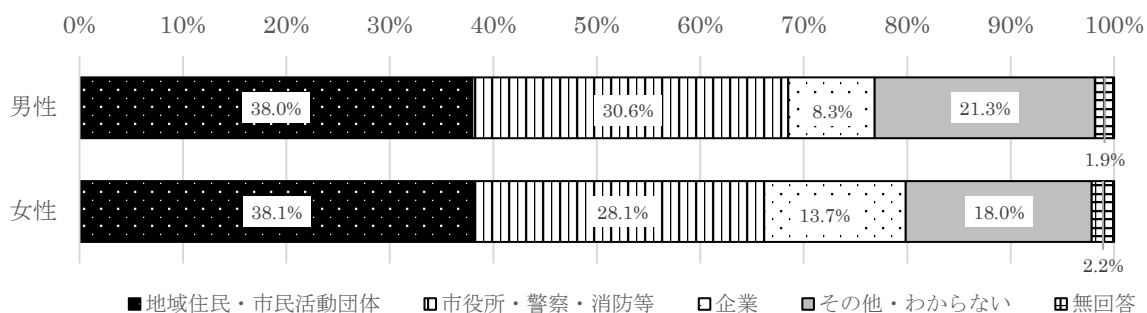
(n = 257)



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

地域のリーダーや担い手の発掘・育成については、「地域住民・市民活動団体」が37.7%と最も高く、次いで「市役所・警察・消防等」(28.0%)、「その他・わからない」(20.2%)、「企業」(11.3%)、「無回答」(2.7%)となっています。

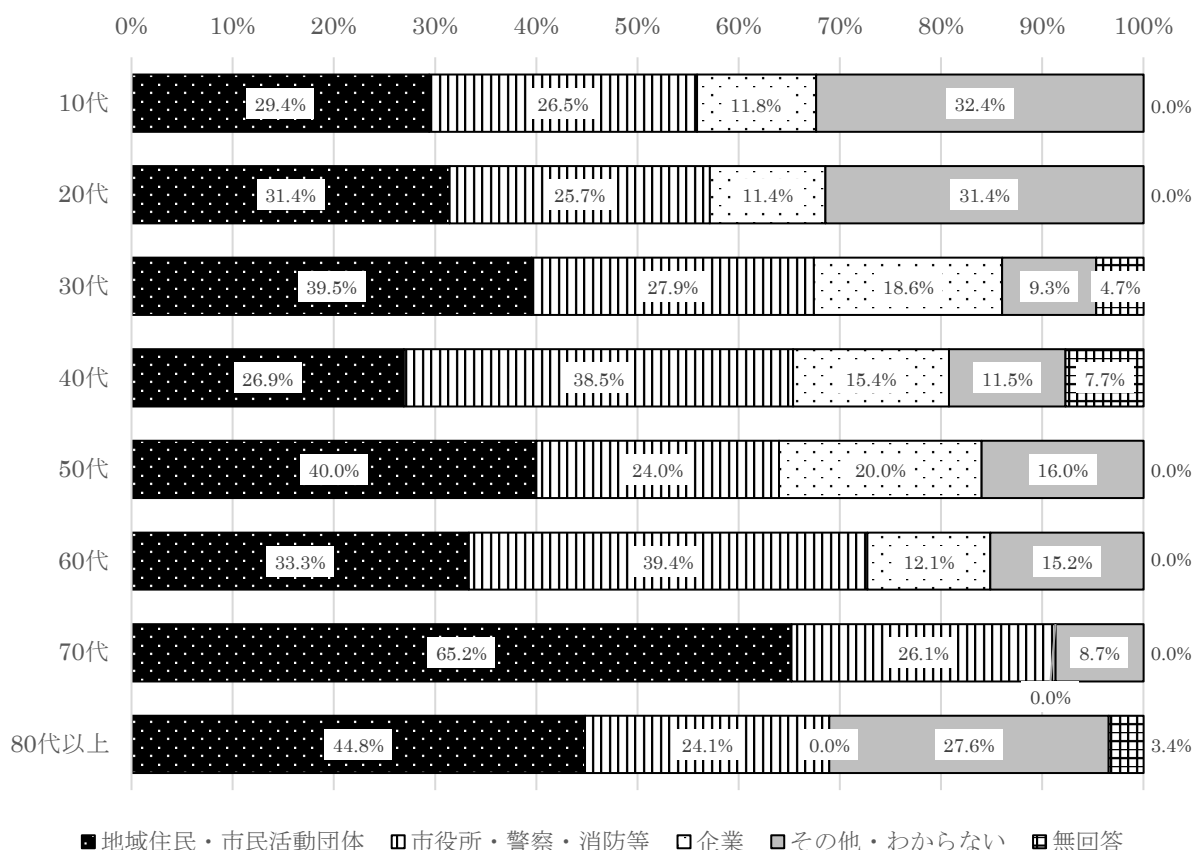
■性別



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

性別による大きな差はみられません。

■年齢別

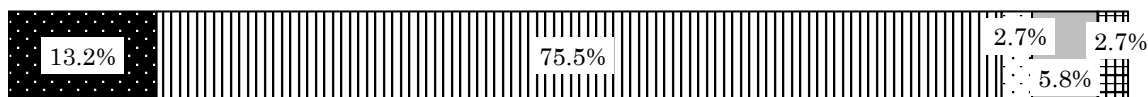


■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

70代は「地域住民・市民活動団体」が65.2%と最も高くなっています。

L. 防災（災害時などの身の回りの対応など）

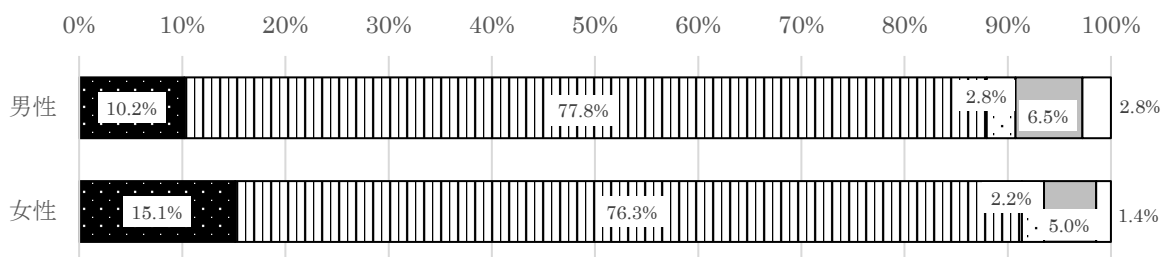
(n=257)



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

防災については、「市役所・警察・消防等」が75.5%と最も高く、次いで「地域住民・市民活動団体」（13.2%）、「その他・わからない」（5.8%）、「企業」（2.7%）、「無回答」（2.7%）となっています。

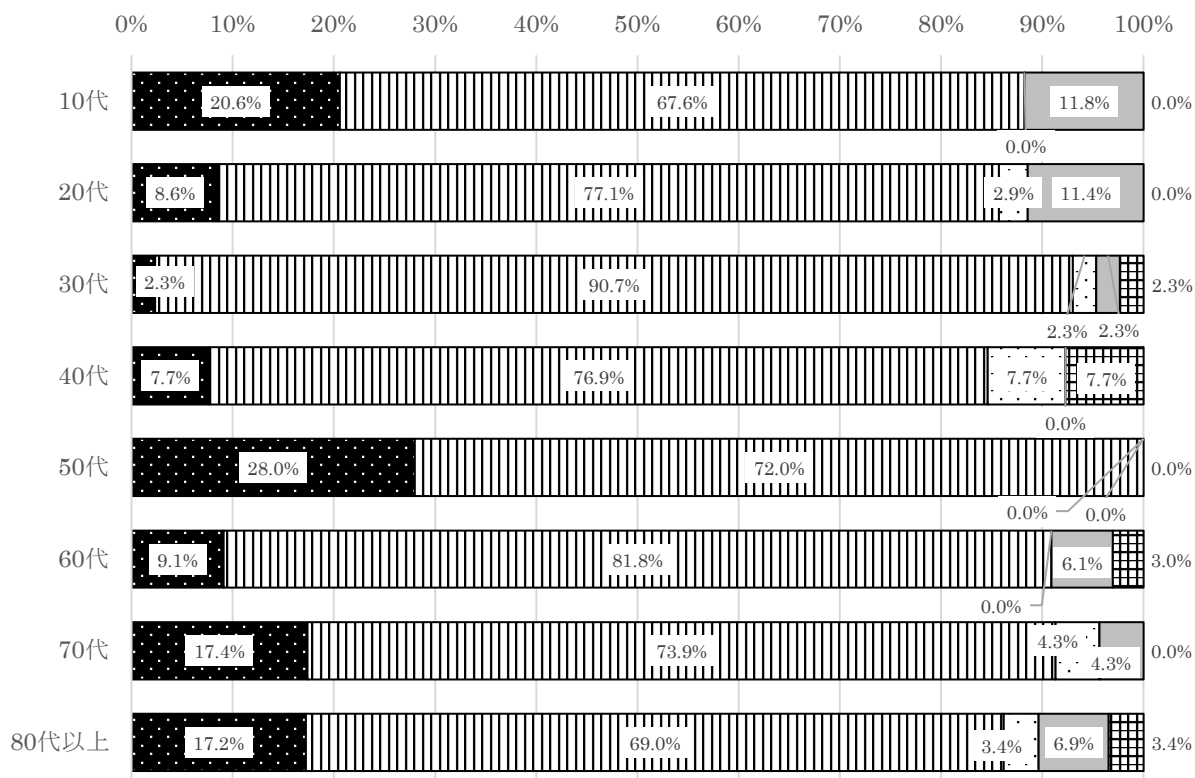
■性別



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない □ 無回答

「地域住民・市民活動団体」は男性より女性の方が4.9%高くなっています。

■年齢別



■ 地域住民・市民活動団体 ■ 市役所・警察・消防等 □ 企業 ■ その他・わからない ■ 無回答

50代は「地域住民・市民活動団体」が28.0%と高くなっています。

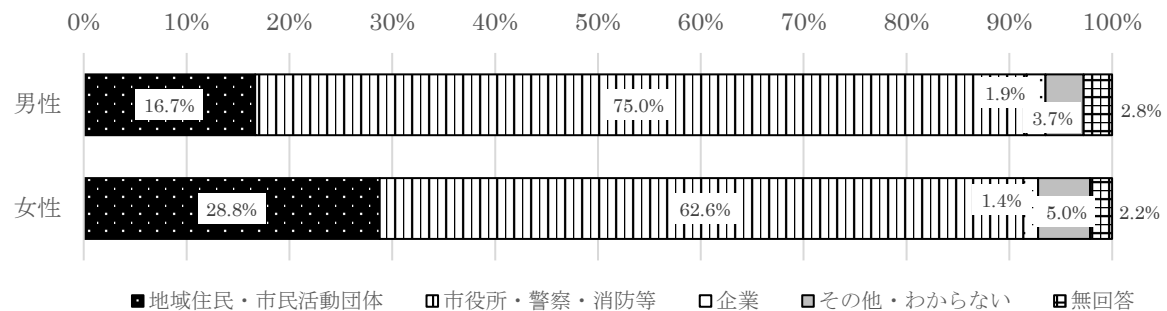
M. 身近な防犯（地域内のパトロールや詐欺対策など）

(n=257)



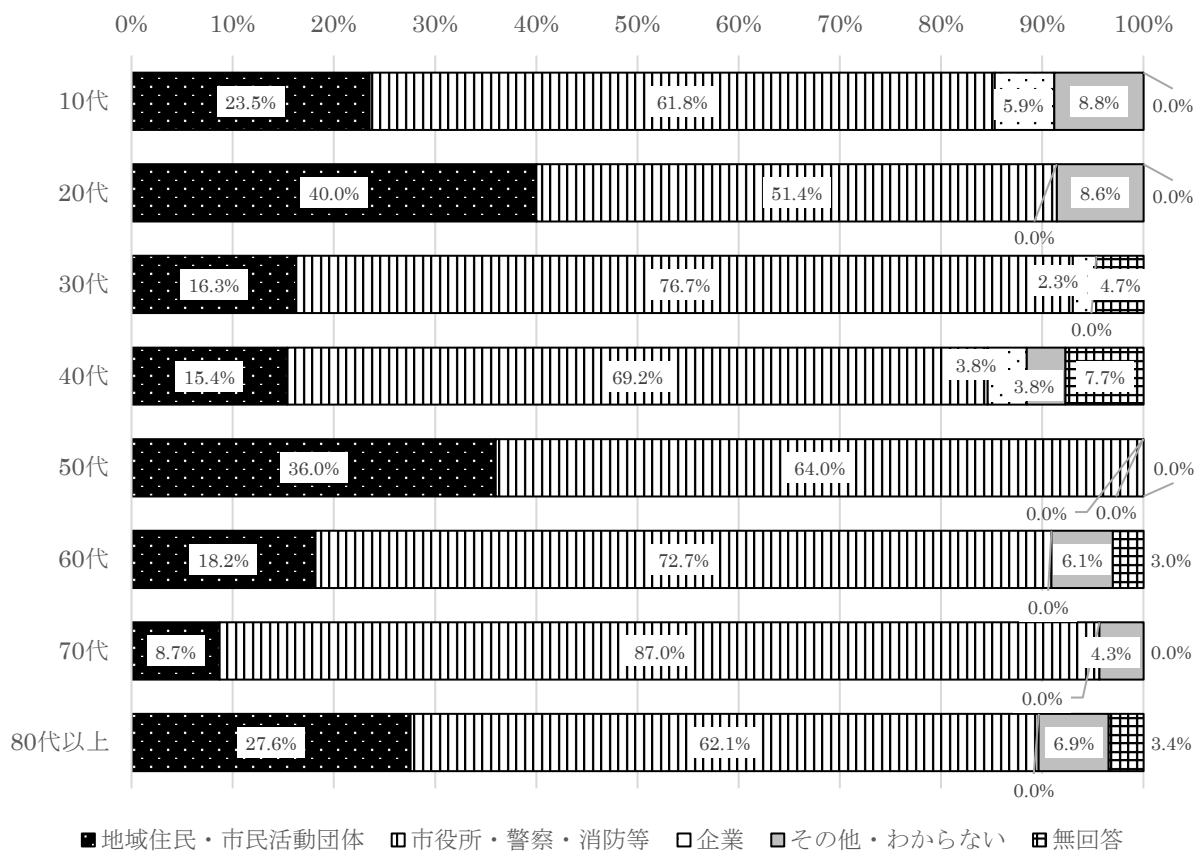
身近な防犯については、「市役所・警察・消防等」が66.5%と最も高く、次いで「地域住民・市民活動団体」(23.7%)、「その他・わからない」(5.1%)、「無回答」(3.1%)、「企業」(1.6%)となっています。

■性別



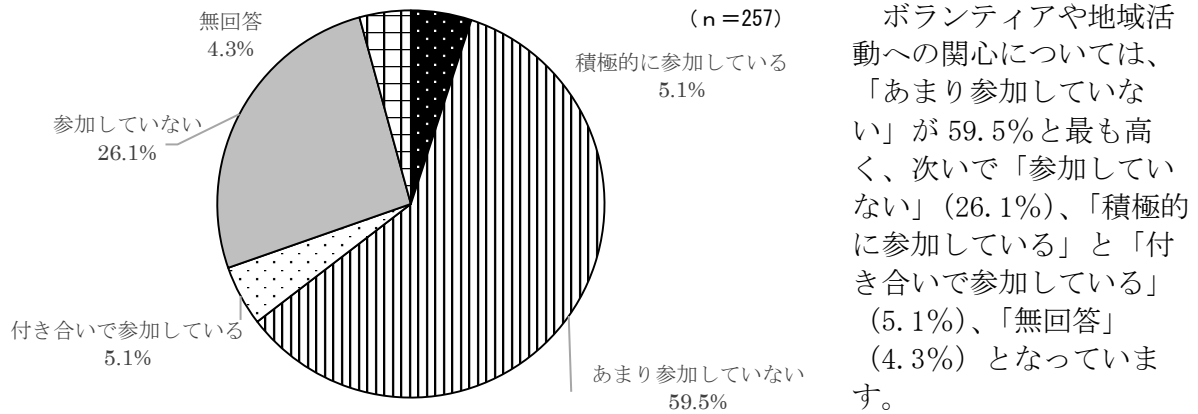
「地域住民・市民活動団体」は男性より女性の方が12.1%高くなっています。

■年齢別

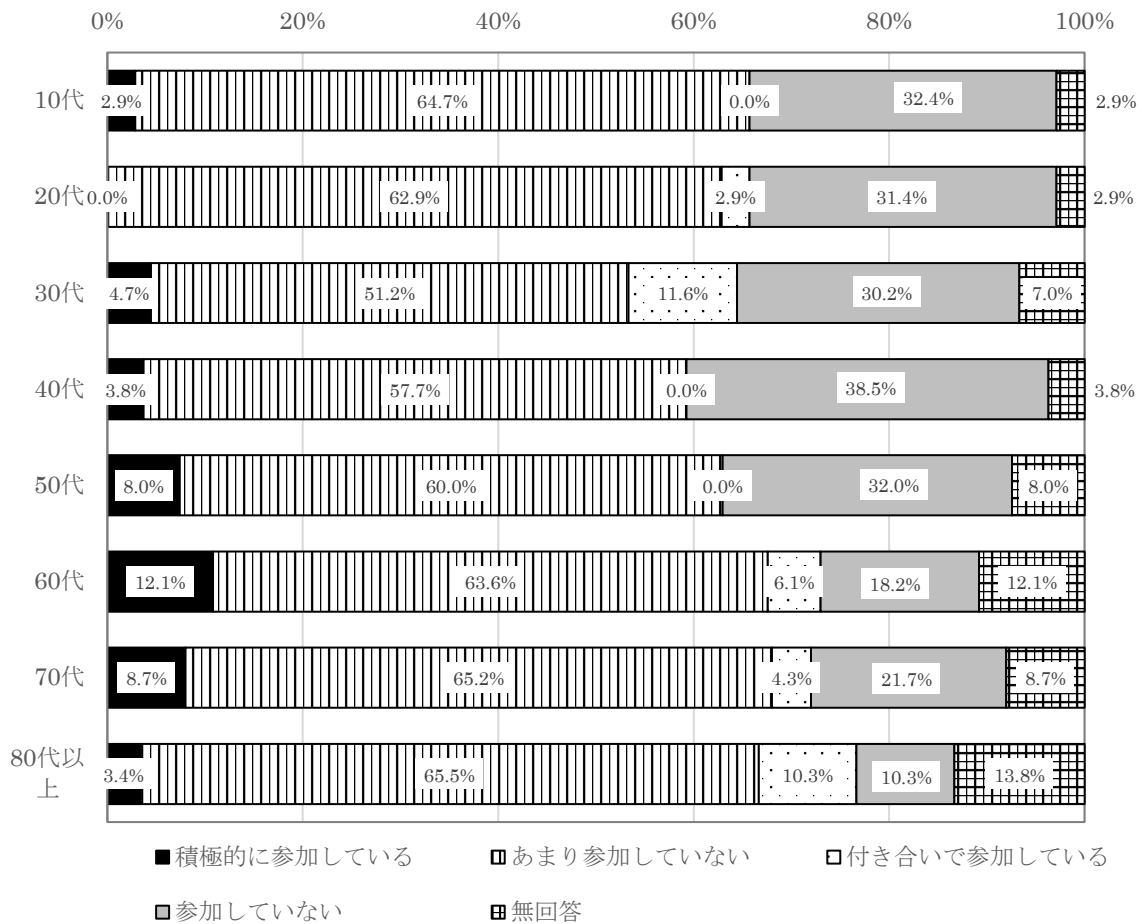


20代で「地域住民・市民活動団体」が40.0%と他年代より高くなっています。70代は「市役所・警察・消防等」が87.0%と他年代より高くなっています。

【問9】 ボランティアや地域活動に関心がありますか。(○印は1つ)

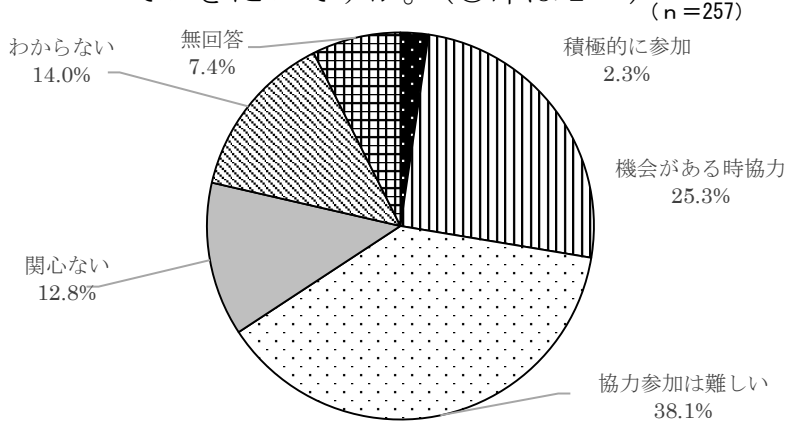


■年齢別



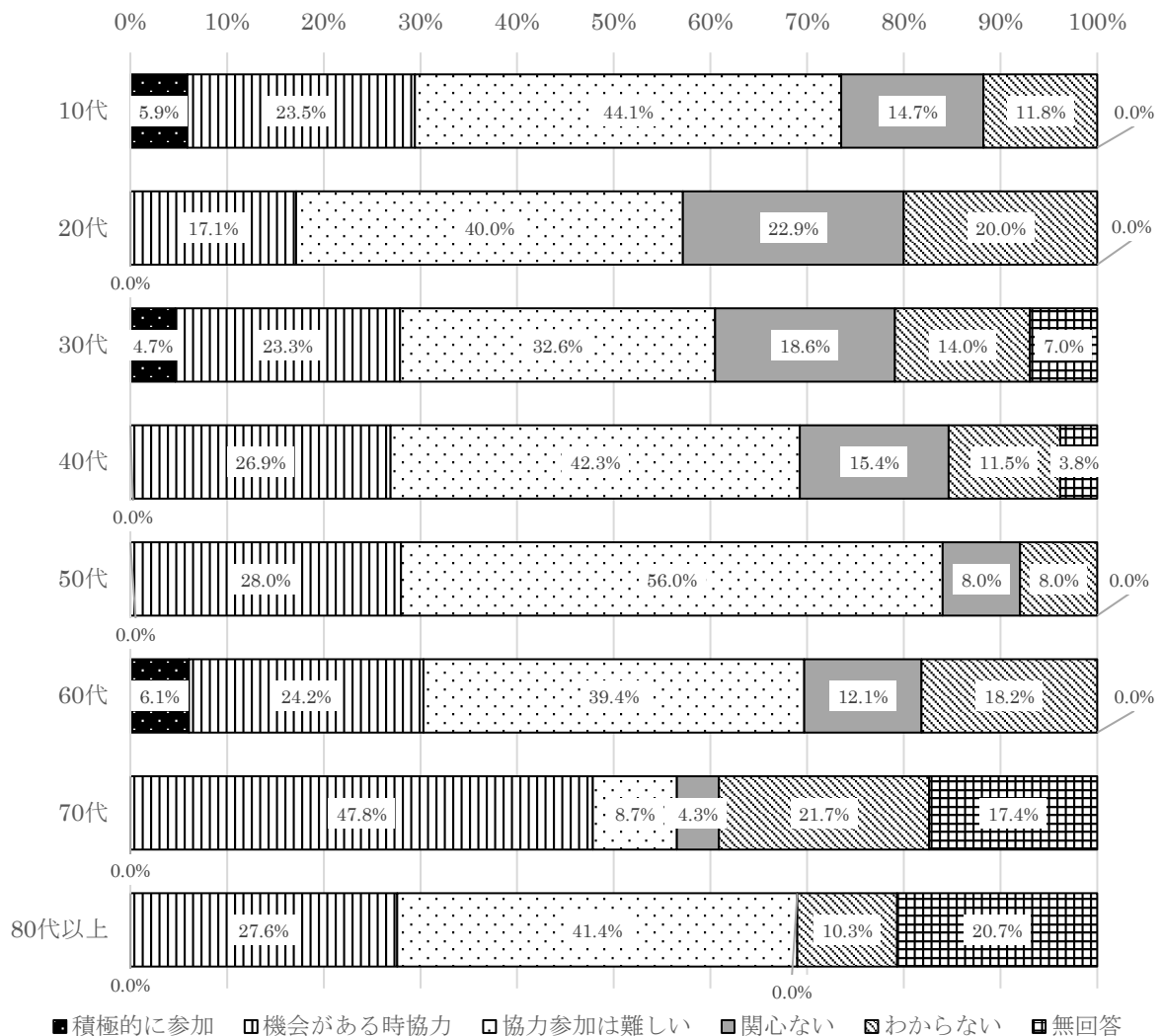
60代では「積極的に参加している」が12.1%と他年代より高くなっています。また、50代以下で「参加していない」が高くなっています。

【問 10】 清水口小学校区まちづくり協議会に、これからどのように関わっていきたいですか。(○印は1つ)



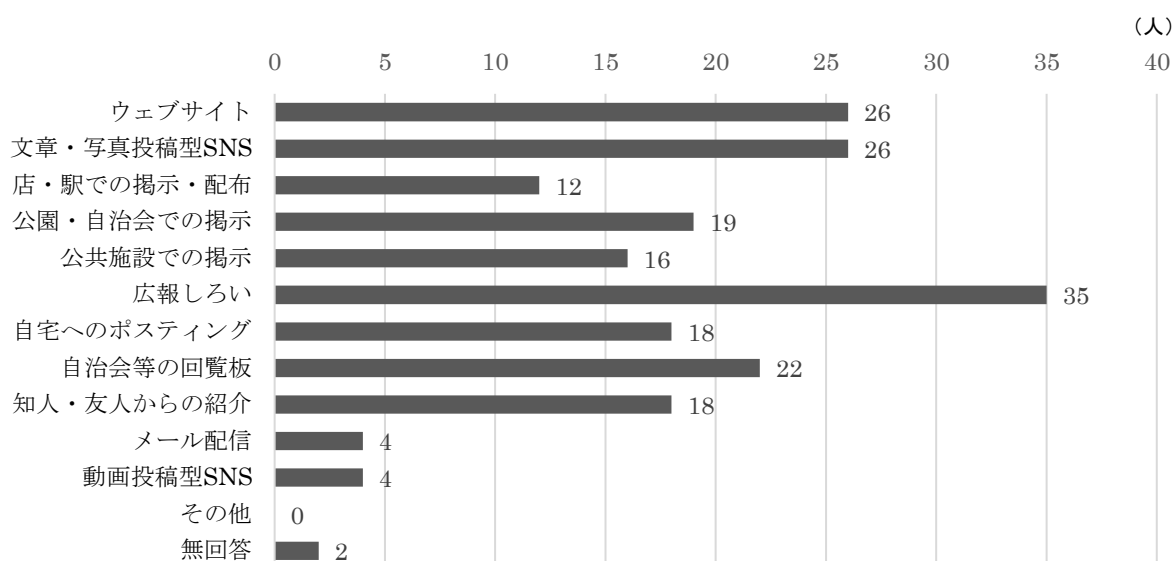
清水口小学校区まちづくり協議会への関わりについては、「協力参加は難しい」が38.1%と最も高く、次いで「機会がある時に協力」(25.3%)、「わからない」(14.0%)、「関心がない」(12.8%)、「無回答」(7.4%)、「積極的に参加」(2.3%)となっています。

■年齢別



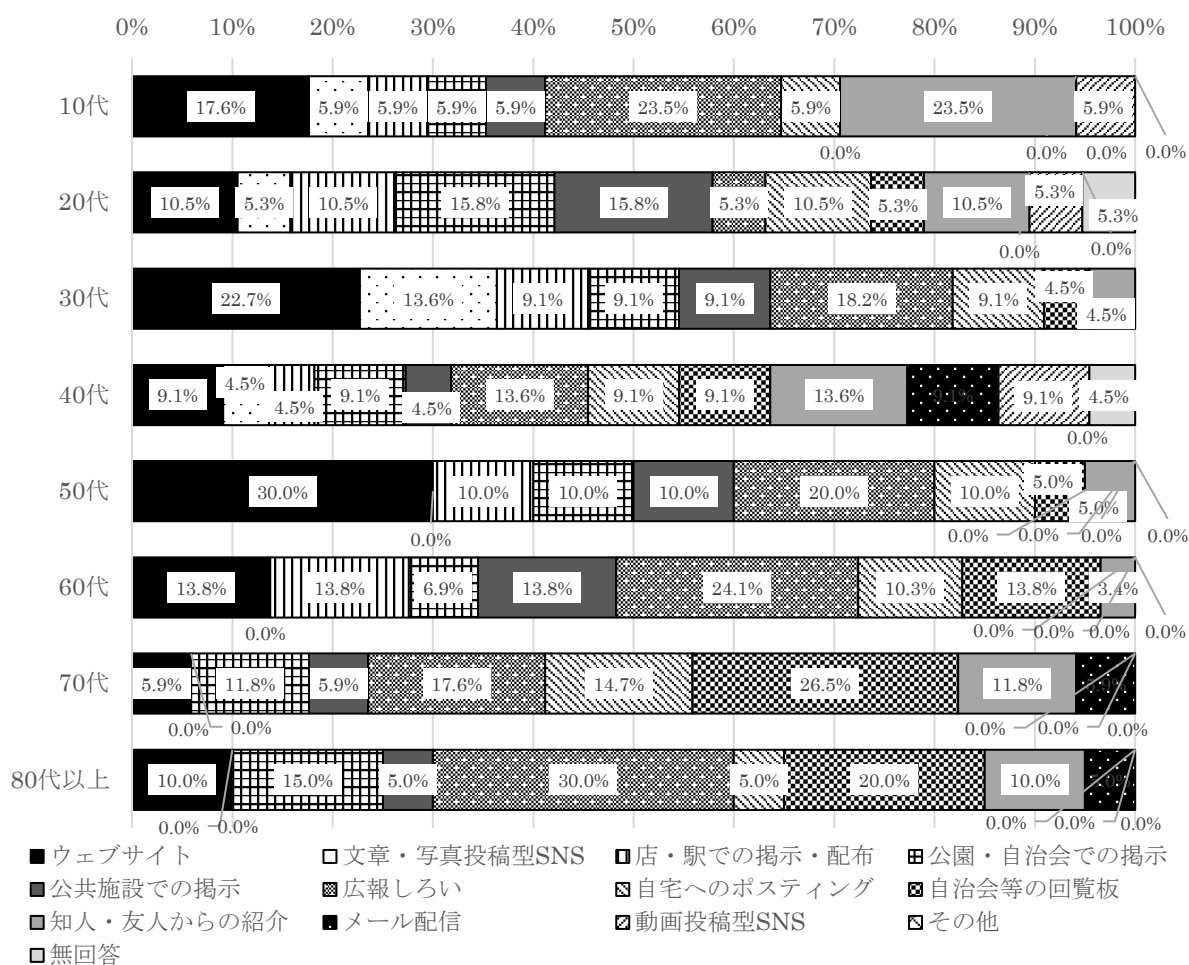
70代では「機会がある時に協力」が47.8%となっており、最も高くなっています。学生や働き世代、80代以上の高齢者では「協力が難しい」が最も高くなっています。

【問 11】 どのような方法でお声がけをしたら、清水口小学校区まちづくり協議会の活動に協力したいと思いますか。(〇印はいくつでも)



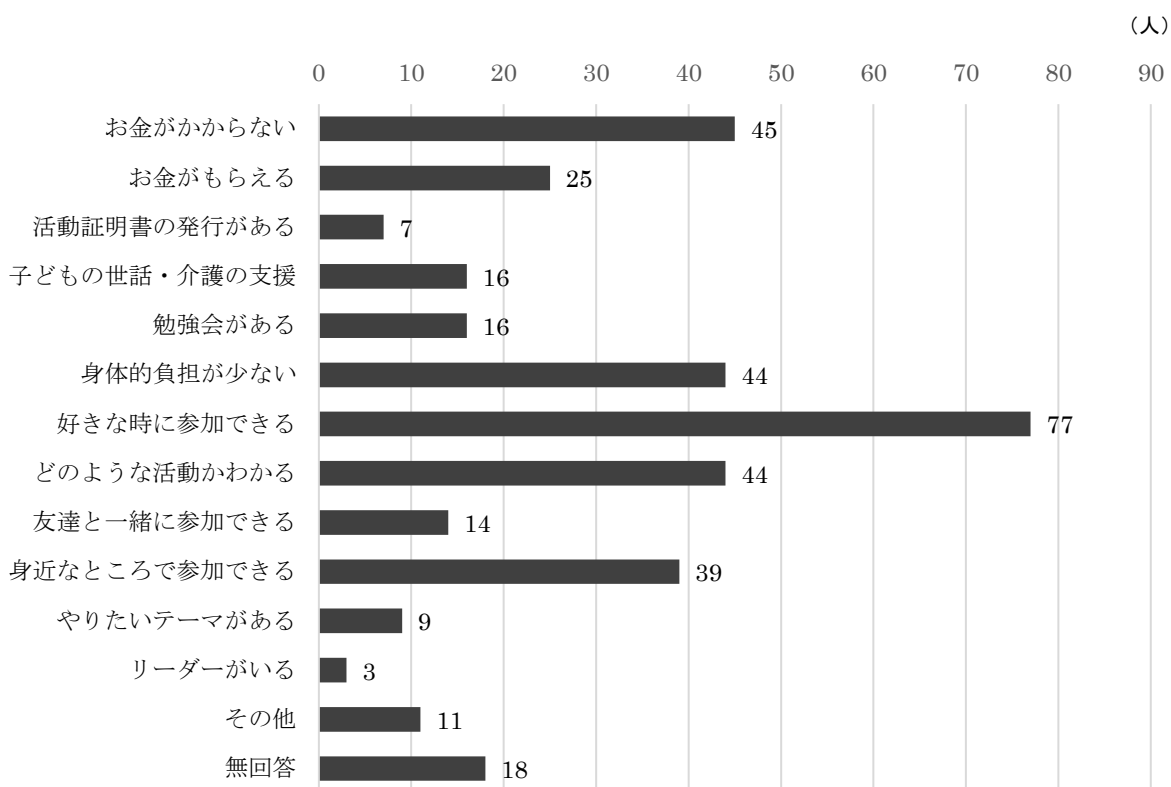
どのような方法で声かけをしたら、清水口小学校区まちづくり協議会の活動に協力したいと思いますかについては、「広報しろい」が35人と最も高く、次いで「ウェブサイト」と「文章・写真投稿型SNS」が26人、「自治会等の回覧板」が22人と高くなっています。

■年齢別



40代以下で「文章・写真投稿型SNS」「動画投稿型SNS」の割合が他世代より高くなっています。50代では「ウェブサイト」が30.0%と最も高くなっており、若い世代において、デジタル媒体での声掛けが効果的であることが伺えます。

【問 12】 どのような条件が整うと、清水口小学校区まちづくり協議会の活動に、より参加しようと思えますか。(○印はいくつでも)



どのような条件が整うと、清水口小学校区まちづくり協議会の活動により参加しようと思うかについては、「好きな時に参加できる」が77人と最も高く、次いで「お金がかからない」が45人、「身体的負担が少ない」「どのような活動かわかる」が44人と高くなっています。

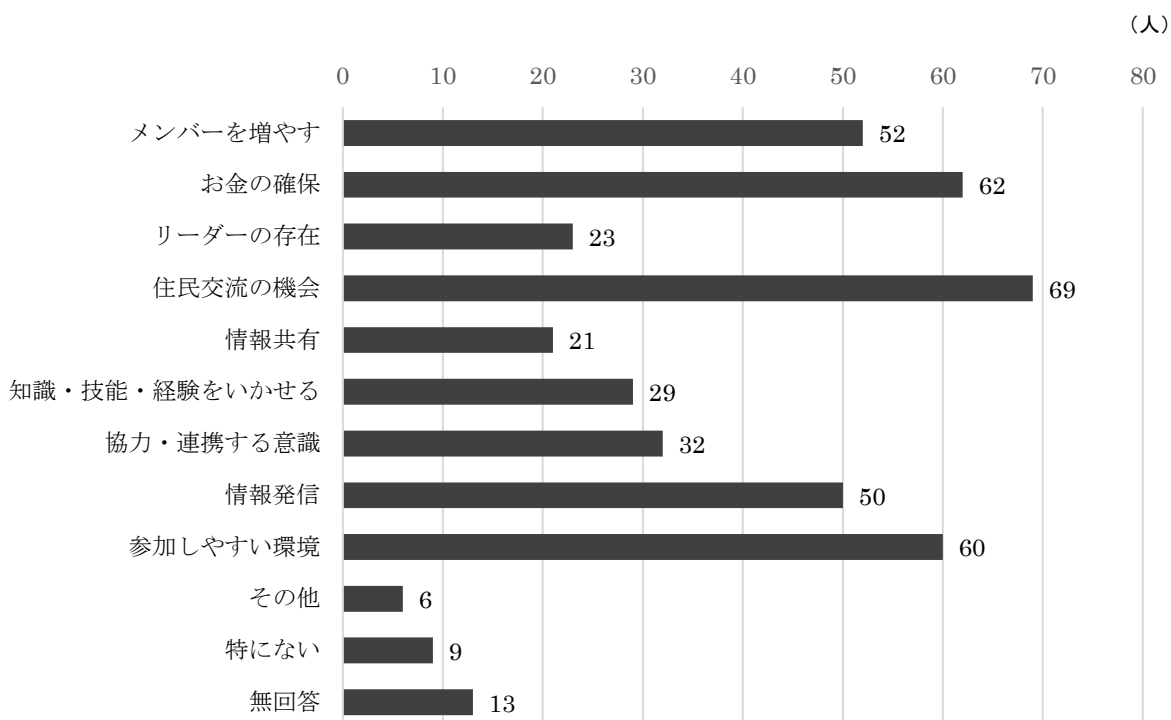
その他内容

- ・時間と金銭に余裕がある
- ・人間関係でもめない
- ・一部の人の意見が通ることがない
- ・役割と責任を分散して精神的な負担も軽減する
- ・ネットの活用
- ・まずは上手に運営できている地域活動の事例を知りたい
- ・病気・高齢のため参加できない

やりたいテーマ

- ・川歩きなどのツーリズムの啓発
- ・環境
- ・イベント
- ・移動型カフェ、マルシェ
- ・アート
- ・セクシャルマイノリティ

【問 13】 清水口小学校区まちづくり協議会の活動を行うために、特に必要なことは何だと思いますか。(○印は3つまで)



清水口小学校区まちづくり協議会の活動を行うために、特に必要なことについては、「住民交流の機会」が69人と最も高く、次いで「お金の確保」が62人、「参加しやすい環境」が60人と高くなっています。

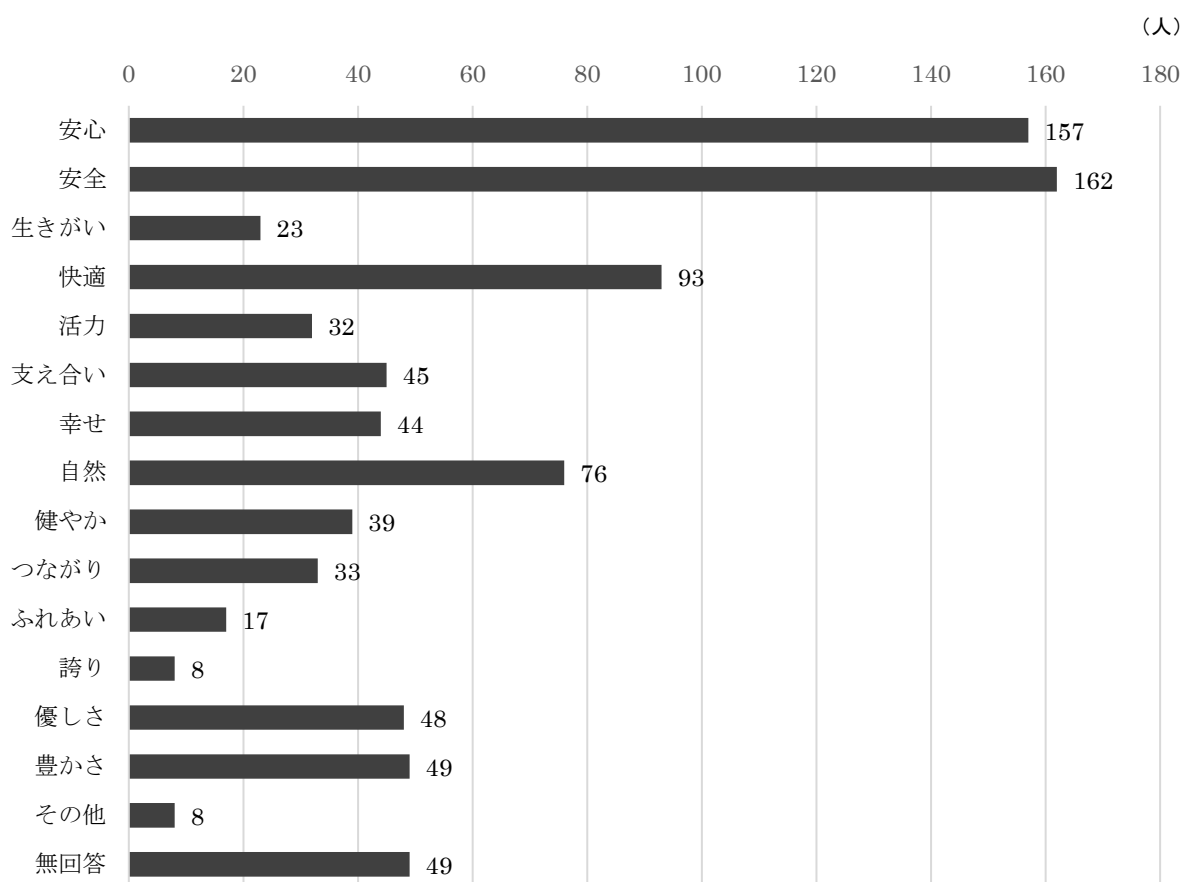
その他内容

- ・人が住み着く環境のいい地域へと改革することが必要
- ・おおたかの森や印西に負けないという意識が必要
- ・特定の人に固定化し、外部から気軽に入りやすい雰囲気にならないような活動の場が必要
- ・オンライン活用が必要
- ・目的・内容を明確にすることが必要
- ・どのような構想で地域を活性化していくのかを明確にすることが必要
- ・高齢化が進んでいるので、負担なく楽しく参加できる活動のために何が必要なのか分かるような取り組みが必要

4 清水口小学校区のこれからの住みよいまちづくりについて

【問 14】

今後、清水口小学校区が目指すまちづくりの将来像を表すものとして、どのような言葉（キーワード）がふさわしいと思いますか。（○印は5つまで）

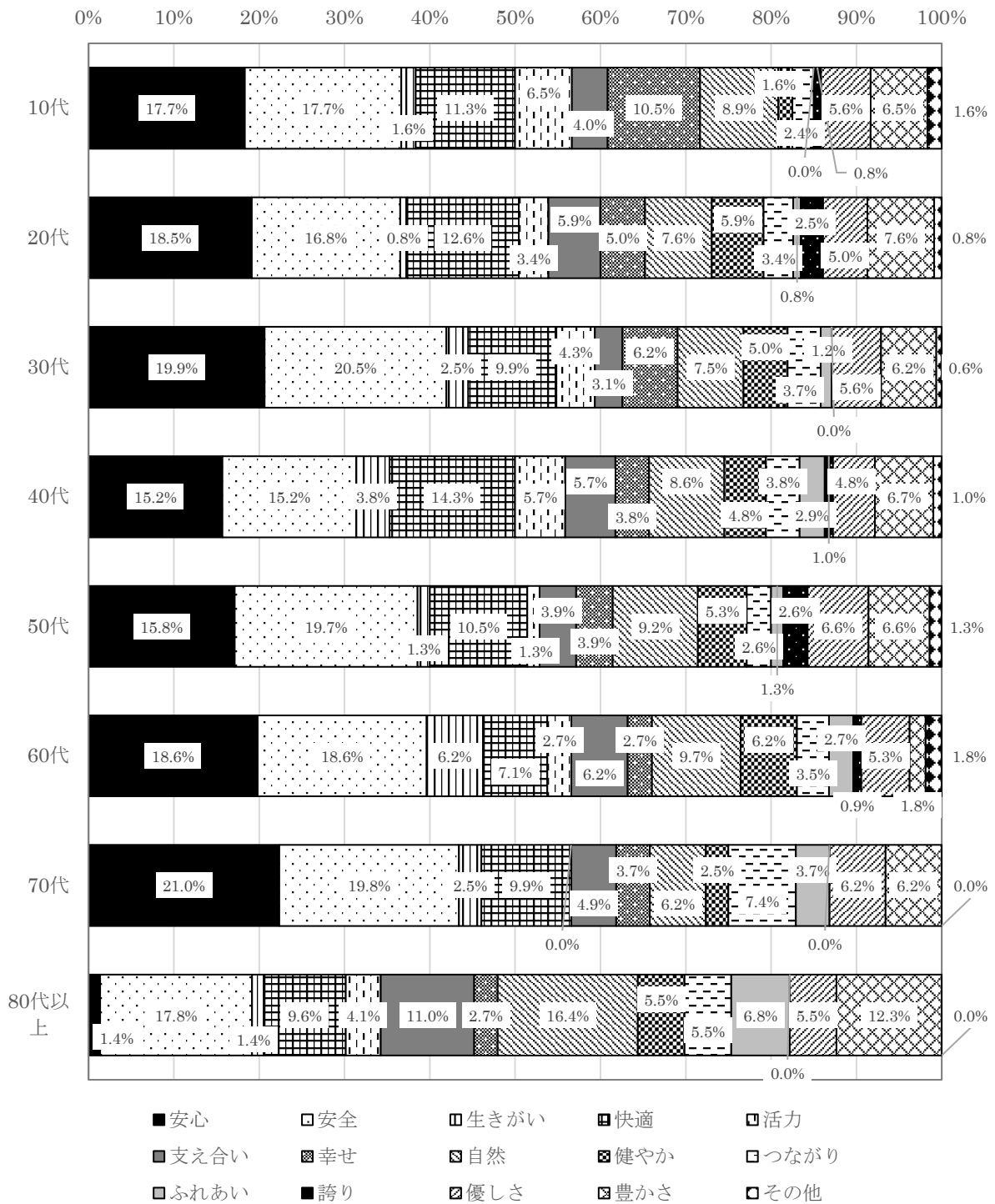


今後、清水口小学校区が目指すまちづくりの将来像を表すものとして、どのような言葉がふさわしいと思うかについては、「安全」が162人と最も高く、次いで「安心」157人、「快適」93人が高くなっています。

その他内容

- ・かっこよさ
- ・清潔
- ・穏やか

■年齢別



「安全」については、全世代で15%以上と高い割合となっています。「安心」については、70代以下では全世代が15%以上と高くとなっていますが、80代以上では1.4%と低くなっています。また、80代以上では「自然」が他年代より高くなっています。

【問 15】

これからの清水口小学校区の住民主体の「小学校区単位のまちづくり」について、アイデアやご意見を自由にお聞かせください。（自由回答）

●アイデア

- ・回覧をもっと活用し、回覧に地域のめでたいことや困っていることなどを書き込んだり、回覧板でアンケートをとるのもまちづくりの1つの方法になる。
- ・SNSの有効活用、SNSで意見交換ができる仕組みをつくる。
- ・「小学校区のまちづくり」について今回初めて知ったので、さらに情報配信をし、より多くの人に知ってもらえるようにする。
- ・地区の住民意見で公共物品の購入を市が行い、それを地区の住民に貸与するような仕組みをつくる。
- ・人と人が繋がれば、必然的に地域の情報拡散されやすくなり、地元への愛着も育つと思うので、人と人との交流の場をつくる。
- ・誰でも使えるバスケットゴールやテニスコートなどを設置し、運動できる機会をつくる。
- ・市民が簡単に利用できるスポーツ施設をつくる。
- ・ネットの活用、オンラインミーティングなどを行えるようにする。
- ・子ども中心のイベント、体験型のイベントを増やす。季節ごとのお祭りや交流会、特産品子供アイデアクッキングレシピ大会など、子どものアイデアを実現し、近隣スーパーで販売など、子どもが活躍できる内容にし、達成感を感じられる環境を整える。
- ・身近にある交流の場として、小さい子どもがいて他の子どもや保護者と交流できる機会をつくる。
- ・白井市清水口小学校、七次台中学校前の道路の桜通りの桜が電線の影響で切られているが、電線を移動等して大きな桜通りとし景観を美しくする。
- ・人々の視界にイベントや地域活動が入るように掲示物等を増やしたり、目立つようにする。
- ・学習の一環として小中学校の生徒に手伝ってもらおう。
- ・子どもから大人まで年齢にかかわらずに挨拶をする運動を行う。
- ・老若が共に働ける場所（企業や住む場所）を作る。大学や専門学校を誘致し、その人達に住む場所を提供する。
- ・高齢者の通院・買い物がしやすい支援体制をつくる。
- ・PRをして企業を誘致する。
- ・季節の良い時期に交流の催しを行う。
- ・図書館の利用時間を延長する。

●意見

- ・携帯のできるアンケート形式なら参加しやすいので、こういったものを増やしてもらえると参加するきっかけとなりやすいと思う。
- ・どんな事をしているのか、もっと情報発信してほしい。
- ・「小学校区単位」という範囲規模はとても良いアイデアだと思う。
- ・かたくりしい会議みたいな場ではなく、気軽にフレンドリーに話合っていく雰囲気をつくっていく必要があると思う。
- ・若い人も気軽に参加できるよう、参加のハードルが低いと嬉しく思う。
- ・年や性別、人種に関係なく一緒にやれるようになるとよい。
- ・何もつながりのない人達（子供を通した人脈などが無い）をどう地域とつながりを持たせるかが課題だと思う。
- ・白井市では20代向けのイベントがないイメージ。誰に参加してほしいのか、どういう人に呼び掛けたいかで考えるべきだと思う。
- ・いろいろなイベントがあると良いと思う。
- ・駅に近いという利点を活かして、人が行き交う賑わいのある地域を目指してほしい。
- ・他市、他県等から人が来るような魅力が必要だと思う。
- ・西白井駅周辺に活気があった方が良く思う。
- ・他の地域からも遊びに来たくなるようなマルシェなどを開催してほしい。
- ・高齢者が多く活気がないため、高齢者の住みやすい街にすべき。
- ・環境保全も大切だが、横断歩道が消えていたり、バス停に椅子がなかったりすることへの対応の方を優先すべき。
- ・住んでいる人が地域のルールを守れるようにしたほうが良い。
- ・道の駅的なみんなが立ち寄れる店があると良い。
- ・小学校付近の自然や緑が良いので、側道車道のわきに生えている枯草等の処理をまめにしてほしい。
- ・子育て支援が充実を目指してほしい。
- ・子ども食堂等の施設が増えると良いと思う。
- ・学生が何を求めているのかを考える必要があると思う。